



# 昭和会誌

## 2020



ロゴマークは昭和会の「S」と今給黎の「I」をモチーフに、「S」を表す円と繋がり、働く人・総合力・コミュニケーションを意味し、患者様に見立てた「I」という1人に対して、積極的に立ち向かう姿勢を表現したものです。また黄緑は優しさ・温かさ、水色は誠実さ・清潔感をイメージしたものです。

## 巻頭言

この度、2020年度の昭和会誌を発行する運びとなりました。

病院実績としては、旧病院時代最後のものとなります。新病院では新たなチャレンジを推進していきたいと思っていますので、弊誌をご覧いただいた皆様のご意見・ご感想がありましたら当院広報へお寄せいただけますと幸いです。

弊院は昭和13年に下竜尾町で開業して以来、82年の長きにわたり多くの職員、医療関係者、地域住民の皆様に支えられて今日まで歩んで参りました。改めまして皆さまへ感謝申し上げます。新病院は急性期の高麗町と慢性期の上町とに機能分化されることになりましたが、「つながる医療 つながる生命（いのち）」「あなたらしく生きる を支える」という、それぞれが掲げたキャッチコピーを実現するため、新病院でもさらに邁進することを期待します。

さて、2021年元旦に急性期病院は高麗町に無事新規移転開業することができました。

中心市街地へ移転したことで救急車搬送件数は旧病院の時よりも増えて、病床稼働も予測値を上回る順調なスタートでありました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症第5波の襲来は当院でのクラスター発生にもつながり、病院機能の全面停止にまで至りました。先の見えない不安な中であっても職員の仕事に対する熱心で真摯な対応ぶりには、ただただ脱帽するばかりでした。遅れがちであったBCP策定も今回の件で一気に進みました。まさにピンチをチャンスに変える機会ととらえることが出来たのではないかと思います。確かに収益面ではダメージを受けましたが、コロナ危機を乗り越えた職員たちですので、今後の収益改善にもきっと貢献してくれるものと信じています。

一方、キラメキテラス敷地内では2023年のグランドオープンに向けて工事が進められています。来院される患者さんにはご不便をおかけしますが、未来につながる街づくりを通して還元していこうと考えていますので、もうしばらくご辛抱頂きたいと思っております。

キラメキテラス構想の一つである全世代型の「ヒューマンライフラインをつなぐ」を実現すべく、職員一丸となって取り組んでまいりますので引き続きご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2021年10月

公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院

理事長 今給黎 和幸





# 目次

---

■基本理念・基本方針・運営方針	.....	02
■ I. 病院概要	.....	03
■ II. 病院統計	.....	13
■ III. 診療部門報告	.....	45
■ IV. 研究実績	.....	95

## 昭利会の理念

「協力・貢献・向上」

1. 全職員の協力体制
2. 地域社会への貢献
3. 自己研鑽と向上
4. 人材育成と教育

## 昭利会の基本方針

1. 質の高い医療の提供を目指し、全職員一致協力して努力します。
2. 生命の尊さを認識し、地域社会に貢献します。
3. 常に向上心を持って、自己研鑽に励みます。
4. 教育病院として、質の高い人材育成に努めます。

## 昭利会の運営方針

1. 地域のセンター病院として、最新・最高の医療を提供すべく、高度の医療機器を充実し、全職員の医学研修を推進する。 そのために、各分野関連の大学各教室・各研究機関との交流に努め、また夫々の学会参加を助成する。
2. 高度医療機器の公開利用に努め、最新で効率的且つ倫理的医療の充実を図る。
3. 救急医療24時間受け入れ体制の充実。  
当病院全職員(全科オンコール体制)の協力のもとに24時間体制で全県下・離島の救急患者を積極的に受け入れ救急医療の使命を達成する。
4. 21世紀の少子高齢化社会の医療に対応すべく、地域の保健・医療・福祉施設と密な連携に努め、有効的な医療の提供を図る。
5. 地域に開かれた病院を目指し、健康増進活動に積極的に取り組み、活動の充実・発展を図る。
6. 経営陣は働きやすい職場環境の創世に努め、職員満足度を高めるとともに、教育を通して良質な人材を育成し、持続可能な病院運営を目指す。

### 地域がん診療連携拠点病院

### 地域医療支援病院

県へき地医療拠点病院（遠隔医療支援） 洋上救急業務支援協力医療機関

県指定地域周産期母子医療センター 基幹型医師臨床研修病院

鹿児島県DMAT(災害派遣医療チーム)指定病院

# ❧ 病院概要

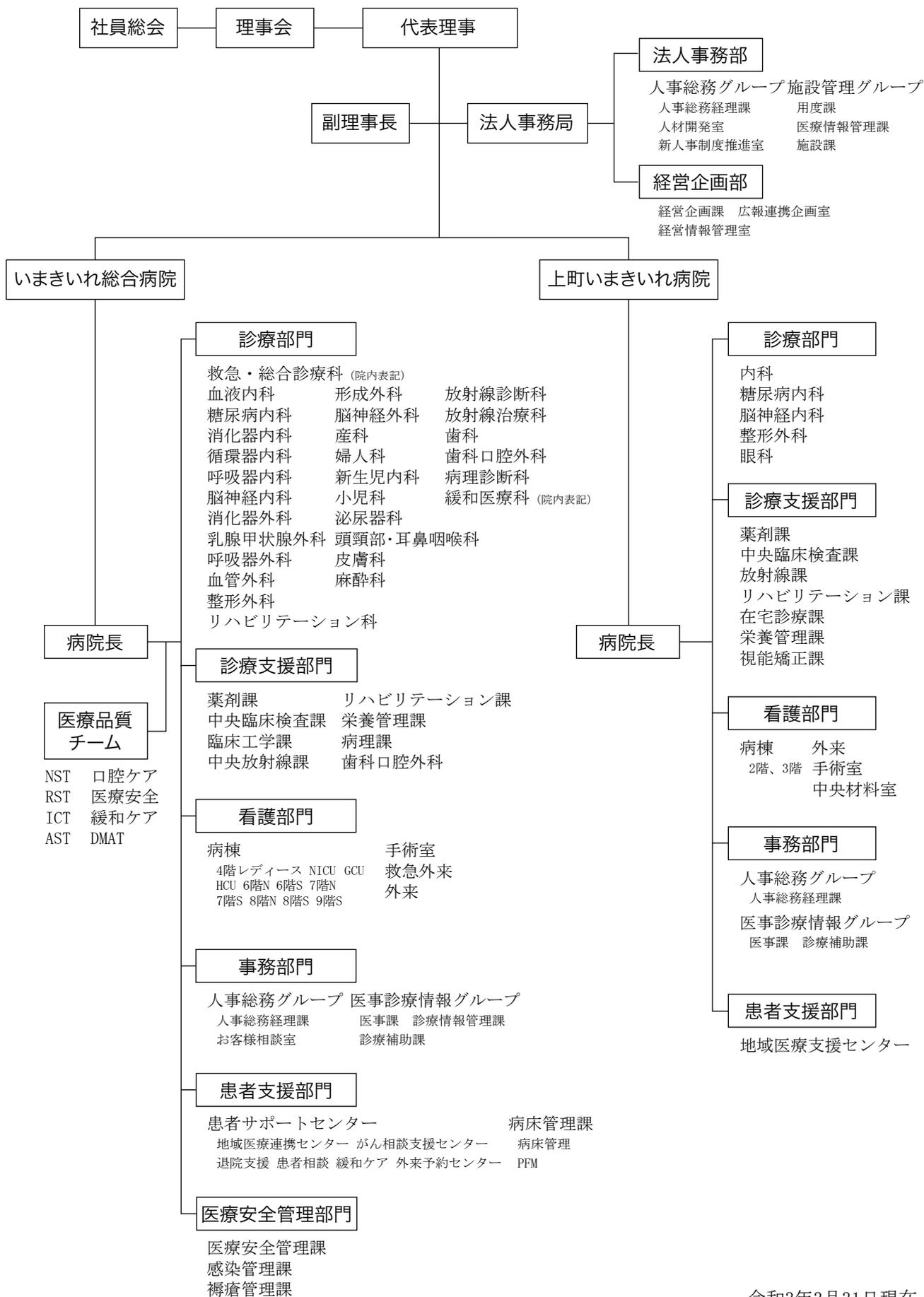
I

- 昭和社会の沿革
- 昭和社会の組織図
- いまきいれ総合病院 病院概要
- 上町いまきいれ病院 病院概要

## 昭和会の沿革

- 昭和13年 7月 現在地に今給黎医院開設
- 昭和22年 11月 今給黎病院開設(24床)
- 昭和30年 2月 鉄筋コンクリート2階建 病棟増築(41床)
- 昭和32年 6月 65床認可
- 昭和35年 2月 看護婦寮新築
- 昭和35年 5月 80床認可
- 昭和32年 7月 医師住宅新築
- 昭和39年 5月 「医療法人昭和会」設立(120床)
- 昭和39年 7月 救急告示病院指定
- 昭和40年 7月 民法第34条による「財団法人昭和会」設立
- 昭和42年 1月 160床認可
- 昭和44年 4月 鉄筋コンクリート3階建病院新築
- 昭和44年 8月 鉄筋5階建第1看護婦寮・4階建医師住宅2棟新築
- 昭和45年 10月 220床認可
- 昭和47年 10月 鉄筋5階建職員住宅(20世帯)新築
- 昭和50年 12月 鉄筋コンクリート2階建第3女子寮・院内託児所新築
- 昭和53年 10月 鉄筋コンクリート7階建本館新築(300床)
- 昭和54年 3月 325床認可
- 昭和54年 8月 鉄筋コンクリート4階建第2女子寮新築
- 昭和58年 2月 医師住宅4階建新築
- 昭和62年 1月 第4看護婦寮3階建新築
- 昭和62年 9月 別館4階建新築  
本館・別館の連絡路として地下道(巾3m)完成
- 昭和63年 1月 450床認可、本館全面改装、総合医療各診療科整備
- 昭和63年 8月 第5看護婦寮4階建新築、男子独身寮2階建新築
- 平成元年 1月 医師研修等3階建新築
- 平成元年 12月 今給黎総合病院認可
- 平成9年 7月 周産母子センター開設
- 平成9年 9月 外来患者専用自動管理式駐車場完成
- 平成10年 3月 医局棟3階建新築
- 平成13年 3月 (財)日本医療機能評価機構「認定証」(一般病院種別B)取得
- 平成14年 1月 民間ビル(3階建)、研修棟として購入
- 平成15年 10月 「基幹型臨床研修病院」指定
- 平成17年 5月 昭和会クリニック開院(診療録の電子化開始)
- 平成17年 12月 今給黎総合病院(外来診療録の電子化開始)
- 平成18年 8月 歯科・歯科口腔外科開設
- 平成19年 10月 リニアック棟造築(稼働開始)
- 平成21年 3月 鹿児島県「地域周産期母子医療センター」指定
- 平成21年 12月 「公益財団法人昭和会」へ法人名称変更
- 平成22年 2月 今給黎総合病院(入院診療録の電子化開始)
- 平成24年 4月 厚労省「地域がん診療連携拠点病院」指定
- 平成25年 3月 地域医療支援病院認定
- 平成30年 4月 「公益社団法人昭和会」へ法人名称変更
- 平成30年 9月 鹿児島DMA T指定病院
- 令和2年12月31日 昭和会クリニック閉院
- 令和3年 1月1日 いまきいれ総合病院、上町いまきいれ病院 開院
- 令和3年 2月2日 いまきいれ総合病院・キラメキテラスヘルスケアホスピタルをつなぐ通路(アトリウム) 開通

# 公益社団法人昭和会の組織図



令和3年3月31日現在

## いまきいれ総合病院 病院概要

(令和3年3月現在)

名称	公益社団法人昭和会 いまきいれ総合病院 Imakiire General Hospital		
開設者	代表理事 今給黎 和幸 (いまきいれ かずゆき)		
管理者	院長 濱崎 秀一 (はまさき しゅういち)		
所在地	〒890-0051 鹿児島市高麗町 43 番 25 号 (かごしましこうらいちょう)		
代表電話	099-252-1090		
代表 FAX	099-203-9119		
URL	<a href="https://imakiire.jp/">https://imakiire.jp/</a>		
病院開設日	2021 年 (令和 3 年) 1 月 1 日		
病床数	350 床 高度急性期病床 29 床 (HCU8 床、NICU 9 床・GCU12 床) 急性期病床 321 床		
規模	地上 9 階 搭屋 1 階 敷地面積 7,300.00 m <sup>2</sup> 、建築面積 3,864.81 m <sup>2</sup> 、延床面積 24,964.32 m <sup>2</sup>		
標榜科 (30 診療科)	内科、糖尿病内科、血液内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、新生児内科、頭頸部・耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科		
職員数	853 名		
有資格者	常勤	非常勤	
	医師	99 名	8 名
	薬剤師	21 名	
	診療放射線技師	22 名	
	臨床検査技士	29 名	1 名
	臨床工学技士	13 名	
	理学療法士	30 名	
	作業療法士	10 名	
	言語聴覚士	7 名	
	管理栄養士	12 名	
	社会福祉士	5 名	
	看護師	390 名	
	助産師	24 名	
	保健師	2 名	
	准看護師	3 名	
	診療情報管理士	9 名	

## 施設概要

(令和3年3月現在)

9F	S病棟(43床):総合診療科、血液内科、緩和医療科、泌尿器科 研修医室 患者洗濯室 図書室
8F	N病棟(43床):泌尿器科、脳神経外科、頭頸部・耳鼻咽喉科、歯科口腔外科 S病棟(43床):脳神経内科、循環器内科
7F	N病棟(43床):消化器内科、外科 S病棟(43床):呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科
6F	N病棟(40床):整形外科、形成外科、小児科 S病棟(44床):整形外科、糖尿病内科、血管外科
5F	リハビリテーション科 リハビリテーション課 講義室 会議室 医局 事務局 地域医療連携センター
4F	レディース病棟(22床):整形外科、形成外科、小児科 NICU(9床)・GCU(12床) 周産期母子医療センター 産科外来 新生児フォローアップセンター 外来化学療法室
3F	手術室 HCU(8床) 透析室 高気圧酸素室
2F	総合案内 総合受付 入退院支援センター 外来 消化器内視鏡センター がん相談支援センター 患者サポート窓口
1F	総合案内 救急センター 救急・総合診療科 中央放射線課 放射線科(治療・診断) 売店 防災センター

キラメキテラスヘルス  
ケアホスピタル、駐車場  
への連絡通路

## 施設認定

### ● 指定医療機関等

保険医療機関  
 国民健康保険医療取扱機関  
 労災保険指定病院  
 労災保険二次健診等給付病院  
 生活保護法指定病院  
 障害者自立支援法「更生医療」「育成医療」指定病院  
 （整形外科・形成外科・耳鼻咽喉科・腎臓・免疫・口腔に関する医療）  
 障害者自立支援法「精神通院医療」指定病院  
 （神経内科に関する医療）  
 感染症法（第37条の2）指定病院  
 原子爆弾被爆者医療法一般疾病医療取扱病院  
 母体保護法指定病院「不妊手術」  
 特定疾患治療研究事業に係る医療指定病院  
 小児慢性特定疾患治療研究事業に係る医療指定病院  
 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業に係る医療指定病院  
 母子保健法指定病院「養育医療」  
 出入国管理及び難民認定法指定病院  
 救急告示病院  
 県へき地医療拠点病院（遠隔医療支援）  
 基幹型臨床研修病院  
 厚生労働省 DPC 対象病院  
 県指定 かごしま子育て応援企業  
 産科医療補償制度加入医療機関  
 県女性医師復職研修事業指定病院  
 県指定 地域周産期母子医療センター  
 県消防・防災ヘリコプター救急搬送医師搭乗システム  
 輪番病院  
 厚生労働省指定 地域がん診療連携拠点病院  
 歯科医師臨床研修病院（協力型）  
 県エイズ治療協力病院  
 県指定 地域医療支援病院  
 AMAT（全日本病院医療支援班）病院  
 鹿児島県DMAT（災害派遣医療チーム）指定病院  
 洋上救急業務支援協力医療機関  
 厚生労働省 医薬品・医療器具安全性情報協力施設  
 県脳卒中情報システム推進事業の情報提供協力医療機関  
 県重症難病医療協力病院（短期入所施設）  
 鹿児島市高規格救急車指示病院  
 県広域災害医療情報システム（EMIS）登録病院  
 市指定 にこにこ子育て応援隊認定企業  
 県地域周産期医療支援病院  
 各種健診（検診）・予防接種等受託医療機関  
 鹿児島県消化器集団検診精密検査医療機関  
 NCD登録施設

### ● 学会等認定施設

日本内科学会認定医教育関連病院  
 日本血液学会認定血液研修施設  
 日本消化器学会 胃腸科指導施設  
 日本消化器内視鏡学会専門医指導施設  
 日本消化器病学会専門医制度認定施設  
 日本胆道学会指導医制度指導施設  
 鹿児島県消化器集団検診精密検査医療機関  
 日本循環器学会循環器専門医研修関連施設  
 日本神経学会専門医制度教育施設  
 日本脳卒中学会一次脳卒中センター  
 日本呼吸器学会専門医制度関連施設  
 日本外科学会専門医制度修練施設  
 日本消化器外科学会専門医研修施設  
 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医制度関連認定施設  
 日本胸部外科学会認定医認定制度関連施設  
 呼吸器外科専門医合同委員会専門研修基幹施設  
 日本整形外科学会専門医研修施設  
 日本脊髄病学会脊髄外科専門医基幹研修施設  
 日本形成外科学会認定医研修施設  
 日本手外科学会研修施設  
 日本脳神経外科学会専門医指定訓練場所  
 日本産婦人科学会専門医制度卒後臨床研修指導施設  
 日本周産期新生児医学会 周産期(母胎胎児)専門医暫定研修施設  
 日本周産期新生児医学会周産期(新生児)専門医暫定研修施設  
 日本泌尿器科学会基幹教育施設  
 日本泌尿器科学会専門医教育施設  
 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設  
 日本気管食道科学会認定気管食道科専門医研修施設（咽頭系）  
 日本皮膚科学会専門医研修施設  
 日本麻酔科学会麻酔科標榜研修施設  
 日本IVR学会専門医修練施設  
 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関  
 日本放射線腫瘍学会 認定施設  
 日本病理学会研修登録施設  
 日本臨床細胞学会認定施設  
 日本口腔外科学会専門医制度研修施設  
 日本がん治療認定医機構 認定研修施設  
 日本救急医学会専門医指定施設  
 日本口腔ケア学会口腔ケア認定施設  
 日本緩和医療学会認定研修施設  
 日本病院薬剤師会がん薬物法認定薬剤師研修事業認定研修施設  
 日本栄養療法推進協議会NST稼動施設  
 日本臨床栄養代謝学会NST稼動施設  
 日本臨床衛生検査技師会・精度管理保証施設  
 日本臨床神経生理学会認定施設  
 日本糖尿病学会認定教育施設 I  
 日本医学放射線学会画像診断管理認証施設  
 日本血液学会認定専門研修教育施設  
 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術・実施基準による実施施設認定  
 日本臨床腫瘍薬学会がん診療連携研修病院認定

## 施設基準届出一覧

### ○基本診療料の施設基準等

- 初診料（歯科）の注1に掲げる基準
- 一般病棟入院基本料 1
- 総合入院体制加算 3
- 救急医療管理加算
- 超急性期脳卒中加算
- 診療録管理体制加算 1
- 医師事務作業補助体制加算 2 25：1
- 急性期看護補助体制加算 25：1
- 看護職員夜間配置加算 12：1
- 療養環境加算
- 重症者等療養環境特別加算
- 緩和ケア診療加算
- 栄養サポートチーム加算
- 医療安全対策加算 1
- 感染防止対策加算 1
- 患者サポート体制充実加算
- 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
- ハイリスク妊娠管理加算
- ハイリスク分娩管理加算
- 呼吸ケアチーム加算
- 後発医薬品使用体制加算 1
- データ提出加算 2
- 入退院支援加算 1.3
- 入院時支援加算
- せん妄ハイリスク患者ケア加算
- 精神疾患診療体制加算
- 地域医療体制確保加算
- ハイケアユニット入院医療管理料 1
- 新生児特定集中治療室管理料 1
- 新生児治療回復室入院医療管理料
- 小児入院医療管理料 4
- 入院時食事療養／生活療養（I）
- 歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び  
歯科治療時医療管理料

### ○特掲診療料の施設基準等

- 外来栄養食事指導料の注2
- がん性疼痛緩和指導管理料
- がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ
- 外来緩和ケア管理料
- 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- 婦人科特定疾患治療管理料
- 院内トリアージ実施料
- 夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送  
看護体制加算
- 外来放射線照射診療料
- ニコチン依存症管理料
- 療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
- 開放型病院共同指導料
- がん治療連携計画策定料
- 薬剤管理指導料
- 医療機器安全管理料 1
- 医療機器安全管理料 2
- 在宅酸素療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリ  
ング加算
- 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔  
モニタリング加算
- 持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動  
する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グ  
ルコース測定
- BRCA1/2遺伝子検査（血液を検体とするもの）

- BRCA 1 / 2 遺伝子検査（腫瘍細胞を検体とするもの）
- HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
- 検体検査管理加算（IV）
- 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- 神経学的検査
- 補聴器適合検査
- 画像診断管理加算 1
- 画像診断管理加算 2
- CT撮影及びMRI撮影
- 冠動脈CT撮影加算
- 心臓MRI撮影加算
- 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- 外来化学療法加算 1
- 連携充実加算
- 無菌製剤処理料
- 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）
- 運動器リハビリテーション料（I）
- 呼吸器リハビリテーション料（I）
- がん患者リハビリテーション料
- 歯科口腔リハビリテーション料 2
- 静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
- 人工腎臓
- 導入期加算 1
- 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- CAD/CAM冠
- センチネルリンパ節加算（皮膚悪性腫瘍切除）
- 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）
- 後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）
- ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
- 食道縫合術
- （穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指  
腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等
- ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- 腹腔鏡下痔腫瘍摘出術
- 腹腔鏡下痔体尾部腫瘍切除術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 腹腔鏡下仙骨腔固定術
- 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
- 輸血管理料 I
- 輸血適正使用加算
- 貯血式自己血輸血管理体制加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料（I）
- 放射線治療専任加算
- 外来放射線治療加算
- 高エネルギー放射線治療
- 1回線量増加加算
- 画像誘導放射線治療（IGRT）
- 定位放射線治療
- 病理診断管理加算 1
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 酸素の購入単価

## 主要医療機器



放射線治療装置 Infinity



Ingenia Elitiln S



320 列 CT  
(Aquilion ONE/PRISM Edition)



64 列 CT  
(Incisive CT Premium)



da Vinci X Surgical System



O-Arm StealthStation



セクリスト高気圧酸素治療装置  
Model 3300HJ



内視鏡システム EVIS X1



心臓リハビリテーション

### 【その他医療機器】

一般撮影装置  
CT 装置  
歯科用パノラマ装置  
血管造影循環器 X 線撮影装置  
3Dimenthions (3DMammography)  
歯科用 X 線装置  
一般ポータブル X 線装置  
外科用イメージ  
MRI 装置 1.5T、3.0T  
核医学装置 RI  
X 線骨密度測定装置  
個人用人工透析装置  
急性血液浄化装置  
個人 RO 装置  
人工呼吸器  
手術中誘発電位測定装置  
体温維持装置  
内視鏡ビデオスコープ  
3D 内視鏡装置

超音波気管支ファイバースコープ  
内視鏡用超音波観測装置  
分娩監視装置  
定置・閉鎖型保育器  
搬送用保育器  
光線治療器  
無反射視力検査装置  
マイクロ波治療装置  
高周波手術装置  
超音波凝固切開装置  
超音波検査装置  
睡眠時無呼吸症候群検査装置  
精密肺機能検査装置  
ホルター心電計／解析装置  
磁気刺激装置  
心電計  
脳波計  
誘発電位・筋電図測定装置  
聴力検査装置

多項目自動血球分析装置  
生化学自動分析装置  
全自動血液凝固測定装置  
自動免疫組織化学染色装置  
除細動装置  
オートパルス人工蘇生システム  
麻酔器システム  
電気メス  
全自動輸血検査装置



新生児専用救急搬送車  
もじょか1号

## 上町いまきいれ病院 病院概要

(令和3年3月現在)

名 称	公益社団法人昭和会 上町いまきいれ病院 Kanmachi Imakiire Hospital	
開設者	代表理事 今給黎 和幸 (いまきいれ かずゆき)	
管理者	院長 丸山 芳一 (まるやま よしかず)	
所在地	〒892-0852 鹿児島市下竜尾町4番16号 (かごしまししもたつおちょう)	
代表電話	099-222-1800	
代表 FAX	099-226-3366	
URL	<a href="https://imakiire.jp/kanmachi/">https://imakiire.jp/kanmachi/</a>	
病院開設日	2021年(令和3年)1月1日	
病床数	100床 回復期 54床・地域包括ケア 46床(眼科 10床)	
規 模	地上7階 地下1階 敷地面積 3,407.3 m <sup>2</sup> 、建築面積 10,542.6 m <sup>2</sup>	
標榜科 (6診療科)	内科、脳神経内科、糖尿病内科、整形外科、リハビリテーション科、眼科	
職員数	171名	
有資格者	常勤	非常勤
	医師	7名 1名
	薬剤師	2名
	診療放射線技師	1名
	臨床検査技士	2名
	理学療法士	18名
	作業療法士	8名
	言語聴覚士	2名
	管理栄養士	4名
	視能訓練士	4名
	社会福祉士	2名
	看護師	67名
	保健師	2名
	准看護師	2名

## 施設概要

(令和3年3月現在)

6F	手術室
5F	リハビリテーション室 サプライセンター
4F	管理室
3F	地域包括ケア病棟 46床(眼科病棟含む) リハビリテーション室
2F	回復期リハビリテーション病棟 54床 リハビリテーション室
1F	総合受付 外来(内科、脳神経内科、整形外科、糖尿病内科、眼科) 薬局 検査室 救急処置室 総合処置室 外来専用リハビリテーション室
地下 1階	レントゲン・CT室 中央監視室

## 施設基準届出一覧

### ○基本診療料の施設基準等

回復期リハビリテーション病棟入院料 2  
地域包括ケア病棟入院料 看護職員配置加算  
入退院支援加算 1 (一般病棟等)  
地域包括ケア入院料 2  
データ提出加算 2

### ○特掲診療料の施設基準等

在宅訪問看護・指導料  
神経学的検査  
CT撮影  
緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術)  
(プレートのあるもの)  
入院時食事療養 (I)  
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)  
運動器リハビリテーション料 (I)  
呼吸器リハビリテーション料 (I)  
緑内障手術 (水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)

## 医療設備概要

### 【放射線部門】

一般撮影装置  
一般ポータル X 線装置 IMC-125  
CT 装置  
受付・画像処理装置

### 【その他医療機器】

眼底カメラ検査装置  
眼球運動検査装置  
無反射視力検査  
超音波検査装置  
肺機能検査装置  
心電計  
多項目自動血球装置  
生化学自動分析装置

# 病院統計 II

2020/令和2年4月～12月 今給黎総合病院・昭和会クリニック  
2021/令和3年1月～3月 いまきいれ総合病院・上町いまきいれ病院

- (1) 科別外来患者数
- (2) 科別在院患者延べ数
- (3) 年度別手術症例数
- (4) 科別手術症例数
- (5) 年度別入院患者死亡数及び病理解剖数
- (6) 外来患者市町村別分類図
- (7) 退院患者市町村別分布図
- (8) 市町村別紹介施設数・患者数
- (9) 市町村別逆紹介施設数・患者数
- (10) 紹介率
- (11) 逆紹介率
- (12) 外来患者初再診
- (13) 外来患者時間外・深夜・休日患者数
- (14) 入院患者に関する実績比較
- (15) 年度別救急車受入台数(患者数)
- (16) 救急患者受入時間帯・年齢別分類
- (17) 市町村別救急患者数
- (18) 退院患者ICD大分類(主傷病名大分類)
- (19) ICD大分類(科別、性別退院患者数)
- (20) 院内がん登録集計



(1) 科別外来患者数 (複数診療科受診を各々1とした場合)  
 今給黎総合病院 2020/令和2年4月~12月  
 ・○印:時間内診療はクリニックで実施 ・在宅医療含む  
 ・1日平均:患者数÷平日・土曜日数(祝日除く)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	1月平均	1日平均
○ 総合内科	60	37	47	45	44	33	45	36	54	401	44.6	2.0
○ 糖尿病内科	111	111	141	137	145	141	167	172	188	1,313	145.9	6.4
○ 呼吸器内科	123	108	127	149	112	131	123	135	105	1,113	123.7	5.4
○ 脳神経内科	31	27	22	27	33	25	26	24	27	242	26.9	1.2
消化器内科	604	602	690	619	654	644	710	640	668	5,831	647.9	28.5
循環器内科	518	462	500	509	489	482	551	467	478	4,456	495.1	21.8
血液内科	157	123	139	146	152	140	200	143	149	1,349	149.9	6.6
外科 <small>(肝・胆・膵・小胆)</small>	308	312	395	306	308	283	365	294	311	2,882	320.2	14.1
呼吸器外科	174	164	168	190	132	148	174	158	136	1,444	160.4	7.1
血管外科	0	34	50	56	61	52	63	50	39	405	45.0	2.0
○ 整形外科	70	68	127	78	81	65	80	86	48	703	78.1	3.4
○ 形成外科	53	50	35	37	45	59	50	49	37	415	46.1	2.0
○ 脳神経外科	33	22	35	26	23	31	34	30	26	260	28.9	1.3
産婦人科	233	253	319	317	304	290	341	347	327	2,731	303.4	13.4
○ 小児科	12	0	0	0	1	1	0	1	1	16	1.8	0.1
○ 新生児内科	5	4	2	2	1	1	1	3	1	20	2.2	0.1
泌尿器科	657	610	715	664	665	681	691	628	692	6,003	667.0	29.4
眼科	720	627	781	716	667	751	812	719	698	6,491	721.2	31.7
○ 気管食道・耳鼻いんこう科	1	5	9	5	9	11	10	5	3	58	6.4	0.3
○ 皮膚科	6	56	9	5	11	79	6	3	4	179	19.9	0.9
○ 麻酔科	6	4	6	8	5	4	8	5	5	51	5.7	0.2
○ 放射線科 <small>(診断・治療)</small>	153	153	156	167	147	137	145	140	104	1,302	144.7	6.4
○ 緩和医療科	38	28	42	43	32	37	47	36	42	345	38.3	1.7
○ 歯科口腔外科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0.2	0.0
救急科	68	53	70	90	150	134	127	127	112	931	103.4	4.6
合計	4,141	3,913	4,585	4,344	4,271	4,360	4,776	4,298	4,255	38,943	4,327.0	-
1日平均	180	191	191	189	190	198	195	205	177	-	-	190.4



(1) 科別外来患者数 (複数診療科受診を各々1とした場合)  
昭和会クリニック 2020/令和2年4月～12月

・1日平均:患者数÷平日・土曜日数(祝日除く)・在宅医療含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	1月平均	1日平均	初診(%)
総合内科	498	384	435	426	414	375	686	659	585	4,462	496	22.3	28.5
糖尿内科	224	193	228	229	226	209	260	216	240	2,025	225	10.1	1.1
呼吸器内科	398	367	415	379	317	391	439	371	317	3,394	377	16.9	7.1
神経内科	700	648	745	771	716	771	757	646	749	6,503	723	32.4	8.1
整形外科	1,842	1,753	2,138	1,923	1,846	1,865	2,197	1,913	2,004	17,481	1,942	87.2	11.9
形成外科	393	407	446	452	434	434	493	386	391	3,836	426	19.1	18.4
脳神経外科	245	192	225	226	214	216	258	200	228	2,004	223	10.0	7.1
新生児内科	33	84	131	114	135	137	117	102	111	964	107	4.8	0.7
小児科	515	431	486	522	527	544	657	693	731	5,106	567	25.5	23.8
気管食道・耳鼻いんこう科	349	366	440	431	430	444	551	472	418	3,901	433	19.5	24.5
皮膚科	625	580	771	689	733	688	743	626	663	6,118	680	30.5	19.9
放射線科	5	3	2	1	4	3	3	2	3	26	3	0.1	76.9
歯科	325	304	394	380	337	300	407	359	309	3,115	346	15.5	36.6
歯科口腔外科	356	287	311	312	282	266	278	240	231	2,563	285	12.8	32.1
合計	6,508	5,999	7,167	6,855	6,615	6,643	7,846	6,885	6,980	61,498	6,833	-	16.9
1日平均	283	293	299	298	294	302	320	328	349	-	-	306.7	-
救急車患者数(再掲)	1	1	1	2	4	1	1	1	1	13	-	-	-

初診	1,072	1,024	1,321	1,209	1,110	1,121	1,398	1,160	956	10,371	864	35.2	-
再診	5,436	4,975	5,846	5,646	5,505	5,522	6,448	5,725	6,024	51,127	4,261	173.3	-
初診率(%)	16.5	17.1	18.4	17.6	16.8	16.9	17.8	16.8	13.7	16.9	-	-	-

(1) 科別外来患者数（複数診療科受診を各々1とした場合）

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月

	1 月	2 月	3 月	合 計	1 月平均	1 日平均
一 般 内 科	29	8	36	73	24.3	1.1
糖 尿 病 科	139	146	177	462	154.0	7.1
呼 吸 器 内 科	378	375	430	1,183	394.3	18.1
脳 神 経 内 科	321	320	383	1,024	341.3	15.6
消 化 器 内 科	454	553	642	1,649	549.7	25.2
循 環 器 内 科	352	351	472	1,175	391.7	17.9
血 液 内 科	118	142	145	405	135.0	6.2
外 科	198	247	281	726	242.0	11.1
呼 吸 器 外 科	118	113	137	368	122.7	5.6
血 管 外 科	62	57	66	185	61.7	2.8
整 形 外 科	624	741	895	2,260	753.3	34.5
形 成 外 科	212	266	352	830	276.7	12.7
脳 神 経 外 科	112	122	152	386	128.7	5.9
産 婦 人 科	222	289	380	891	297.0	13.6
新 生 児 内 科	96	97	144	337	112.3	5.1
小 児 科	234	229	273	736	245.3	11.2
泌 尿 器 科	351	399	528	1,278	426.0	19.5
頭 頸 部・耳 鼻 咽 喉 科	294	329	406	1,029	343.0	15.7
皮 膚 科	208	228	282	718	239.3	11.0
麻 酔 科	4	3	9	16	5.3	0.2
放 射 線 科 (診 断・治 療)	86	112	261	459	153.0	7.0
緩 和 医 療 科	29	33	49	111	37.0	1.7
一 般 歯 科	273	301	410	984	328.0	15.0
歯 科 口 腔 外 科	248	297	313	858	286.0	13.1
救 急・総 合 診 療 科	245	252	267	764	254.7	11.7
総 計	5,407	6,010	7,490	18,907	6,302.3	-
1 日 平 均	257.5	300.5	305.7	-	-	288.7

上町いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月

	1 月	2 月	3 月	合 計	1 月平均	1 日平均	初 診 率 (%)
総 合 内 科	74	89	95	258	86	4.4	38.4
糖 尿 内 科	217	213	242	672	224	11.4	0.6
脳 神 経 内 科	299	303	356	958	319	16.2	5.2
整 形 外 科	391	446	592	1,429	476	24.2	16.2
眼 科	678	636	845	2,159	720	36.6	10.0
合 計	1,659	1,687	2,130	5,476	1,825	-	10.9
1 日 平 均	87	94	97	-	-	92.8	-
救 急 車 患 者 数	0	1	0				
初 診	202	172	225	599	50	2.0	-
再 診	1,457	1,515	1,905	4,877	406	16.5	-
初 診 率 (%)	12.2	10.2	10.6	10.9	-	-	-

1日平均:患者数÷平日・土曜日数(祝日除く)

(2) 科別在院患者延数  
今給黎総合病院 2020/令和2年4月～12月

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	1月平均	1日平均
内科	338	307	277	314	400	305	401	297	414	3,053	339.2	11.1
糖尿病内科	17	42	63	85	63	69	46	106	26	517	57.4	1.9
呼吸器内科	640	723	668	850	714	621	873	708	701	6,498	722.0	23.6
脳神経内科	839	804	718	714	769	821	774	807	910	7,156	795.1	26.0
消化器内科	859	733	680	618	616	639	841	689	522	6,197	688.6	22.5
循環器内科	178	212	251	262	171	185	237	134	99	1,729	192.1	6.3
血液内科	469	614	665	757	704	588	577	528	506	5,408	600.9	19.7
外科	577	468	706	380	514	562	448	403	347	4,405	489.4	16.0
呼吸器外科	366	368	363	309	271	280	298	325	309	2,889	321.0	10.5
血管外科	0	0	0	1	13	12	16	34	4	80	8.9	0.3
整形外科	2,639	2,242	2,667	3,060	2,886	2,717	3,130	3,445	2,947	25,733	2859.2	93.6
形成外科	425	367	505	441	514	469	474	532	464	4,191	465.7	15.2
脳神経外科	360	461	503	364	268	329	472	471	479	3,707	411.9	13.5
産婦人科	196	217	251	344	323	280	425	236	112	2,384	264.9	8.7
小児科	60	48	58	33	55	58	89	30	32	463	51.4	1.7
新生児内科	386	470	460	484	491	483	441	478	316	4,009	445.4	14.6
泌尿器科	530	355	485	522	470	510	421	473	341	4,107	456.3	14.9
眼科	225	152	203	168	188	193	258	234	183	1,804	200.4	6.6
気管食道・耳鼻いんこう科	195	205	431	393	345	381	374	342	289	2,955	328.3	10.7
皮膚科	79	62	107	86	129	120	117	48	41	789	87.7	2.9
放射線科	126	52	58	65	33	52	61	59	10	516	57.3	1.9
緩和医療科	27	79	72	138	92	63	53	80	50	654	72.7	2.4
歯科口腔外科	49	52	74	74	111	90	73	48	59	630	70.0	2.3
救急科	23	47	65	49	34	73	79	92	26	488	54.2	1.8
合計	9,603	9,080	10,330	10,511	10,174	9,900	10,978	10,599	9,187	90,362	10040.2	-
1日平均	320	293	344	339	328	330	354	353	296	-	-	328.6

(2) 科科別在院患者延数

いまきいれ総合病院 2021/ 令和3年1月～3月

	1 月	2 月	3 月	合 計	1 月平均	1 日平均
糖尿病内科	35	49	53	137	45.7	1.5
呼吸器内科	762	708	787	2,257	752.3	25.1
脳神経内科	656	526	728	1,910	636.7	21.2
消化器内科	432	543	708	1,683	561.0	18.7
循環器内科	206	347	310	863	287.7	9.6
血液内科	517	567	514	1,598	532.7	17.8
外 科	372	492	469	1,333	444.3	14.8
呼吸器外科	205	306	284	795	265.0	8.8
血管外科	8	15	30	53	17.7	0.6
整形外科	1,358	1,551	1,385	4,294	1431.3	47.7
形成外科	317	480	512	1,309	436.3	14.5
脳神経外科	160	302	401	863	287.7	9.6
産婦人科	329	309	323	961	320.3	10.7
小 児 科	30	22	10	62	20.7	0.7
新生児内科	303	509	444	1,256	418.7	14.0
泌尿器科	191	285	440	916	305.3	10.2
頭頸部・耳鼻咽喉科	189	308	447	944	314.7	10.5
皮 膚 科	54	96	40	190	63.3	2.1
放射線科	0	50	59	109	36.3	1.2
緩和医療科	5	40	61	106	35.3	1.2
歯科口腔外科	52	84	114	250	83.3	2.8
救急・総合診療科	510	432	690	1,632	544.0	18.1
合 計	6,691	8,021	8,809	23,521	7840.3	-
1 日 平 均	216	286	284	786	-	261.3

上町いまきいれ総合病院 2021年 / 令和3年1月～3月

	1 月	2 月	3 月	合 計	1 月平均	1 日平均
総合内科	263	245	312	820	273	9.1
脳神経内科	894	1,035	1,115	3,044	1,015	33.8
整形外科	866	905	838	2,609	870	29.0
眼 科	126	141	216	483	161	5.4
合 計	2,149	2,326	2,481	6,956	2,319	-
1 日 平 均	69.3	83.1	80.0	-	579.7	77.3

(3) 年度別手術症例数 (病院手術室実施手術)

今給黎総合病院

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
4月	343	329	362	370	325
5月	301	356	374	327	230
6月	394	366	396	362	362
7月	335	386	386	406	307
8月	347	398	387	397	324
9月	330	373	334	389	322
10月	364	382	392	403	368
11月	388	392	382	388	374
12月	378	381	281	367	272
1月	339	346	342	339	-
2月	355	348	349	354	-
3月	383	406	390	425	-
合計	4,257	4,463	4,375	4,527	2,884
月平均	355	372	364.6	377.3	320.4

いまきいれ総合病院 上町いまきいれ病院(眼科)

	令和3年
4月	-
5月	-
6月	-
7月	-
8月	-
9月	-
10月	-
11月	-
12月	-
1月	174
2月	242
3月	284
合計	700
月平均	233.3

	令和3年
4月	-
5月	-
6月	-
7月	-
8月	-
9月	-
10月	-
11月	-
12月	-
1月	70
2月	64
3月	106
合計	240
月平均	80.0

(4) 科別手術症例数 (病院手術室実施手術)

今給黎総合病院 2020/令和2年4月～12月

	眼科	整形外科	形成外科	外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	産婦人科	歯科口腔外科	呼吸器外科	脳神経外科	血管外科	総計
4月	94	88	21	37	28	16	12	8	15	6		325
5月	67	46	21	23	18	7	18	9	10	11		230
6月	100	89	36	34	25	28	11	14	14	11		362
7月	75	72	35	25	25	25	14	17	14	4	1	307
8月	73	98	28	28	21	25	16	16	8	4	7	324
9月	80	68	38	23	28	28	11	17	14	8	7	322
10月	113	98	35	19	17	27	17	13	12	10	7	368
11月	96	114	36	21	29	31	13	12	12	4	6	374
12月	82	66	29	13	17	20	6	11	13	11	4	272
総計	780	739	279	223	208	207	118	117	112	69	32	2,884

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月

	整形外科	形成外科	耳鼻咽喉科	外科	泌尿器科	歯科口腔外科	呼吸器外科	婦人科	血管外科	産科	脳神経外科	消化器内科	救急科	総計
1月	59	21	19	20	13	8	8	7	6	9	4			174
2月	84	35	24	30	14	14	14	7	6	6	6	1	1	242
3月	84	36	38	29	23	19	15	14	13	4	7	1	1	284
総計	227	92	81	79	50	41	37	28	25	19	17	2	2	700

(5) 年度別入院患者死亡数及び病理解剖数 今給黎総合病院

	平成28年		平成29年		平成30年		令和元年		令和2年	
	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数	死亡数	解剖数
4月	18	0	13	1	14	0	17	0	9	0
5月	9	0	15	1	19	0	6	0	10	0
6月	11	0	10	0	15	0	9	0	13	0
7月	12	0	16	1	14	0	9	0	9	0
8月	18	0	14	0	16	1	17	0	8	0
9月	14	0	13	0	11	0	9	0	4	0
10月	19	0	10	0	13	0	20	0	11	0
11月	10	0	15	1	8	0	13	0	12	0
12月	11	0	14	0	12	0	20	3	7	0
1月	18	0	16	0	21	0	17	0	-	-
2月	14	0	17	0	11	0	9	0	-	-
3月	15	0	10	0	16	0	15	1	-	-
合計	169	0	163	4	170	1	161	4	83	0
剖検率	-		2.45%		0.58%		2.48%		-	

いまきいれ総合病院

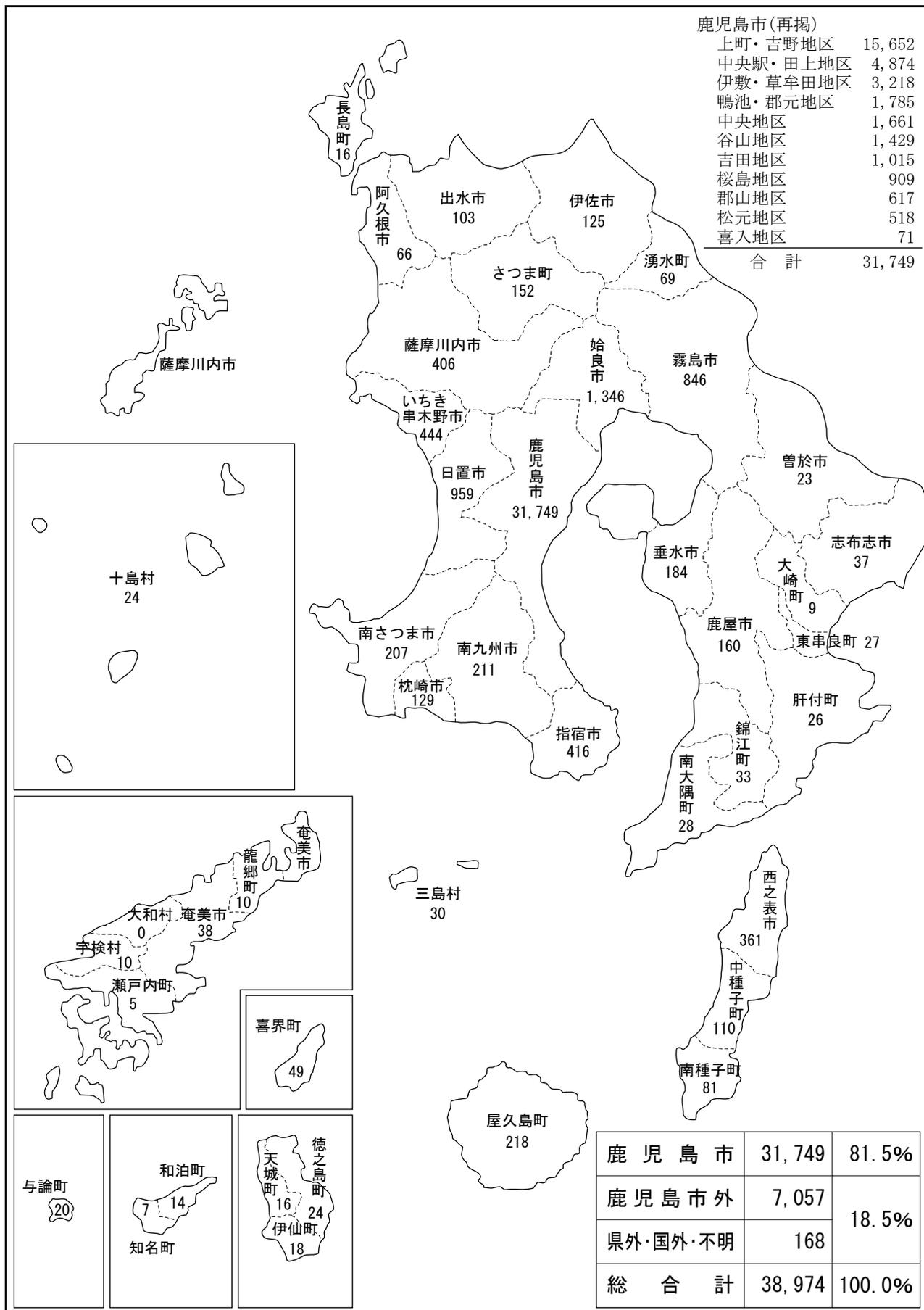
	令和3年	
	死亡数	解剖数
1月	7	0
2月	11	0
3月	9	0
総計	27	0
解剖率	-	

上町いまきいれ病院

	令和3年
	死亡数
1月	0
2月	0
3月	1
総計	1

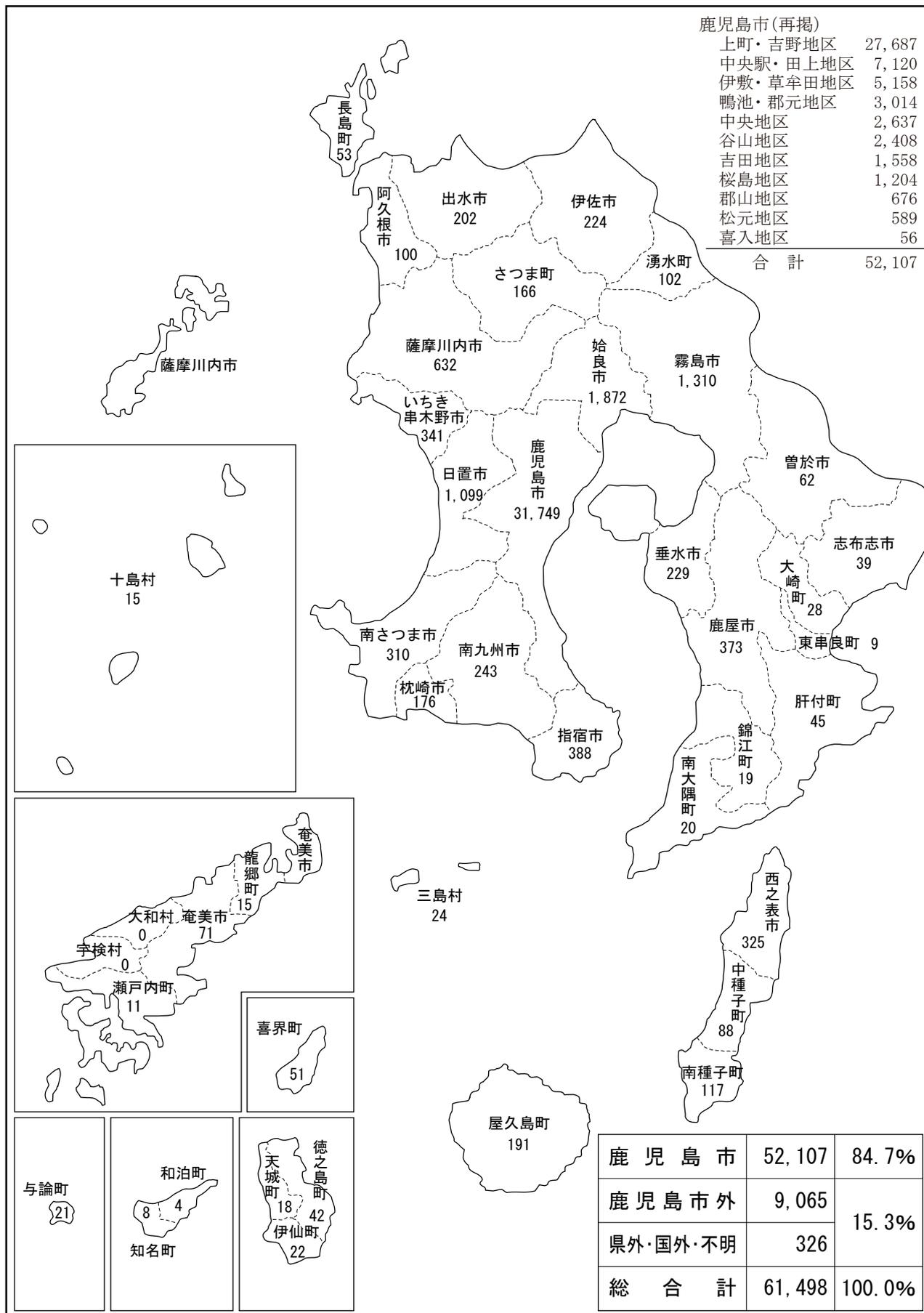
(6) 外来患者市町村別分布図(複数診療科受診を各々1とした場合)

今給黎総合病院 2020/令和2年4月～12月



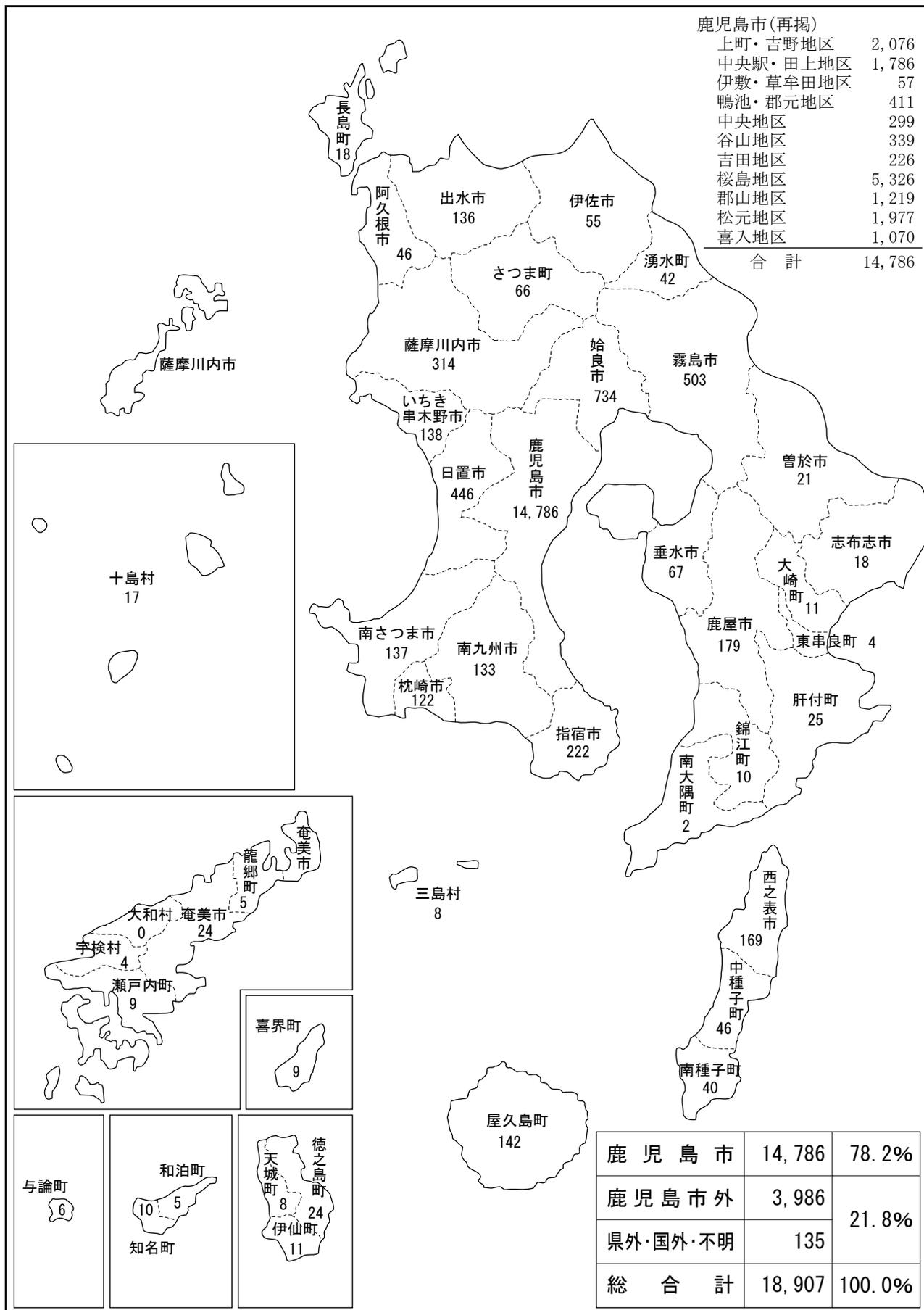
(6) 外来患者市町村別分布図(複数診療科受診を各々1とした場合)

昭和会クリニック 2020/令和2年4月～12月



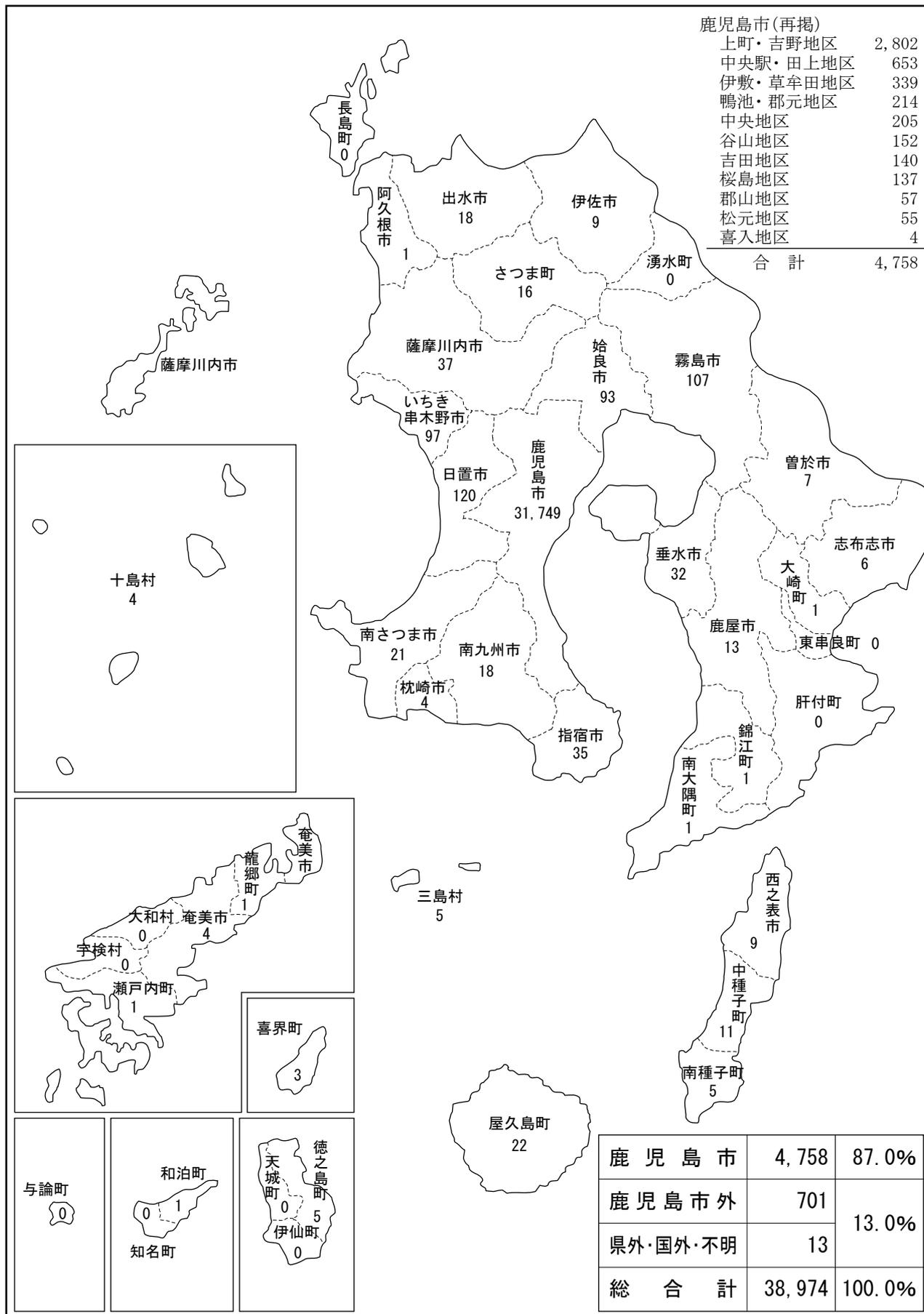
(6) 外来患者市町村別分布図(複数診療科受診を各々1とした場合)

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月



(6) 外来患者市町村別分布図(複数診療科受診を各々1とした場合)

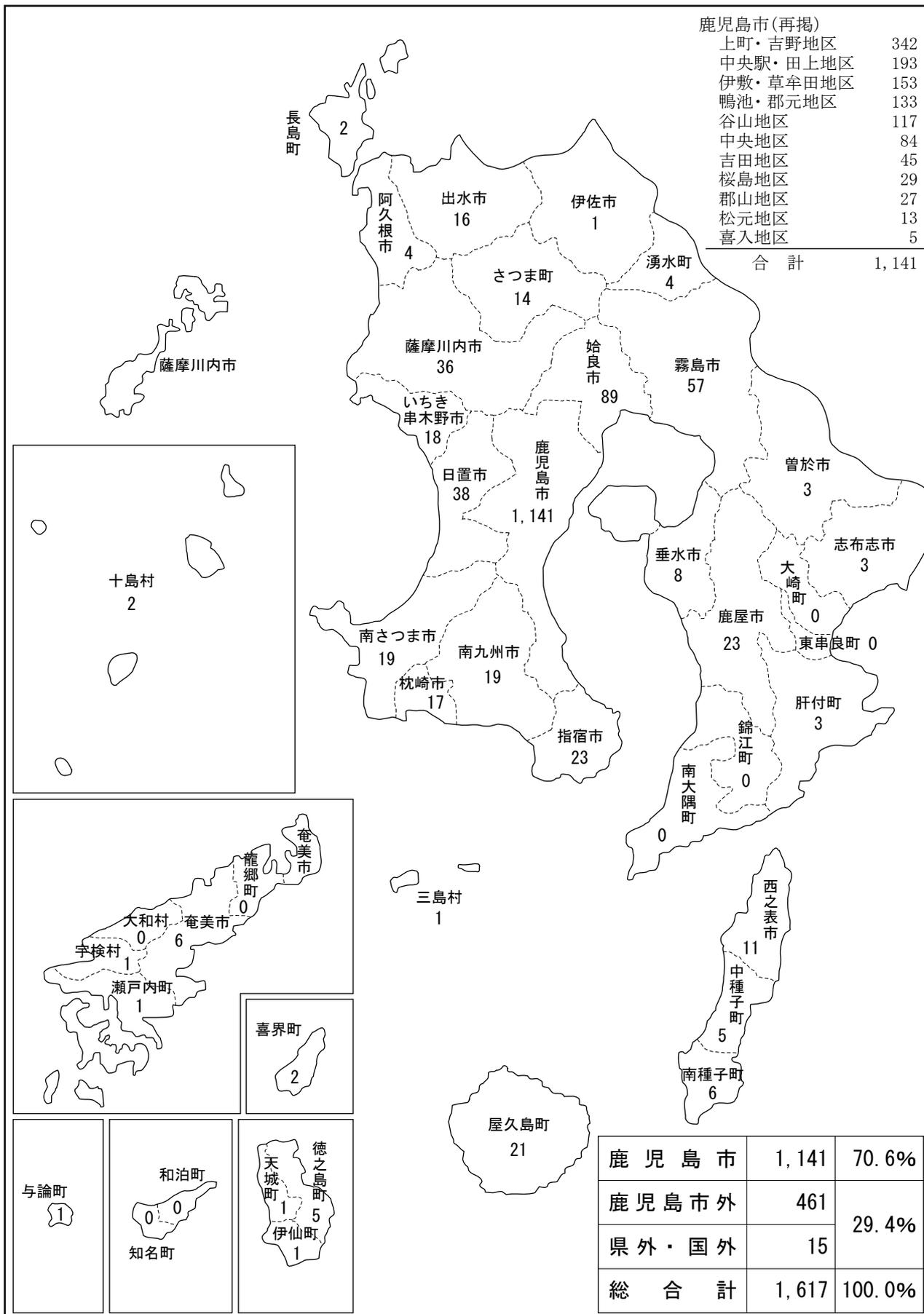
上町いまきいれ病院 2021/令和3年1月～3月





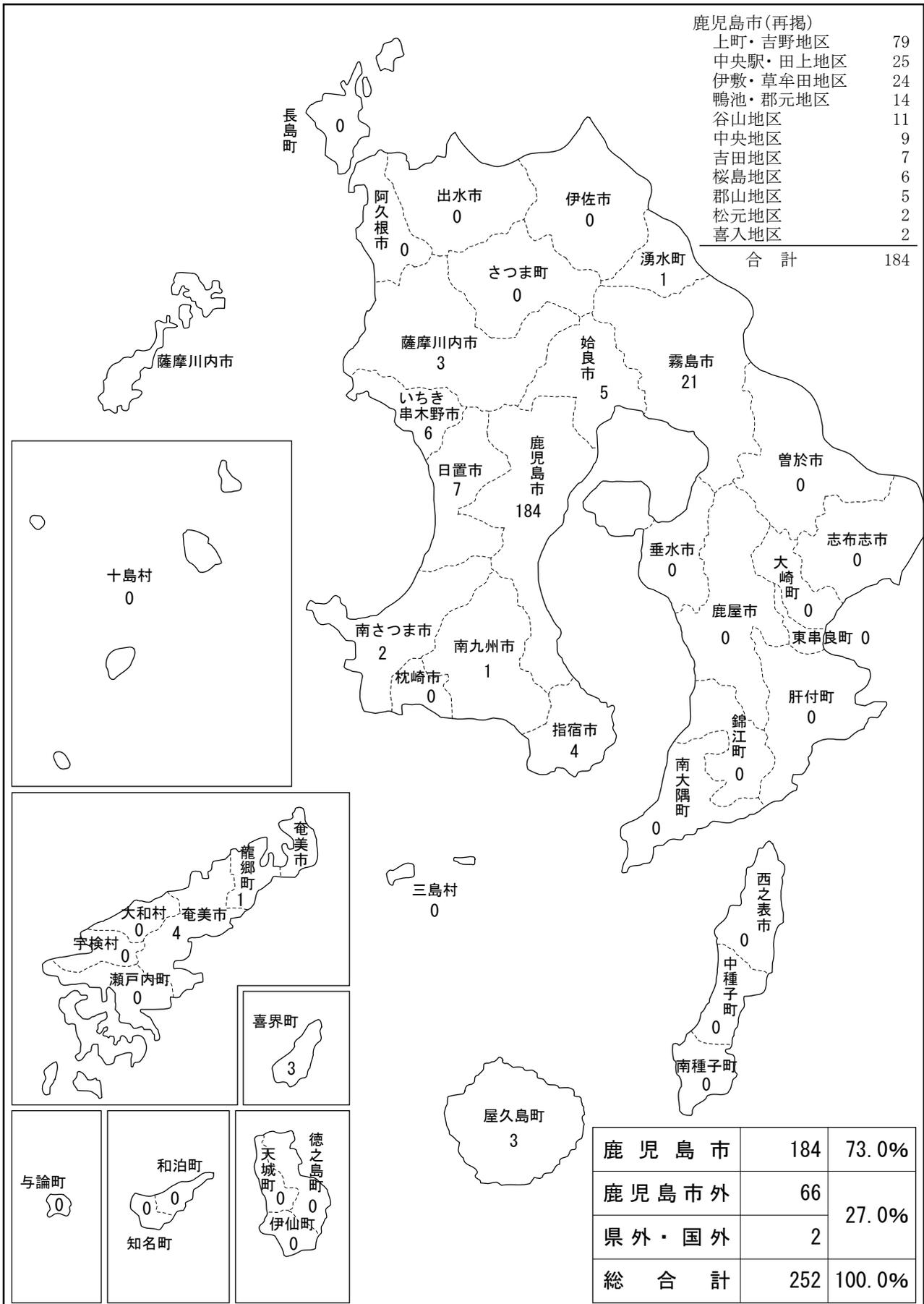
(7) 退院患者市町村別分布図

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月



(7) 退院患者市町村別分布図

上町いまきいれ病院 2021/令和3年1月～3月



(8) 市町村別紹介施設数・患者数(他院より当院への紹介)

今給黎総合病院 2020/令和2年4月～12月

市 町 村 名			施設件数	患者数	市 町 村 名			施設件数	患者数	
鹿 児 島	鹿 児 島 市		463	5,022	曾 於	曾 於 市		2	5	
	鹿 児 島 郡	三 島 村	4	14		志 布 志 市		1	1	
		十 島 村	4	7	伊 佐	伊 佐 市		8	29	
始 良	霧 島 市		48	294	熊 毛 郡	西 之 表 市		6	169	
	始 良 郡	始 良 市	41	262		熊 毛 郡	中 種 子 町		1	1
		湧 水 町	1	2			南 種 子 町		2	6
日 置	日 置 市		25	146	屋 久 島 町		5	41		
川 薩	薩 摩 川 内 市		28	148	大 島 郡	奄 美 市		9	53	
	薩 摩 郡	い ち き 串 木 野 市	19	95		龍 郷 町		1	1	
		さ つ ま 町	7	21		瀬 戸 内 町		1	2	
川 辺	南 さ つ ま 市		13	54		喜 界 町		1	5	
	枕 崎 市		9	25		徳 之 島		4	23	
	南 九 州 市		12	26		天 城 町		1	1	
指 宿	指 宿 市		17	49		伊 仙 町		1	1	
出 水	出 水 市		6	18		知 名 町		2	4	
	阿 久 根 市		4	19		与 論 町		2	5	
肝 属	鹿 屋 市		17	55		県 内		769	6,619	
	垂 水 市		2	11	県 外		46	63		
	肝 属 郡	肝 付 町	1	2	総 合 計		815	6,682		
錦 江 町		1	2							

※病院・クリニック合算の数です

(9) 市町村別逆紹介施設数・患者数(当院より他院への紹介)

今給黎総合病院 2020/令和2年4月～12月

市 町 村 名			施設件数	患者数	市 町 村 名			施設件数	患者数
鹿 児 島	鹿 児 島 市		521	5,829	曾 於	曾 於 市		2	2
	鹿 児 島 郡	三 島 村	1	1		志 布 志 市		2	3
		十 島 村	1	1	伊 佐	伊 佐 市		12	31
始 良	霧 島 市		53	278	熊 毛 郡	西 之 表 市		7	124
	始 良 郡	始 良 市	59	295		中 種 子 町		4	10
		湧 水 町	3	4		南 種 子 町		3	10
日 置	日 置 市		32	187	屋 久 島 町		5	34	
川 薩	薩 摩 川 内 市		37	108	大 島 郡	奄 美 市		9	43
	薩 摩 郡	い ち き 串 木 野 市	16	84		喜 界 町		3	16
		さ つ ま 町	10	20		瀬 戸 内 町		1	2
川 辺	南 さ つ ま 市		21	46		宇 検 村		1	1
	枕 崎 市		10	37		徳 之 島		6	21
	南 九 州 市		10	32		和 泊 町		1	1
指 宿	指 宿 市		19	78		知 名 町		1	2
出 水	出 水 市		12	36		天 城 町		1	1
	阿 久 根 市		4	20		与 論 町		3	9
肝 属	鹿 屋 市		27	139		県 内		904	7,529
	垂 水 市		4	16	県 外		82	127	
	肝 属 郡	肝 付 町	1	1	紹 介 先 不 明		0	460	
錦 江 町		1	6	総 合 計		986	8,116		
南 大 隅 町		1	1						

※病院・クリニック合算の数です

(8) 市町村別紹介施設数・患者数(他院より当院への紹介)

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月

市 町 村 名			施設件数	患者数	市 町 村 名			施設件数	患者数	
鹿児島	鹿児島市		384	1,833	曾於	曾於市		1	1	
	鹿児島郡	三島村	2	3		志布志市		3	3	
		十島村		4	6	熊毛	西之表市		4	33
始良	霧島市		29	88	熊毛郡		南種子町		2	5
	始良市		24	81		屋久島町		4	17	
	始良郡	湧水町		2	2	奄美市		2	10	
日置	日置市		17	35	大島	奄美市		2	10	
川薩	薩摩川内市		22	53		大島郡	喜界町		1	1
	いちき串木野市		8	15			徳之島		3	7
	薩摩郡	さつま町		4			6	天城町		1
南さつま市		9	24	与論町			2	2		
川辺	枕崎市		4	9	県内		573	2316		
	南九州市		3	3	県外		14	24		
					総合計		587	2,340		
指宿	指宿市		13	29						
出水	出水市		9	19						
	阿久根市		3	6						
肝属	鹿屋市		9	16						
	垂水市		2	6						
	肝属郡	肝付町		2	2					

(9) 市町村別逆紹介施設数・患者数(当院より他院への紹介)

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月

市 町 村 名			施設件数	患者数	市 町 村 名			施設件数	患者数	
鹿児島	鹿児島市		356	1,663	曾於	志布志市		2	2	
	鹿児島郡	十島村		1	1	伊佐	伊佐市		3	6
始良	霧島市		28	54	熊毛	西之表市		4	23	
	始良市		29	74		熊毛郡	南種子町		1	1
日置	日置市		15	31	屋久島町		5	15		
川薩	薩摩川内市		17	41	大島	奄美市		1	6	
	いちき串木野市		9	11		大島郡	喜界町		1	2
	薩摩郡	さつま町		2			3	瀬戸内町		2
南さつま市		9	19	徳之島			3	4		
川辺	枕崎市		3	12	県内		539	2,073		
	南九州市		4	8	県外		31	44		
					紹介先不明			82		
出水	出水市		11	18	総合計		570	2,199		
	阿久根市		3	5						
肝属	鹿屋市		16	37						
	垂水市		2	4						

(8) 市町村別紹介施設数・患者数(他院より当院への紹介)

上町いまきいれ病院 2021/令和3年1月～3月

市 町 村 名		施設件数	患者数	市 町 村 名		施設件数	患者数
鹿児島	鹿児島市	55	114	指宿	指宿市	1	3
	鹿児島郡十島村	1	1	肝属	鹿屋市	3	3
始良	霧島市	4	19	伊佐	伊佐市	1	1
	始良市	4	4	熊	西之表市	1	4
日置	日置市	1	6	毛	屋久島町	1	2
川薩	いちき串木野市	4	17	大島	奄美市	2	7
	薩摩郡さつま町	1	1	県	内	82	188
川	南さつま市	2	5	県	外	5	6
辺	枕崎市	1	1	総	合 計	87	194

(9) 市町村別逆紹介施設数・患者数(当院より他院への紹介)

上町いまきいれ病院 2021/令和3年1月～3月

市 町 村 名		施設件数	患者数	市 町 村 名		施設件数	患者数
鹿児島	鹿児島市	84	192	肝属	肝属郡大崎町	1	1
始良	霧島市	6	21	曾於	志布志市	1	1
	始良市	5	8	熊	西之表市	2	2
日置	日置市	6	16	毛	熊毛郡屋久島町	1	2
川薩	薩摩川内市	1	1	大島	奄美市	2	8
	いちき串木野市	3	9		大島郡徳之島	1	1
川辺	南さつま市	2	2	県	内	120	272
	枕崎市	1	1	県	外	4	5
指宿	指宿市	3	6	紹	介 先 不 明	124	42
肝属	鹿屋市	1	1	総	合 計	248	319

(10) 2020/令和2年度 紹介率

	今給黎総合病院									いまきいれ総合病院		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
紹介患者数	262	233	333	269	271	250	317	244	192	477	549	663
紹介率 (%)	84.0	78.5	80.8	79.8	76.6	74.2	74.9	68.9	71.6	59.1	65.7	64.4

※地域医療支援病院計算式に準ずる(紹介率50%が当院の基準)

(11) 2020/令和2年度 逆紹介率

	今給黎総合病院									いまきいれ総合病院		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
逆紹介患者数	449	380	457	461	418	400	530	519	628	438	609	818
逆紹介率 (%)	143.9	127.9	110.9	136.8	118.1	118.7	125.3	146.6	234.3	54.3	72.8	79.5

※地域医療支援病院計算式に準ずる(逆紹介率70%が当院の基準)

(12) 2020/令和2年 外来患者初再診数 今給黎総合病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	月平均	1日平均
初診	537	566	727	597	643	672	742	592	480	5,556	617.3	27.2
再診	3,604	3,347	3,858	3,747	3,628	3,688	4,034	3,706	3,775	33,387	3709.7	163.3
合計	4,141	3,913	4,585	4,344	4,271	4,360	4,776	4,298	4,255	38,943	4327.0	190.4
初診率 (%)	13.0	14.5	15.9	13.7	15.1	15.4	15.5	13.8	11.3	14.3	-	-
再診率 (%)	87.0	85.5	84.1	86.3	84.9	84.6	84.5	86.2	88.7	85.7	-	-

(12) 2021/令和3年 外来患者初再診数 いまきいれ総合病院

	1月	2月	3月	年計	月平均	1日平均
初診	1,129	1,246	1,417	3,792	1,264.0	57.9
再診	4,278	4,764	6,073	15,115	5,038.3	230.8
合計	5,407	6,010	7,490	18,907	6,302.3	288.7
初診率 (%)	20.9	20.7	18.9	20.1	-	-
再診率 (%)	79.1	79.3	81.1	79.9	-	-

(13) 2020/令和2年 外来患者時間外・深夜・休日患者数 (診療報酬加算をもとに集計) 今給黎総合病院

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計	月平均	1日平均
時間外	79	82	77	82	97	82	111	77	72	759	84.3	3.4
深夜	43	34	51	40	52	46	43	40	31	380	42.2	1.4
休日	82	139	104	98	65	154	83	70	34	829	92.1	15.6
合計	204	255	232	220	214	282	237	187	137	1,968	218.7	7.2

休日：休日在宅医(当番日)含む

(13) 2021/令和3年 外来患者時間外・深夜・休日患者数 (診療報酬加算をもとに集計) いまきいれ総合病院

	1月	2月	3月	年計	月平均	1日平均
時間外	74	62	71	207	69.0	2.9
深夜	39	40	43	122	40.7	1.4
休日	74	110	60	244	81.3	12.8
合計	187	212	174	573	191.0	6.4

休日：休日在宅医(当番日)含む

(14) 入院患者に関する実績比較

1. 年度別

	今給黎総合病院					いまきいれ総合病院
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年(～12月)	令和2年(1月～)
定 床	450	450	450	450	450	350
新 入 院 数	8,167	8,793	8,515	8,887	5,922	1,844
退 院 数	8,158	8,811	8,532	8,906	6,176	1,617
在院患者延数	138,525	141,598	136,621	135,561	90,362	23,521
1日平均 在院患者数	379.5	387.9	374.3	370.4	328.6	261.3
平 均 在 院 日 数	16.4	15.9	15.5	14.9	14.9	13.6
病 床 利 用 率	84.3%	86.2%	83.2%	82.3%	73.0%	74.7%

2. 2020/令和2年度 月別

\* 平均在院日数は3ヶ月平均の値

	今給黎総合病院									いまきいれ総合病院			年 計	月平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
定 床	450	450	450	450	450	450	450	450	450	350	350	350	-	425
新 入 院 数	652	538	765	669	681	694	739	686	498	634	582	668	7,806	651
退 院 数	685	541	705	690	700	642	753	687	773	382	580	655	7,793	649
在院患者延数	9,603	9,080	10,330	10,511	10,174	9,900	10,978	10,599	9,187	6,691	8,021	8,809	113,88	9,490
1日平均 在院患者数	320.1	292.9	344.3	339.1	328.2	330.0	354.1	353.3	296.4	215.8	286.5	284.2	3	312.0
平 均 在 院 日 数	14.2	14.3	13.9	14.4	13.8	13.9	13.9	14.1	14.1	13.8	13.6	13.4	-	14.0
病 床 利 用 率 (%)	71.1	65.1	76.5	75.3	72.9	73.3	78.7	78.5	65.9	61.7	81.8	81.2	-	73.4

2. 2021/令和3年 月別 上町いまきいれ病院

	1月	2月	3月	年 計	月平均	月平均
総 合 内 科	263	245	312	820	273	9.1
脳 神 経 内 科	894	1,035	1,115	3,044	1,015	33.8
整 形 外 科	866	905	838	2,609	870	29.0
眼 科	126	141	216	483	161	5.4
在 院 患 者 数	2,149	2,326	2,481	6,956	2,319	-
1日平均 在院患者数	69.3	83.1	80.0	-	579.7	77.3

3. 科別 2020/令和2年4月～12月 今給黎総合病院

	総内	血内	糖内	消内	循内	呼内	脳内	外	呼外	血外	整形	形成	脳外
新入院患者数	157	244	35	626	86	423	251	385	263	31	809	271	189
退院患者数	182	254	45	630	95	415	266	406	248	31	941	283	188
在院患者延数	3,053	5,408	517	6,197	1,729	6,498	7,156	4,405	2,889	80	25,733	4,191	3,707
1日平均在院患者数	11.1	19.7	1.9	22.5	6.3	23.6	26.0	16.0	10.5	0	94	15	13
	産婦	新生児	小児	泌	眼	耳鼻	皮	救急	放	緩和	歯口外	総計	
新入院患者数	264	117	94	438	572	339	46	57	49	24	152	5,922	
退院患者数	272	130	101	438	580	348	53	31	29	55	155	6,176	
在院患者延数	2,384	4,009	463	4,107	1,804	2,955	789	488	516	654	630	90,362	
1日平均在院患者数	9	15	2	15	7	11	3	2	2	2.4	2.3	328.6	

3. 科別 2021/令和3年1月～3月 いまきいれ総合病院

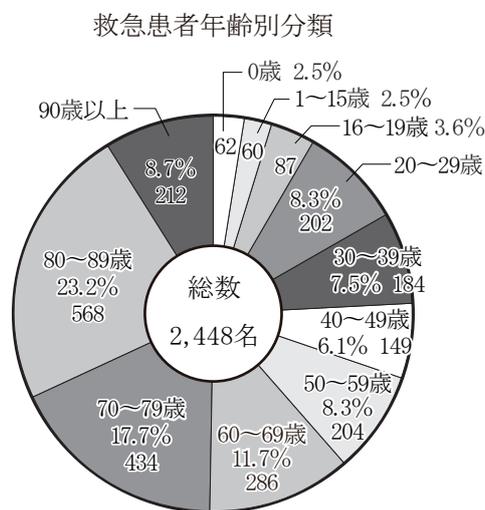
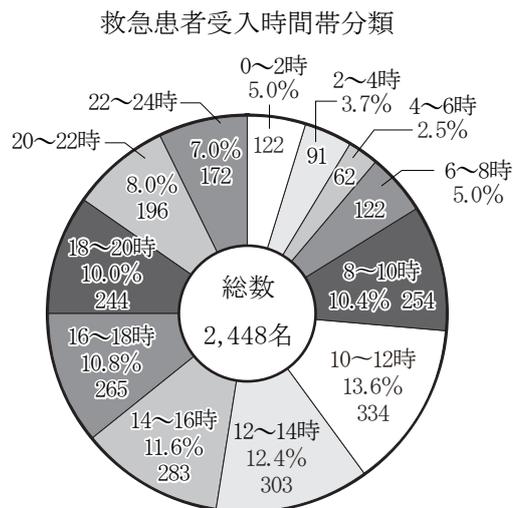
	血内	糖内	消内	循内	呼内	脳内	外	呼外	血外	整形	形成	脳外
新入院患者数	78	16	170	39	203	102	133	79	21	249	95	63
退院患者数	68	11	155	39	171	77	114	78	21	219	82	49
在院患者延数	1,598	137	1,683	863	2,257	1,910	1,333	795	53	4,294	1,309	863
1日平均在院患者数	17.8	1.5	18.7	9.6	25.1	21.2	14.8	8.8	0.6	47.7	14.5	9.6
	産婦	新生児	小児	泌	耳鼻	皮	救急総合診療	放	緩和	歯口外	総計	
新入院患者数	96	48	16	115	124	14	156	10	4	53	1,884	
退院患者数	87	34	14	93	113	12	117	5	8	50	1,617	
在院患者延数	961	1,256	62	916	944	190	1,632	109	106	250	23,521	
1日平均在院患者数	10.7	14.0	0.7	10.2	10.5	2.1	18.1	1.2	1.2	2.8	261.3	

(15) 年度別救急車受入台数(患者数) 今給黎総合病院

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年*
4月	219 (223)	218 (221)	253 (258)	267 (273)	235 (237)
5月	205 (211)	238 (240)	280 (285)	252 (259)	222 (223)
6月	206 (206)	218 (220)	218 (220)	287 (292)	275 (279)
7月	208 (212)	286 (289)	287 (291)	334 (339)	263 (270)
8月	251 (253)	270 (276)	297 (308)	333 (340)	338 (339)
9月	224 (226)	233 (239)	249 (250)	303 (305)	288 (289)
10月	211 (211)	232 (239)	296 (304)	310 (315)	319 (321)
11月	235 (237)	268 (270)	293 (297)	283 (285)	259 (263)
12月	291 (293)	279 (282)	308 (310)	330 (338)	225 (227)
1月	259 (259)	286 (295)	343 (349)	272 (274)	- (-)
2月	208 (209)	256 (259)	230 (232)	268 (274)	- (-)
3月	214 (214)	263 (267)	252 (259)	248 (251)	- (-)
合計	2,731 (2,754)	3,047 (3,097)	3,306 (3,363)	3,487 (3,545)	2,424 (2,448)
月平均	227.7 (229.5)	253.9 (258.0)	275.5 (280.3)	290.5 (295.4)	269 (272)
日平均	7.5 (7.5)	8.3 (8.5)	9.1 (9.2)	9.6 (9.7)	8.8 (8.9)
ドクターカー (再掲)	57	53	50	47	23
ドクターヘリ (再掲)	33	34	24	20	13

\*2020/令和2年4月～12月の集計

(16) 2020/令和2年4月～12月 救急患者受入時間帯・年令別分類



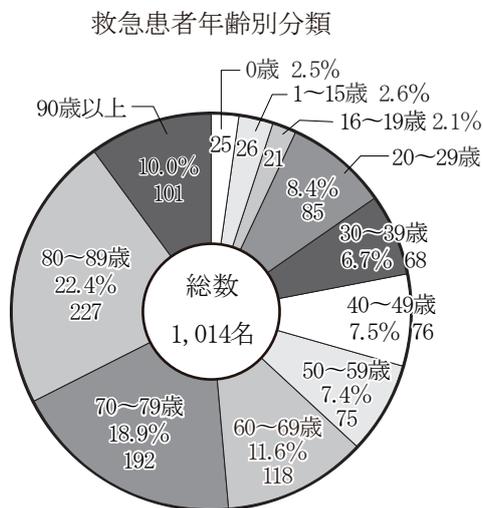
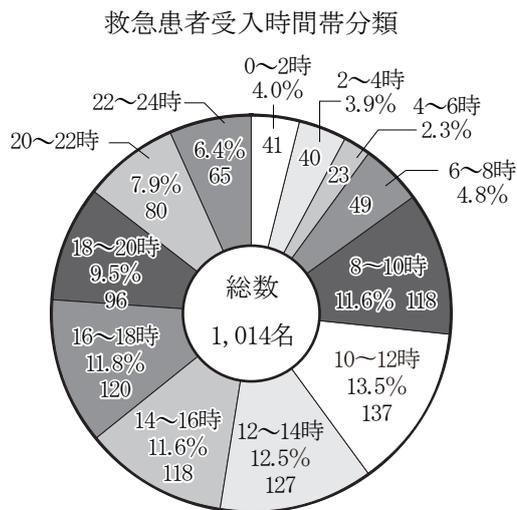
(17) 2020/令和2年4月～12月 市町村別救急患者数

		市町村名	救急患者数	市町村名	救急患者数	市町村名	救急患者数			
鹿	鹿	上町・吉野	890	日置	日置市	34	伊佐	伊佐市	4	
		伊敷・草牟田	455	川	薩摩川内市	5	熊毛	西之表市	2	
		中 央	235		いちき串木野市	11		屋久島町	1	
		中央駅・田上	280		さつま町	2		奄美市	4	
	児	児	鴨池・郡元	109	川	南さつま市	5	大島	徳之島	1
			谷 山	47		枕崎市	6	総合計		2,448
		島	桜 島	50	辺	南九州市	6			
			吉 田	94		指宿市	4			
			松 元	26		出水市	1			
			喜 入	0		鹿屋市	8			
始	良	郡 山	75	肝	垂水市	4				
		霧 島 市	19		錦江町	1				
		湧 水 町	1		南大隅町	1				
		始 良 市	65	曾於	曾於市	2				

(15) 年度別救急車受入台数(患者数) いまきいれ総合病院 (16) 2021/令和3年1月~3月 救急患者受入時間帯・年令別分類

	令和2年*
4月	(-)
5月	(-)
6月	(-)
7月	(-)
8月	(-)
9月	(-)
10月	(-)
11月	(-)
12月	(-)
1月	353 (355)
2月	313 (313)
3月	342 (346)
合計	1,008 (1,014)
月平均	336 (338)
日平均	11.2 (11.3)
ドクターカー (再掲)	8
ドクターヘリ (再掲)	8

\*2021/令和3年1月~3月の集計



(17) 2021/令和3年1月~3月 市町村別救急患者数

		市町村名	救急患者数	市町村名	救急患者数		
鹿	鹿	上町・吉野	193	川薩	薩摩川内市	4	
		伊敷・草牟田	130	川	いちき串木野市	1	
		中 央	125	川	南さつま市	4	
		中央駅・田上	192		枕崎市	1	
	児	児	鴨池・郡元	163	辺	南九州市	1
			谷 山	60	出水	出水市	1
		島	桜 島	12	肝属	鹿屋市	3
			吉 田	25	垂属	垂水市	3
	松 元		13	曾於	曾於市	1	
	喜 入		1	熊毛	西之表市	3	
郡 山	23	奄美市	3				
始良	霧 島 市	6	大島	徳之島	1		
	始 良 市	29	総 合 計		1,014		
日置	日 置 市	15					

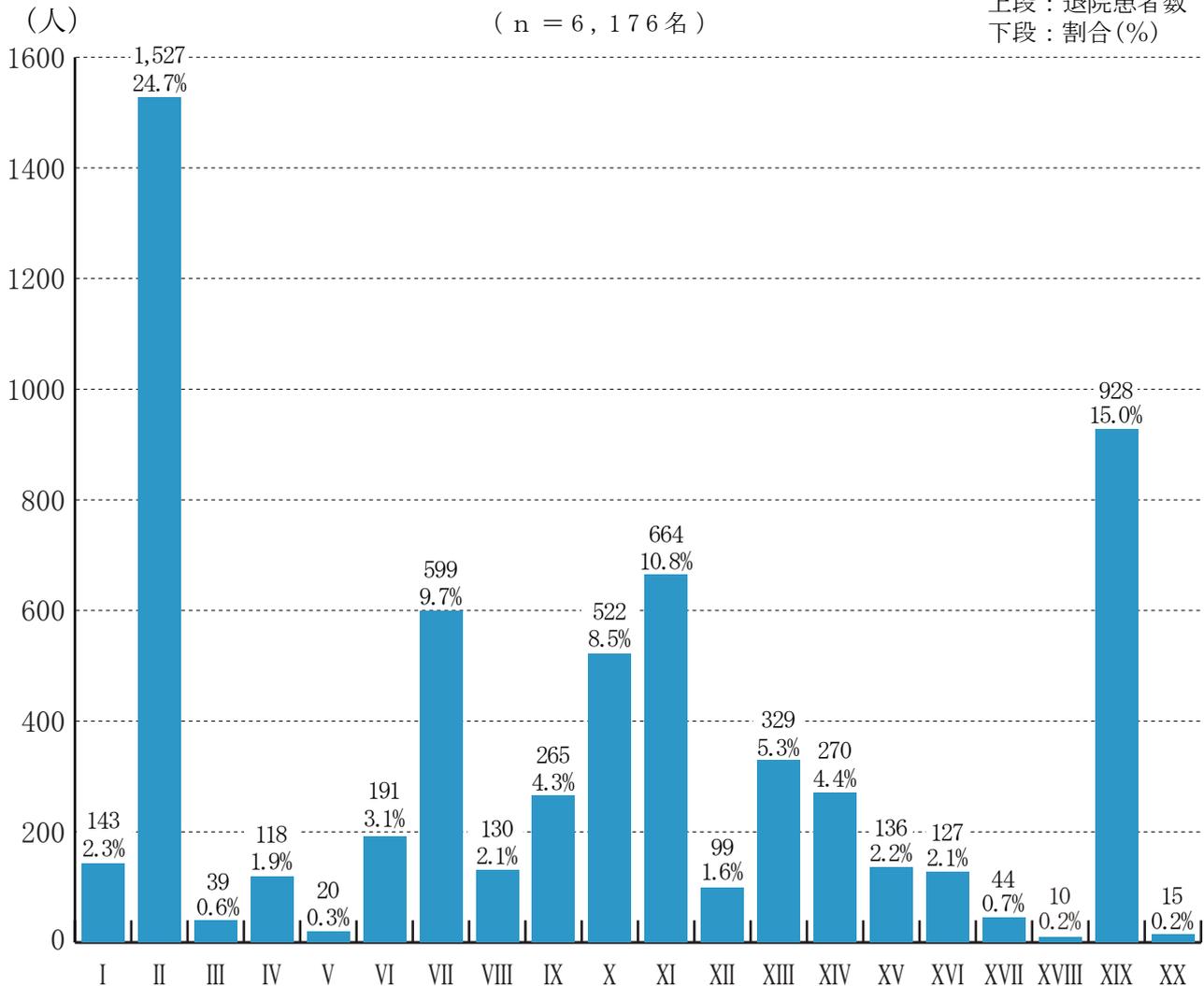
(18)退院患者 I C D 大分類

今給黎総合病院 2020/令和2年4月～12月

主 傷 病 名 大 分 類

( n = 6, 176 名 )

上段：退院患者数  
下段：割合(%)



- |                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| I 感染症及び寄生虫症              | XII 皮膚及び皮下組織の疾患                       |
| II 新生物                   | XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患                    |
| III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | XIV 腎尿路生殖器系の疾患                        |
| IV 内分泌、栄養及び代謝疾患          | XV 妊娠、分娩及び産褥                          |
| V 精神及び行動の障害              | XVI 周産期に発生した病態                        |
| VI 神経系の疾患                | XVII 先天奇形、変形及び染色体異常                   |
| VII 眼及び付属器の疾患            | XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| VIII 耳及び乳様突起の疾患          | XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響                  |
| IX 循環器系の疾患               | XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用           |
| X 呼吸器系の疾患                |                                       |
| XI 消化器系の疾患               |                                       |

(19) ICD大分類・診療科別・性別・退院患者数

今給黎総合病院 2020/令和3年4月～12月

ICD大分類	男女合計	総数	総内	血内	脳内	呼内	消内	循内	糖	小	外科	呼外	皮	整	形	脳外	泌	血外	産	新生児	婦	眼	耳	放	口腔	緩和	救急
総数	6,176	男 3,230 女 2,946	96	115	127	282	360	48	19	35	243	176	25	404	157	104	331	14	-	76	-	298	207	16	51	35	11
I 感染症及び寄生虫症	143	男 66 女 77	6	2	5	14	12	-	-	9	-	-	8	1	2	1	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
II 新生物	1,527	男 934 女 593	1	97	2	157	129	-	-	-	141	103	-	2	29	7	200	-	-	-	-	1	21	13	3	28	-
III 血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	39	男 23 女 16	3	7	2	4	4	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	118	男 55 女 63	11	-	4	-	3	4	16	3	-	1	-	3	2	2	-	-	-	-	-	4	1	-	-	1	-
V 精神及び行動の障害	20	男 12 女 8	2	-	2	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	191	男 99 女 92	8	1	61	1	-	1	-	-	1	-	1	7	-	10	-	-	-	-	-	-	6	1	-	-	1
VII 眼及び付属器の疾患	599	男 301 女 298	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	290	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患	130	男 61 女 69	2	-	4	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患	265	男 122 女 143	6	-	27	1	10	28	1	1	1	-	-	2	-	28	1	13	-	1	-	-	-	-	-	1	1
X 呼吸器系の疾患	522	男 327 女 195	32	1	5	95	6	6	-	17	1	41	-	1	-	3	1	1	-	-	-	-	112	-	2	3	-
XI 消化器系の疾患	664	男 333 女 331	-	2	-	2	187	-	-	-	90	-	-	1	1	-	3	-	-	-	-	-	3	-	43	-	1
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	99	男 55 女 44	1	-	1	-	-	1	1	2	-	-	15	1	30	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	329	男 182 女 147	5	2	3	1	1	-	-	-	1	1	-	156	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	270	男 135 女 135	4	-	1	1	-	1	-	2	4	-	-	1	1	2	116	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
XV 妊娠、分娩及び産褥	136	男 0 女 136	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	128	-	8	-	-	-	-	-	-
XVI 周産期に発生した病態	127	男 74 女 53	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	-	-	-	-	-	-	-
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	44	男 22 女 22	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	14	-	1	-	-	1	-	-	4	-	-	-	-
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10	男 5 女 5	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	928	男 418 女 510	12	1	8	3	6	6	1	-	1	29	-	229	57	46	5	-	-	-	-	3	2	1	-	-	8
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	15	男 6 女 9	3	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

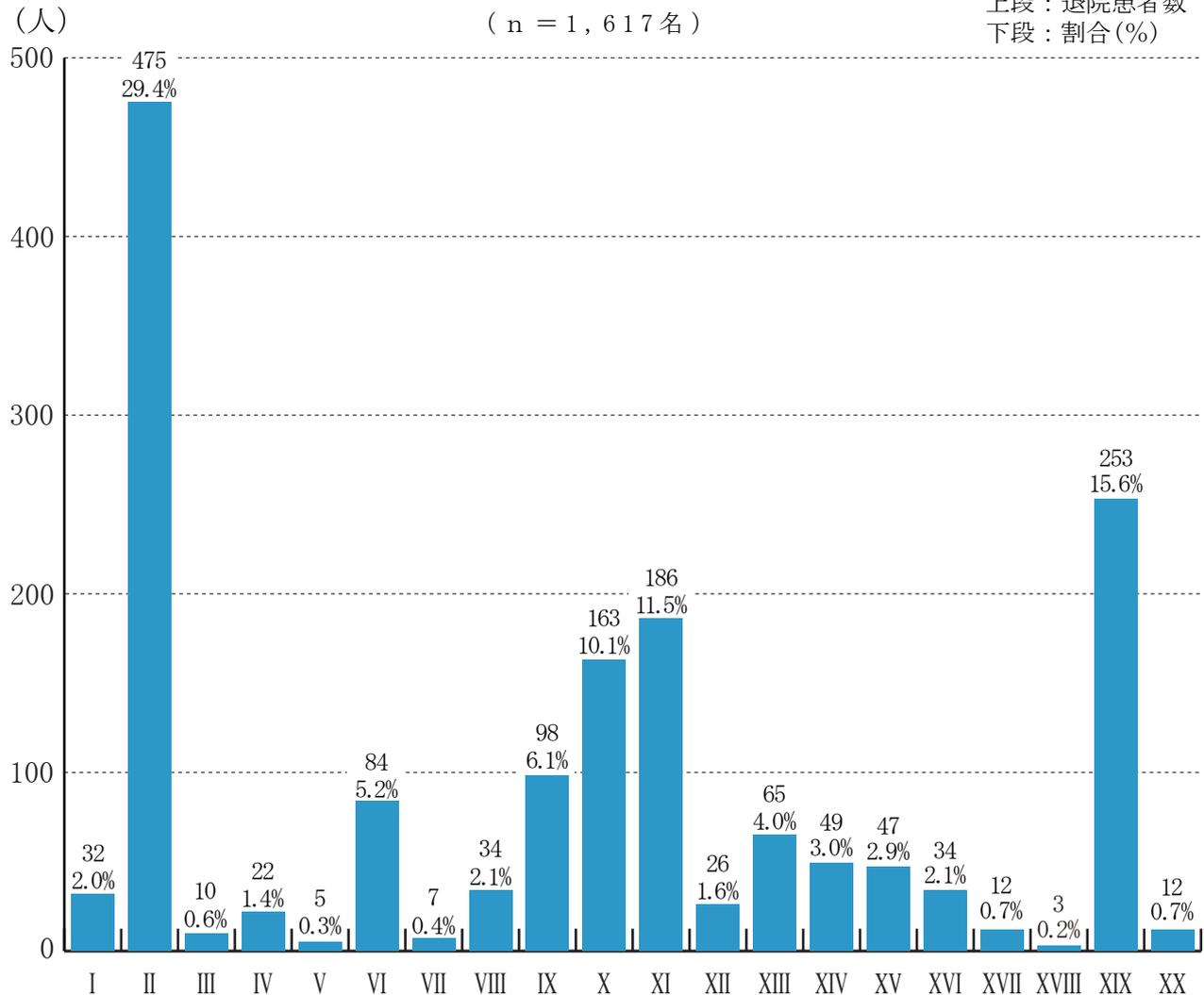
(18)退院患者 ICD大分類

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月

主 傷 病 名 大 分 類

( n = 1, 6 1 7 名 )

上段：退院患者数  
下段：割合(%)



- |                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| I 感染症及び寄生虫症              | XII 皮膚及び皮下組織の疾患                       |
| II 新生物                   | XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患                    |
| III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | XIV 腎尿路生殖器系の疾患                        |
| IV 内分泌、栄養及び代謝疾患          | XV 妊娠、分娩及び産褥                          |
| V 精神及び行動の障害              | XVI 周産期に発生した病態                        |
| VI 神経系の疾患                | XVII 先天奇形、変形及び染色体異常                   |
| VII 眼及び付属器の疾患            | XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| VIII 耳及び乳様突起の疾患          | XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響                  |
| IX 循環器系の疾患               | XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用           |
| X 呼吸器系の疾患                |                                       |
| XI 消化器系の疾患               |                                       |

(19) ICD大分類・診療科別・性別・退院患者数

いまきいれ総合病院 2021/令和3年1月～3月

ICD大分類	男女合計	総数	総診	血内	脳内	呼内	消内	循内	糖	小	外科	呼外	皮	整形	脳外	泌	血外	産	新生児	婦	耳	放	口腔	緩和	救急	
総数	男	879	45	39	38	110	94	18	8	10	74	55	5	92	42	29	75	11	-	19	-	66	3	22	7	17
	女	738	38	29	39	61	61	21	3	4	40	23	7	127	40	20	18	10	43	15	44	47	2	28	1	17
I 感染症及び寄生虫症	男	20	3	1	-	8	3	-	-	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	女	12	1	-	1	5	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
II 新生物	男	306	-	35	-	67	37	1	-	-	42	37	-	-	10	2	60	-	-	-	8	2	-	5	-	
	女	169	-	23	-	32	14	-	-	-	19	16	-	-	18	-	9	-	-	-	28	7	2	-	1	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	男	5	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	5	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	男	15	1	-	1	-	-	-	8	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	7	2	-	1	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
V 精神及び行動の障害	男	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	女	3	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
VI 神経系の疾患	男	51	19	-	21	1	1	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	2	
	女	33	2	-	19	-	1	-	-	-	1	-	-	6	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
VII 眼及び付属器の疾患	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
VIII 耳及び乳様突起の疾患	男	13	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	
	女	21	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	9	-	-	-	5	
IX 循環器系の疾患	男	53	-	-	6	2	4	14	-	-	1	1	1	-	-	12	-	11	-	-	-	-	-	-	1	
	女	45	2	1	6	-	3	17	-	-	-	-	-	-	1	4	-	10	-	-	-	-	-	-	1	
X 呼吸器系の疾患	男	103	10	1	3	31	2	1	-	4	-	9	-	-	-	-	1	-	-	-	41	-	-	-	-	
	女	60	6	-	2	19	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	3	
XI 消化器系の疾患	男	98	-	-	-	42	-	-	-	29	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	22	-	2	
	女	88	1	-	-	37	-	-	-	19	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	1	-	27	-	-	
XII 皮膚及び皮下組織の疾患	男	14	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	2	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	女	12	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	男	32	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	24	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
	女	33	4	1	4	1	-	-	1	-	-	1	-	20	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	男	18	2	1	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	女	31	9	-	1	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	8	-	-	-	-	-	
XV 妊娠、分娩及び産褥	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	47	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42	-	5	-	-	-	-	-	
XVI 周産期に発生した病態	男	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	
	女	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	
XVII 先天奇形、変形及び染色体異常	男	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	
XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	男	116	3	0	2	-	2	-	-	-	1	6	-	61	15	13	4	-	-	-	1	-	-	1	7	
	女	137	2	0	2	-	3	1	-	1	1	2	-	101	7	11	-	-	1	-	-	-	-	-	5	
XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	男	3	2	0	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	女	9	2	2	-	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

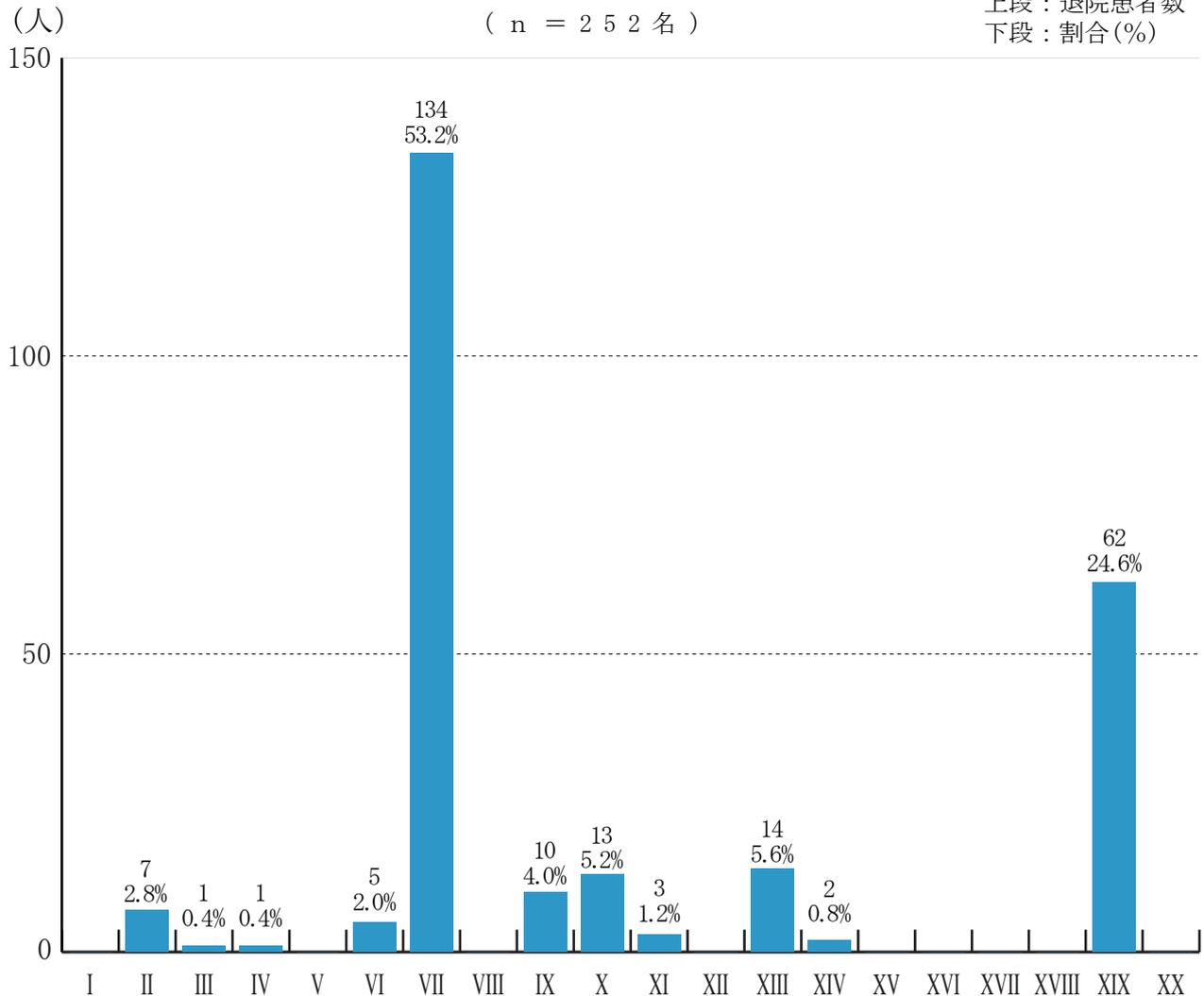
(18)退院患者 ICD大分類

上町いまきいれ病院 2021/令和3年1月～3月

主 傷 病 名 大 分 類

( n = 2 5 2 名 )

上段：退院患者数  
下段：割合(%)



- |                          |                                       |
|--------------------------|---------------------------------------|
| I 感染症及び寄生虫症              | XII 皮膚及び皮下組織の疾患                       |
| II 新生物                   | XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患                    |
| III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 | XIV 腎尿路生殖器系の疾患                        |
| IV 内分泌、栄養及び代謝疾患          | XV 妊娠、分娩及び産褥                          |
| V 精神及び行動の障害              | XVI 周産期に発生した病態                        |
| VI 神経系の疾患                | XVII 先天奇形、変形及び染色体異常                   |
| VII 眼及び付属器の疾患            | XVIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの |
| VIII 耳及び乳様突起の疾患          | XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響                  |
| IX 循環器系の疾患               | XX 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用           |
| X 呼吸器系の疾患                |                                       |
| XI 消化器系の疾患               |                                       |

(19) ICD大分類・診療科別・性別・退院患者数  
上町いまきいれ病院 2021/令和3年1月～3月

ICD大分類	男女合計	総数	内科	脳神経内科	糖尿病内科	整形外科	眼科
総数	252	男 134	6	25	0	28	75
		女 118	5	11	0	34	64
II 新生物	7	男 5	3	1	-	1	-
		女 2	1	1	-	-	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1	男 -	-	-	-	-	-
		女 1	-	1	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	1	男 1	-	-	-	-	1
		女 -	-	-	-	-	-
VI 神経系の疾患	5	男 4	-	3	-	-	1
		女 1	-	1	-	-	-
VII 眼及び付属器の疾患	134	男 72	-	-	-	-	72
		女 62	-	-	-	-	62
IX 循環器系の疾患	10	男 5	-	4	-	1	-
		女 5	-	5	-	-	-
X 呼吸器系の疾患	13	男 12	-	12	-	-	-
		女 1	-	1	-	-	-
XI 消化器系の疾患	3	男 1	-	1	-	-	-
		女 2	-	1	-	1	-
XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患	14	男 8	1	-	-	7	-
		女 6	-	-	-	6	-
XIV 腎尿路生殖器系の疾患	2	男 2	2	-	-	-	-
		女 -	-	-	-	-	-
XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	62	男 24	-	4	-	19	1
		女 38	4	5	-	27	2

【院内がん登録集計 2020年1月1日～ 2020年12月31日 791件】

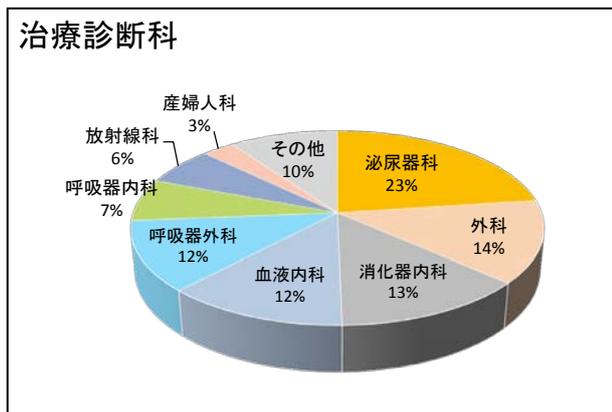
※がん登録の対象となる症例：上記期間中に診断及び治療の対象となった症例

★1 腫瘍1 登録★ 重複がんの場合は原発の数をそれぞれ登録

①治療診断科

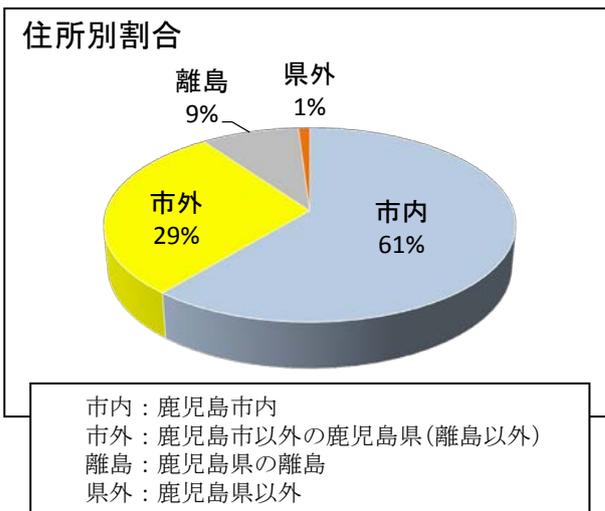
診断のみで終了した場合：診断を行った診療科  
 治療を行った場合：初回治療を行った診療科  
 どちらも行った場合は、治療をした診療科を1  
 としています。

(例) 消化器内科にて診断、外科にて治療  
 ⇒ 外科でカウント



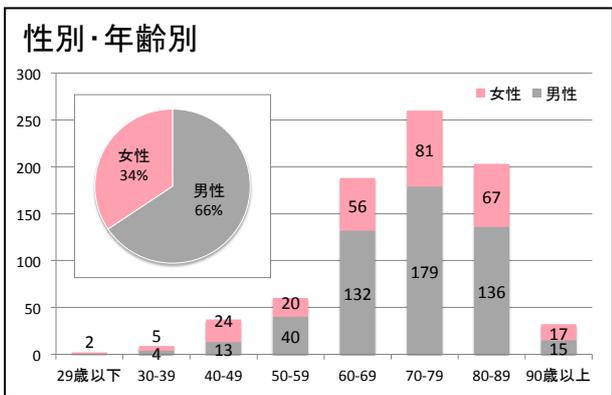
②住所別割合

患者様の居住されている地域別分類です。  
 市外では多い順に始良市 52、霧島市 29、薩摩川内  
 25 離島では、種子島 41、奄美 16、屋久島 13 の順と  
 なっています。



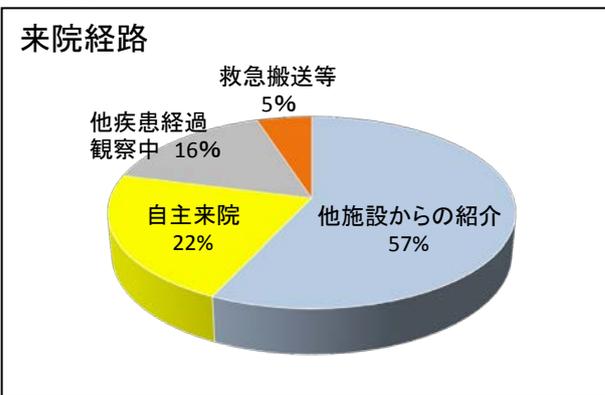
③性別・年齢別患者数

患者様の年齢、性別の割合をグラフ化しています。



③性別・年齢別患者数

がんの診断・治療のため当院を受診した経路別分類  
 です。



⑤ 症例区分

診断治療の決定：

当院でがんの診断を行い、治療方針を決定した症例

他施設診断自施設治療：

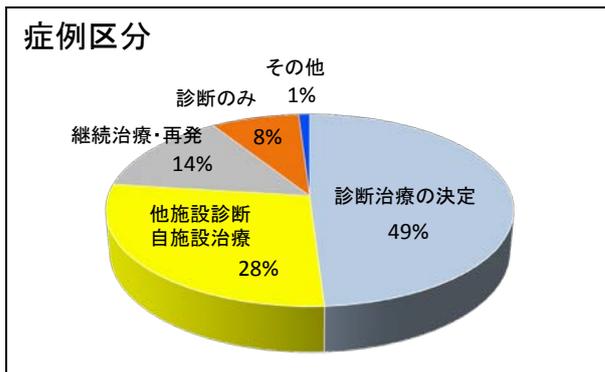
がんの診断は他施設で行われ、初回治療を当院で  
 行った症例

継続治療・再発：

他施設にて初回治療後、当院にて継続治療を行った  
 症例。もしくは、他施設にて治療後、再発し当院にて  
 治療を行った症例

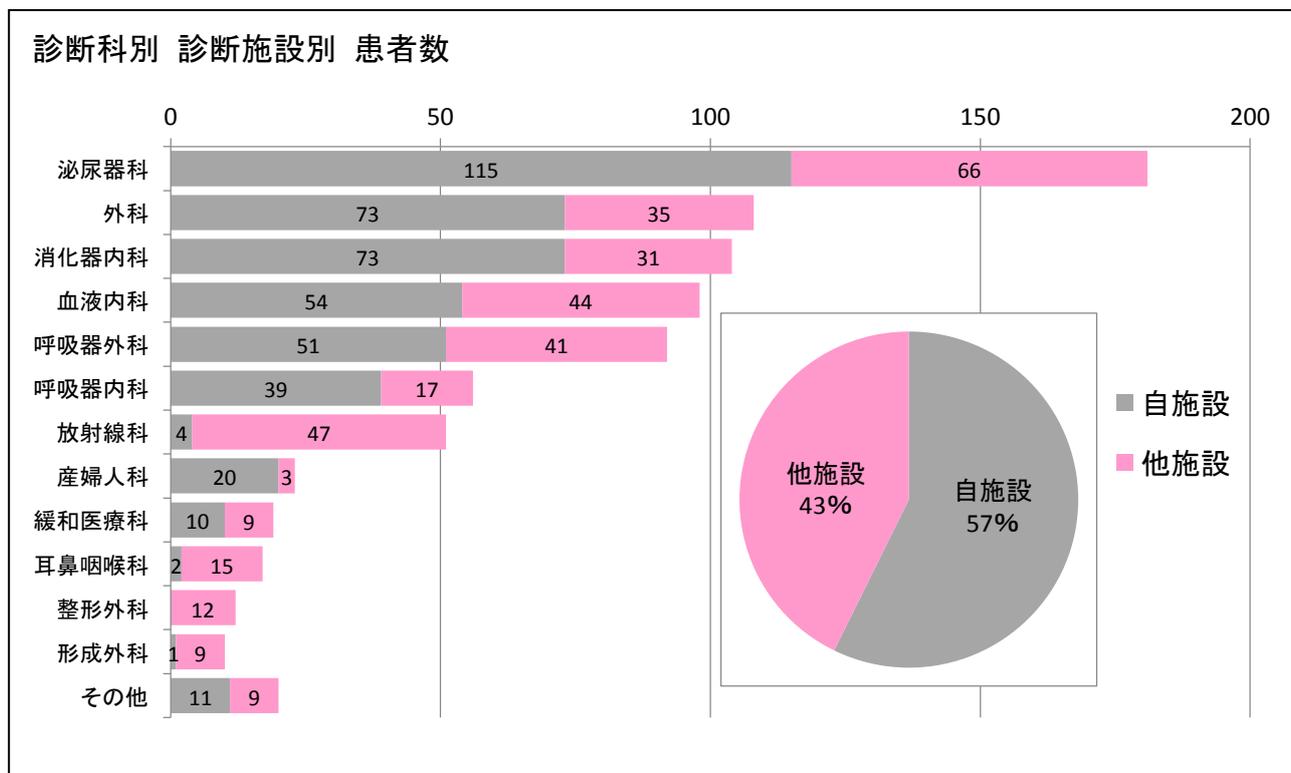
診断のみの症例：

当院でがんの診断を行ったが、治療は他施設で行っ  
 たもしくは治療を選択しなかった症例



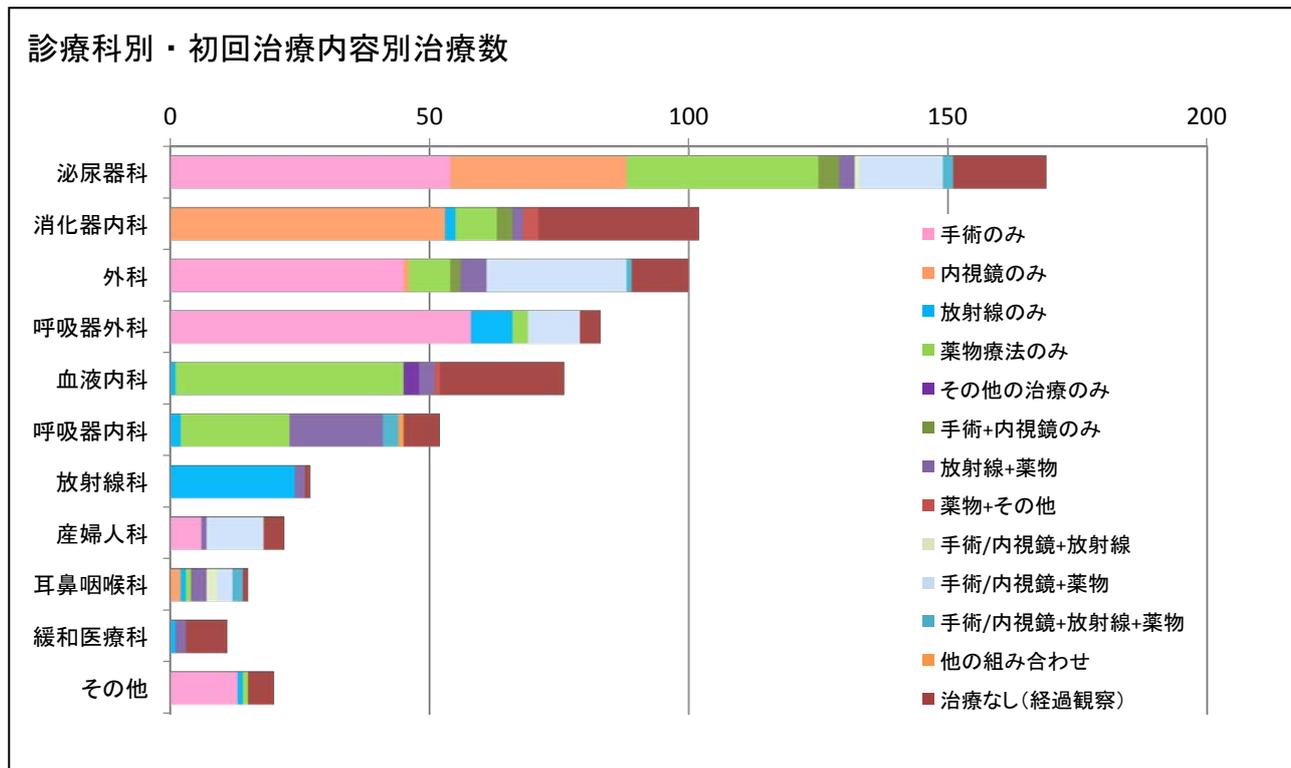
### ⑤ 診療科別・診断施設別患者数

がん患者様の診断がどこで行われたかを診療科別で示しています。



### ⑥ 診療科別・初回治療内容別治療数

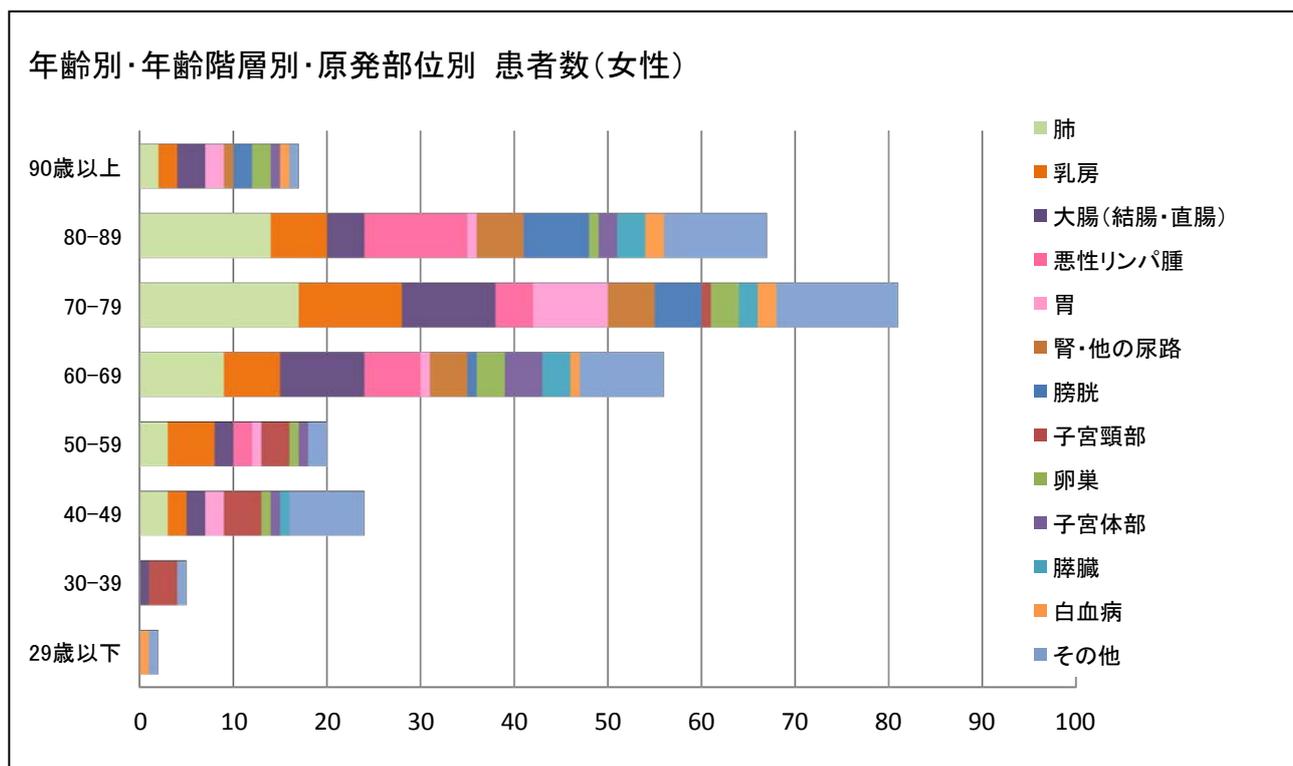
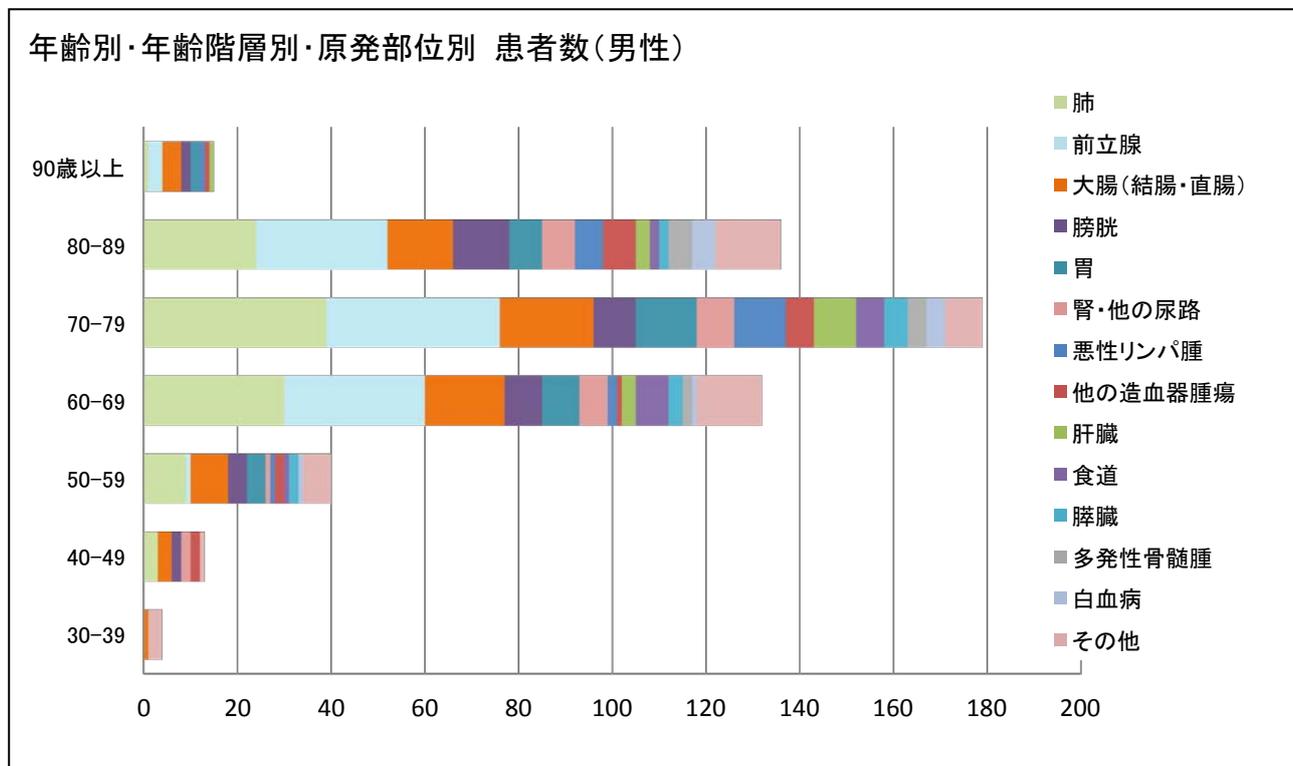
初回治療として選択された治療内容を診療科別で示しています



⑦性別・年齢階層別・原発部位別 患者数

どの年代でどのようながんが多いかをグラフ化しています。

「その他」は、年間5症例以下のがんで、小腸、甲状腺、咽頭、喉頭、脳腫瘍、骨軟部、原発不明がん等が含まれます。





# 診療部門報告

Ⅲ

2020年1月～12月 年次報告

- 内科(総合内科)
- 血液内科
- 糖尿病内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- 呼吸器内科
- 脳神経内科
- 外科(消化器・乳腺・甲状腺・小児・肛門)
- 呼吸器外科
- 血管外科
- 整形外科・リハビリテーション科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 産婦人科
- 新生児内科
- 小児科
- 泌尿器科
- 眼科
- 気管食道・耳鼻いんこう科
- 皮膚科
- 麻酔科
- 放射線診断科
- 放射線治療科
- 緩和医療科
- 病理診断科
- 在宅診療科
- 歯科、歯科口腔外科
- 救急科



# 総合内科

部長 二木 真琴

総合内科の業務は、ワクチン接種、健康診断、生活習慣病に関連した疾患の外来治療、不明熱や感染症の診断治療などです。

当科は血液、循環器、消化器専門のスペシャリストに外科出身の医師も加わり、総合的な診療を行う体制となってきました。

2019年末、中国武漢市から報告された原因不明の肺炎流行は、新型コロナウイルスが原因と判明し、瞬く間に世界に感染が拡大し、2020年3月にはパンデミックの状況になりました。急速にワクチンが開発され、2021年2月ようやく日本にも供給され接種が開始されました。

ワクチン接種に関して昨年はインフルエンザを含めて839件行いました。日本はワクチンに関しては後進国と言われていましたが、近年は種類、接種などが増加しています。

肺炎球菌ワクチンが平成26（2014）年7月に予防接種法政省令の改正により、同年10月1日から定期接種に導入されました。各年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳または100歳となる者が接種対象となっています。高齢者のインフルエンザに合併する肺炎は肺炎球菌が原因として多いと言われていたので両方のワクチンを接種するのが効果的です。

季節性インフルエンザに対する抗インフルエンザ薬の有効性に関する知見は、有熱期間の短縮のほか、抗インフルエンザ薬の早期投与による重症化予防効果が示されています。治療対象については 幼児や基礎疾患があり、インフルエンザの重症化リスクが高い患者や呼吸器症状が強い患者には投与が推奨されています。ワクチン接種と合わせて、当科に受診されたインフルエンザ患者様の初期および合併症治療を行っています。

2008年4月より特定健診が開始されました。これは話題となったメタボリックシンドロームを診断し、指導するのを目的としています。脳出血、脳梗塞、心筋梗塞の原因となる動脈硬化には以前より高血圧、高脂血症、肥満、糖尿病などの危険因子があるとされていました。メタボリックシンドロームとは腹部に内臓脂肪の蓄積がある場合、程度の軽い危険因子の組み合わせによっても動脈硬化が非常に進行しやすいという概念です。自覚症状のある前に早期に動脈硬化の危険因子を発見し治療するためには、健診は重要と思われます。

ここ数年来当科では「睡眠時無呼吸症候群(SAS)」の診察を行っています。睡眠時無呼吸症候群は高血圧や糖尿病などの生活習慣病と密接な関わりを持ち、その有病率は3～4%ともいわれ、極めて多い病気であることが明らかになってきました。また、放置された重症な無呼吸では、7～8年後の死亡率が37%との報告もあります。このように睡眠時無呼吸症候群は、医学的にも社会的にも放置できない重要な病気であり、その対応が急がれます。診断・治療には健康保険が適応になっており、鼻づまりやのどの構造上の問題がないかを確認する（耳鼻科）とともに夜間睡眠時ポリグラフィ（PSG）を用いた検査や自宅でのCPAP（持続性気道内陽圧呼吸）導入など積極的に行っています。

体調不良があるけれど、どこの診療科に行ったら良いかわからない場合や、不明熱、症状が多岐にわたるなどの専門科のはっきりしない疾患に対応し診療しています。高齢化社会になって、複数の疾患を併発する患者様が増えており、単一臓器や単一疾患にとらわれることなく、広い視野で診療し、専門科への診療の橋渡しを行っています。当科の主な対象疾患ですが、不明熱や原因不明の疾患に対する診断治療、熱中症、誤嚥性肺炎、尿路感染症などに対する入院加療などを行っています。当科の入院は高齢者の患者様が特に多く、病気の治療は当然ですが、治癒した後の退院先でのfollow upが大変重要と思われます。専門性が利用できる場所は生かし、MSW（メディカルソーシャルワーカー）、在宅医療課との連携を保ち、より良いquality of lifeを目指した治療を考えていきたいと思っています。

2005年より当院入院患者様におけるNST(nutrition support team)の活動も行っています。これは患者様の栄養状態を把握して、栄養管理を補助する多種職種を含めた委員会活動です。低栄養状態の患者様を対象に栄養士、PT(理学療法士)、ST（言語聴覚士）、薬剤師、看護師などの多職種と併に回診を行い、主治医への助言、補助を行っています。

微力ではありますが、広い診療範囲、深い診療姿勢を目指し、これからも地道に診療、委員会活動を継続していきます。

【スタッフ】

部長 二木 真琴

日本内科学会総合内科専門医  
日本血液学会 専門医  
医学博士（日本医科大学）

部長待遇 久保 忠弘

日本内科学会総合内科専門医  
日本循環器学会循環器専門医  
日本プライマリ・ケア連合学会認定医、指導医  
医学博士（鹿児島大学）

三宅 健治

日本外科学会認定医  
日本医師会認定産業医  
日本体育協会スポーツドクター

大磯 陽子

日本消化器病学会 専門医  
日本消化器内視鏡学会 専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
マンモグラフィ読影認定医  
日本人間ドック学会認定医  
日本人間ドック健診専門医  
日本医師会認定産業医

総合診療科 生野 博久

医学博士（鹿児島大学）

【診療実績】

クリニック外来患者数（2020年1月1日～12月31日）

初診	再診	患者延べ数	1日平均（稼働日数264.5日）			初診率
			合計	初診	再診	
1,959	4,405	6,364	24.1	7.4	16.7	44.5%

今給黎総合病院外来患者数（2020年1月1日～12月31日）

初診	再診	患者延べ数	1日平均（稼働日数264.5日）			初診率
			合計	初診	再診	
238	404	642	2.4	0.9	1.5	37.1%

【予防接種件数】（2020年1月1日～12月31日）

	肺炎球菌	麻疹	インフルエンザ	おたふく	麻疹	風疹	B型肝炎	水痘	二種混合	風疹	日本脳炎	A型肝炎	四種混合	合計
1月	2	0	8	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	15
2月	4	0	4	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	12
3月	5	0	2	2	6	0	1	0	0	0	4	0	0	20
4月	8	0	0	2	6	1	0	0	0	0	3	0	0	20
5月	3	0	0	1	5	1	0	0	0	0	3	0	0	13
6月	4	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	9
7月	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	3	0	0	7
8月	5	0	0	0	5	2	0	0	0	0	7	0	0	19
9月	3	0	0	0	2	4	0	0	0	0	1	0	0	10
10月	5	0	291	2	0	3	0	0	0	0	1	0	0	302
11月	6	0	291	0	1	5	0	0	0	2	1	0	0	306
12月	5	0	97	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	106
総合計	50	0	693	9	32	21	1	0	0	4	29	0	0	839

【睡眠時無呼吸症候群の診療状況】

	2018年	2019年	2020年
終夜睡眠ポリグラフ検査(件数)			
病院(含む循環器内科)簡易検査	35	13	48
クリニック(含む耳鼻咽喉科)簡易検査	50	31	29
病院(含む循環器内科)PSG	25	49	17
CPAP導入(件数)	46	14	23



# 血液内科

部長 小 濱 浩 介

## 【診療内容、特色】

当院血液内科は2020年1月より増員により3名体制となり、さらなる診療充実を進めています。

主な診療領域は、白血病、悪性リンパ腫、成人T細胞白血病、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの血液の悪性疾患から、各種貧血、出血傾向をきたす疾患（紫斑病等）、及びリウマチ膠原病関連疾患です。当院は血液学会認定研修施設となっており、県内最大級の総合病院として放射線治療をはじめとしたスムーズな多科連携を伴う集学的治療が可能であることが特徴です。

現在平日の午前中に外来の受付を行っていますが、緊急性がある場合等は直接相談いただければ随時対応を行っています。

## 【スタッフ】

小濱 浩介(おばまこうすけ) 血液内科部長

日本血液学会血液専門医、指導医

日本内科学会認定内科医

日本がん治療認定機構がん治療認定医

医学博士（鹿児島大学）

井上 大栄(いのうえひろさか) 血液内科部長

日本血液学会血液専門医

日本内科学会認定内科医

日本内科学会総合内科専門医

高木 博佑(たかぎひろすけ) 2021年4月より

日本内科学会認定内科医

日本リウマチ学会リウマチ専門医

## 【診療実績】

2020年に入院となった新規患者数は、悪性リンパ腫37例、成人T細胞白血病7例、多発性骨髄腫13例、その他血液疾患、膠原病40例です。その他前年度以前から継続治療中の方を含めると、多くの患者さまの入院、外来治療が行われており、近年増加傾向にあります。

※学会関連は【研究実績】に掲載



# 糖尿病内科

科長 山元 聖明

## 【診療内容、特色】

当科は1型および2型糖尿病の患者さまの治療を中心に、薬剤性の糖尿病や妊娠糖尿病等の患者さまの診察、治療を行っております。総合病院であるため糖尿病だけではなく、他の疾患を抱えた患者さまが多いのが特徴です。通常の外来・入院治療に加えて持続血糖測定器を用いた血糖評価による血糖変動の評価や、インスリン持続皮下注入療法を行っております。また糖尿病を有する患者さまが外傷や急性期疾患、手術などで入院した際の血糖管理を依頼されるケースが非常に多く、主治医と連携しながら治療を行っております。

糖尿病教育指導については、これまで通り入院患者さまを対象に定期的に糖尿病教室の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症対策のためほとんど行うことができませんでした。集合型の糖尿病教室に代わる方法として看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士の協力を得て『糖尿病教室テキスト』を作成し、このテキストを用いてベッドサイドなどで個々に患者さまへの指導を行っております。また、仕事などの都合でなかなか数週間の血糖コントロール入院が困難な患者さまにも短期間での入院治療を行えるよう3泊4日の入院クリニカルパスを作成しております。

その他、当科は糖尿病の診療が中心ですが、甲状腺、副腎、下垂体疾患など内分泌症例の紹介をいただくケースが増えており、微力ながらその診療に当たっております。

## 【スタッフ紹介】

科長 山元 聖明

所属学会：日本内科学会、日本糖尿病学会、  
日本内分泌学会、日本甲状腺学会、  
日本動脈硬化学会

資格：日本内科学会総合内科専門医、  
日本糖尿病学会専門医・指導医、  
日本内分泌学会専門医、医学博士

非常勤医 濱崎 秀崇

所属学会：日本内科学会、日本糖尿病学会、  
日本内分泌学会

資格：日本内科学会総合内科専門医、  
日本糖尿病学会専門医、医学博士

## 【外来診察担当】

今給黎総合病院（2020年12月まで）  
いまきいれ総合病院（2021年1月から）

	月	火	水	木	金	土
AM	山元	山元	休診	山元	山元	休診
PM	山元	山元	山元	山元	山元	

## 【外来診察担当】

昭和会クリニック（2020年12月まで）  
上町いまきいれ病院（2021年1月から）

	月	火	水	木	金	土
AM	濱崎	休診	休診	濱崎	休診	休診
PM	濱崎	休診	休診	濱崎	休診	

## 【2021年の計画】

2020年12月まで糖尿病内科は今給黎総合病院に常勤1名と昭和会クリニックに非常勤1名で診療に当たっておりました。2021年1月からはいまきいれ総合病院に常勤1名、上町いまきいれ病院に非常勤1名の体制となります。さらに2021年4月からはいまきいれ総合病院に、鹿児島大学病院糖尿病・内分泌内科より1名の非常勤医師が派遣される予定で、これまでよりもさらに充実した診療が行えるものと考えております。

2021年の当科の目標としては、当院が地域連携支援病院であることを踏まえ、安定した患者さんの普段の診療をかかりつけ医へ依頼し、一方で病状の悪化や急変や合併症などは当科で対応できるよう病診連携を図っていきたくと考えています。

鹿児島県内の糖尿病非専門施設や診療所、クリニックに当院の特色や診療体制について知ってもらうため講演会などを通じて広報を行っていきます。また糖尿病は心血管疾患や足病変、感染症、悪性腫瘍など多岐に渡る合併症を引き起こす病気です。総合病院であることのメリットを生かして院内各科と連携しながらこれらの合併症も含めたケアができるよう努めて参ります。

※学会関連は「研究実績」に掲載



# 消化器内科

部長 船川 慶太

当院は地域がん診療連携拠点病院であり、当科においても質の高いがん医療の提供に努め、がんの早期発見治療に積極的に取り組んでいます。また、離島を含め県内各地、多数の医療機関と病診連携をとり、地域医療にも力を入れています。

当科には日本消化器内視鏡学会認定指導医3名、専門医3名、8名の専属スタッフ（すべて日本消化器内視鏡学会認定内視鏡技師：8名）が常勤し高度の内視鏡検査治療が可能となっています。

消化管内視鏡診断では、拡大内視鏡、Image Enhanced Endoscopy（画像強調観察）、超音波内視鏡などを駆使して、高度の内視鏡診断を行っています。

消化管内視鏡治療については、主に早期がんに対して、食道、胃、十二指腸、大腸のESD（粘膜下層剥離術）を行っており、新病院移転後は、手術室も拡張されることから、耳鼻科と合同で、咽喉頭ESDの準備も進めています。

胃などの消化管粘膜下腫瘍や痔腫瘍、腫大したリンパ節などに対してEUS-FNA（超音波内視鏡下生検～穿刺吸引細胞診）を行い、組織診断を行うことで、治療方針決定に役立っています。

胃粘膜下腫瘍などに対して消化器外科と合同で、LECS（腹腔鏡内視鏡合同手術）も行っております。

胆膵領域では、超音波内視鏡やEUS-FNA、ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影検査）を用いて、積極的に診断、治療に取り組んでいます。

2021年1月の新病院への移転に伴い、最先端の消化器内視鏡装置をさらに充実させました。

肝疾患については、肝細胞がん、肝硬変、B型・C型をはじめとするウイルス性肝炎、自己免疫性肝疾患、非アルコール性脂肪肝炎、アルコール肝障害、薬物性肝障害などの診療を行っています。肝細胞がんに関しては、外科や放射線科と連携し、RFA（ラジオ波焼灼療法）、TACE（肝動脈化学塞栓療法）、薬物療法（分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤）、放射線治療を病態に応じ適宜組み合わせながら集学的治療を行っています。C型慢性肝炎・肝硬変に対しては、治療効果の高いDAA（直接作用型抗ウイルス薬）による抗ウイルス療法を積極的に行っています。B型慢性肝炎・肝硬変に対しては核酸アナログ製剤を中心とした治療を行っています。

また、当院では、外来化学療法室を拡充し、消化器系の癌に対しても、専門ナースや薬剤師など多方面のスタッフが関与し、最先端の化学療法を提供できるような体制を整えています。

## 【スタッフ紹介】

### 常勤医師

今給黎 和幸

理事長 / 科長

日本内科学会認定内科医

日本消化器病学会消化器病専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医

日本胆道学会認定専門医・指導医

日本人間ドック学会認定医

緩和ケア研修修了医、医学博士（鹿児島大学）

船川 慶太

主任部長

日本消化器病学会 消化器病専門医・指導医

日本消化器病学会 九州支部評議員

日本消化器内視鏡学会消化器内視鏡専門医・指導医

日本消化器内視鏡学会 九州支部評議員・学術評議員

日本食道学会 食道科認定医

日本肝臓学会 肝臓専門医

日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

日本消化管学会胃腸科専門医

日本内科学会認定内科医

緩和ケア研修修了医、医学博士（鹿児島大学）

吉永 英希

部長

日本消化器内視鏡学会認定専門医・指導医

日本消化管学会胃腸科専門医・指導医

緩和ケア研修修了医

山崎 晃裕

医長

日本内科学会総合内科専門医

日本消化器病学会消化器病専門医

日本肝臓学会肝臓専門医

緩和ケア研修修了医

中馬 健太

医長

日本消化器病学会消化器病専門医

日本消化器内視鏡学会認定専門医

日本内科学会認定内科医

緩和ケア研修修了医

奈良 博文

日本内科学会認定総合内科専門医  
日本消化器病学会消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会認定専門医  
緩和ケア研修修了医

汐見 大二郎

非常勤医師

松本美由紀 丸尾周三 鶴留一誠

内視鏡室 看護師

梅北裕司 山元真貴子 江口万美 有園佳那  
小橋口直美 大迫翔

消化器内科クラーク

泊美由紀 上久木田奈緒

【外来診療日】 月曜～土曜日 午前（完全予約制）

月	火	水	木	金	土		
船山	川崎	吉中	永馬	今給黎 奈良	船山 川崎	吉中 永馬	-
船山	川崎	吉中	永馬	今給黎 奈良	船山 川崎	吉中 永馬	-

【診療状況】（2020年1月～12月）

外来患者数 7,755名

初診 877名、再診 6,878名

入院患者数（延べ数） 8,191名

検査名（上部）	件数
胃・十二指腸ファイバー（うち経鼻：57）	1,679
上部超音波ファイバー（EUS）	170
食道内視鏡	5
食道ステント留置術	3
食道狭窄拡張術	53
食道早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術（ESD）	7
内視鏡的消化管止血術	47
内視鏡的食道・胃内異物摘出術	25
食道・胃静脈瘤硬化療法（EIS）	2
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術（EVL）	12
EIS+EVL	2
内視鏡的胃・十二指腸ステント留置術	3
胃・十二指腸狭窄拡張術	1
胃・十二指腸早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術（ESD）	34
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ切除術	1
上部イレウスチューブ留置術	20
超音波内視鏡下穿刺吸引生検法（EUS-FNA）	21
計	2,085

検査名（下部）	件数
大腸ファイバー	719
・上行結腸まで	622
・下行、横行結腸まで	37
・S状結腸まで	42
・直腸まで	18
下部超音波内視鏡	20
カプセル内視鏡	11
内視鏡的大腸ポリープ切除術	283
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術（ESD）	35
下部消化管内視鏡的止血術	27
内視鏡的結腸異物摘出術	1
大腸ステント留置術	4
結腸軸捻転解除術	1
小腸結腸狭窄部拡張術	17
経肛門的イレウスチューブ留置術	9
計	1,127

検査名（ER）	件数
内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）	9
内視鏡的膵管ステント留置術	6
内視鏡的経鼻胆道ドレナージ術（ENBD）	10
内視鏡的胆道拡張術	11
内視鏡的胆管ステント留置術（ERBD）	69
内視鏡的乳頭切開術（EST）	11
超音波内視鏡下瘻孔形成術	3
内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴うもの）	14
内視鏡的胆道結石除去術（その他のもの）	7
内視鏡的乳頭切開術（EST&EML）	17
計	157

検査名（PEG）	件数
内視鏡的胃瘻造設術	31
胃瘻抜去術	3
胃瘻交換	66
計	100

### 【2021年計画】

- ・食道、胃、十二指腸、大腸のESD(粘膜下層剥離術)を既に行っているが、さらに2020年度より、耳鼻咽喉科と合同での咽頭ESD、消化器外科と合同でのLECS(腹腔鏡内視鏡合同手術)など、他科と連携した内視鏡治療を導入しており、さらに充実させ、症例数増加を図る。
- ・検診や人間ドック内視鏡を取り入れ、内視鏡件数を増やすだけでなく、さらにその中から早期癌などの疾患を拾い上げ、内視鏡治療件数増加につなげる。

### 【多施設共同研究】

- ・Bilio-Pancreatic Stenting 研究会より  
 「非切除肝門部悪性胆道閉塞に対するメタリックステントの留置方法を比較検討する多施設共同無作為比較試験(片葉ドレナージ VS 両葉ドレナージ)」  
 「ERCP 後膵炎に関する多施設共同前向き観察研究」
- ・埼玉医科大学との共同研究、難治性疾患克服事業  
 「難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究」



# 循環器内科

院長 濱崎 秀一

## 【特色】

当科は、常勤医師4名と非常勤医師1名で構成されています。循環器疾患の外来・入院診療にあたるのは勿論ですが、当院は外科系患者が多い特徴から術前検査を数多くこなしています。また、令和2年4月1日に新設された血管外科と連携し、閉塞性下肢動脈硬化症のステント治療も開始しています。令和3年1月1日の新病院移転と同時に、血管外科を中心として脈管治療センターが立ち上がる予定です。血管外科、糖尿病内科、皮膚科、形成外科、整形外科と連携して下肢の動脈・静脈・リンパ管関連疾患の診断と治療ならびにフットケアを行っています。

## 【人事・スタッフ】

令和2年：部長(院長兼任)：濱崎秀一医師、部長待遇(→令和3年6月に部長に昇格予定)：志岐健三郎医師、科長：下舞浩二医師に加えて10月1日から常勤医の稲津真穂人医師が1人増員となり、救急・入院対応にも余裕ができました。

しかしながら令和3年3月30日付けをもって11年間循環器医療からリハビリテーションまで幅広く活躍してくれた下舞浩二医師が大学医局人事で玉水会病院に異動となり、その後を受けて大島県立病院で奄美地区の循環器の急性期医療に多大な貢献をしてきた有馬良一医師が令和3年4月1日に部長として着任する予定です。そして新メンバーとして半年間活躍してくれた稲津真穂人医師も3月30日付けをもって鹿児島医療センターに異動となり、その後任として玉水会病院から松本紀彰医師が着任する予定になっています。

心臓超音波検査は主に中央臨床検査課の富吉裕児主任、森田修康技師と中条楓技師、池本菜月技師の4名の技師さんには心エコーのみならず血管外科からのオーダーも加わり増加著しい血管エコー検査も精力的にこなしてもらっています。

## 【診療状況】

### 1) 外来診療

外来診療は4人の医師が新患・再来を曜日変わりで担当しています。令和2年の平均外来患者数は、1日あたり20.0名でしたが、院内からの紹介患者がほぼ同数に上ります。

対象疾患としては、高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病、狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患、拡張型心筋症・弁膜症・高血圧性心臓病・陳旧性心筋梗塞などを基礎疾患とした慢性心不全、心房細動・心房粗動、上室性頻拍症、症候性徐脈などの不整脈疾患、弁膜症、下肢閉塞性動脈硬化症(ASO)、深部静脈血栓症(DVT)ならびにリンパ浮腫などの下肢脈管疾患、さらには急性心不全や肺動脈血栓塞栓、大動脈解離などの救急対応まで循環器疾患全般の診察や治療を行っています。

冠動脈疾患の精査については、冠動脈造影CT検査が放射線課スタッフの努力により画像解析が迅速化し、従来よりも大量かつ詳細な画像診断が可能になりました。さらに令和3年1月1日からは新病院に最新鋭の320列CT装置が導入され同CT装置を用いての冠動脈CTで、より速く鮮明な画像が得られると思います。併せて冠動脈CTや心筋シンチグラム検査の読影を放射線科医師と協同で行うことで診断の精度向上を図っています。

下肢動脈の治療は血管外科と連携しながら当科でも行っていますが、冠動脈のカテーテル検査・治療は行っていませんので、鹿児島大学病院・鹿児島医療センター・鹿児島市立病院・天陽会中央病院などの心臓カテーテル設備を有する施設との緊密な連携により迅速な診断と加療を実現しています。

鹿児島大学病院心臓血管内科・鹿児島医療センター・鹿児島市立病院にて発作性心房粗動・心房細動、上室性頻拍症に対してカテーテルアブレーション術を施行された症例をフォローする症例が増えています。

一方、循環器疾患で外来フォローしている患者さまのうち病状が安定している患者さまについては自宅近くの医療機関への逆紹介を促進し病診連携を図っています。

## 2) 入院診療

令和2年の入院数は130名でした。最も多い症例は、急性心不全および慢性心不全の急性増悪(全体の45%)でした。救急搬送されるケースも多数認めますが、救急外来で循環・呼吸状態を改善させた後、病棟へ収容し、引き続き加療を行い全身状態の改善を確認して退院となります。うっ血性心不全の傾向としては、心房細動合併症例が多く、心不全症例の約24%に合併しています。また中等度以上の僧帽弁閉鎖不全症・大動脈弁狭窄症の合併が24%にみられました。肺動脈血栓塞栓症と深部静脈血栓の入院症例は各々5例と6例で深部静脈血栓のうち2例には一時的に下大静脈フィルター留置を行っています。ペースメーカー植え込み術は、令和2年は6件でした。当院での循環器内科の特徴としては、院内からのコンサルト依頼が多いことがあげられます。他科の入院患者の術前心機能評価・下肢静脈血栓の評価依頼・化学療法時の心機能評価、ならびに他科入院症例で心血管イベント発症時の診療も、主治医と協力しながら行っております。

車台数も年間3500台に上り研修医にとって良好な研修環境にあると思います。今後はさらに研修医の指導にもより多くの力を注いでいきたいと考えています。

### 【循環器内科関連の検査】(外来入院併せて)

心エコー	3,113 件
下肢血管エコー(動脈・静脈)	586 件
頸動脈エコー	159 件
ホルター心電図	206 件
エルゴメーター負荷心電図	4 件
マスター運動負荷心電図	140 件
CAVI/ABI 検査	612 件
冠動脈 MDCT	91 件
心筋シンチ	206 件

血管エコー、CAVI/ABI 検査と心筋シンチの増加が目立っています。エコー技師さん、臨床検査技師さん、放射線課技師さん達の努力の成果です。感謝しています。

### 【2021 年に向けて】

令和2年4月1日に鹿児島市立病院心臓血管外科部長の牛島 孝医師が当院に着任し、新たに血管外科が立ち上がりました。主として閉塞性下肢動脈硬化症、下肢静脈瘤、下肢静脈血栓症、リンパ浮腫に関して診療を開始しています。新病院がオープンする令和3年1月1日には脈管治療センターが立ち上がる予定になっていますが、令和3年4月1日に血管外科に常勤医の平林葉子先生が増員予定です。血管外科を中心として循環器内科、糖尿病内科、皮膚科、形成外科、整形外科の連携でtotal vascular care を目指したいと思います。

また総合病院である当院の特色から循環器疾患に限らず幅広い疾患を経験する機会が多く、救急



# 呼吸器内科

部長 岩川 純

今給黎総合病院呼吸器内科は2020年度、部長の岩川を始め、大重、入來、松山、永田の5人体制でした。2021年度は大重先生がご実家の大重医院にもどり、松山先生が鹿児島大学病院へ転任し亀之原が着任しました。永田先生は南風病院へ転勤となり、里園が着任いたしました。留任した岩川、入來とともに一人減となりますが4人体制で業務に当たっています。専門医としての自覚を持ってサービスを提供し、患者・周囲の医療者から選ばれる呼吸器内科を目指し、日々診療を行っております。

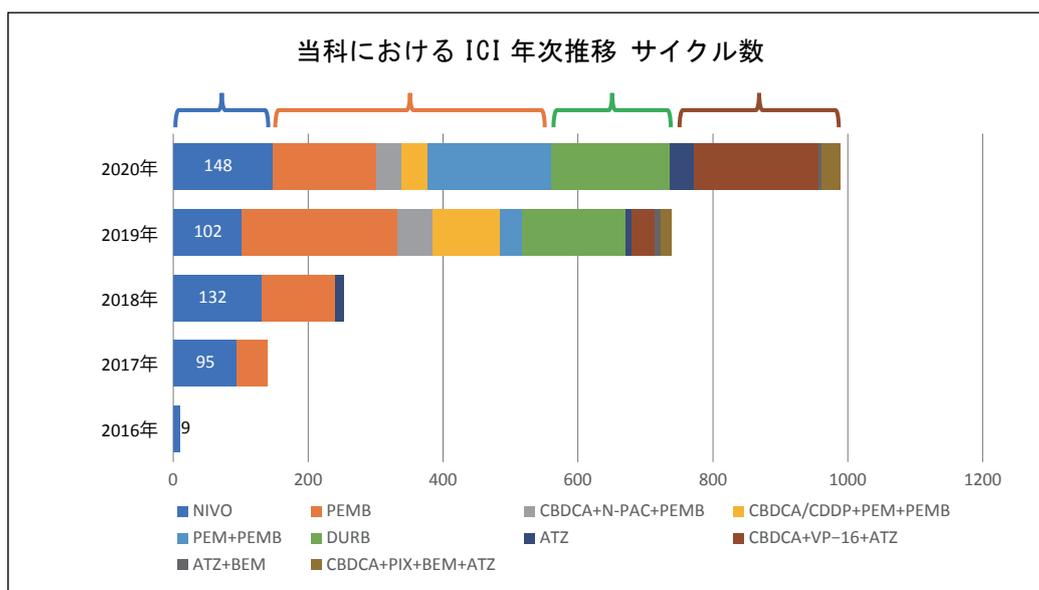
## 【当科の主な診療疾患】

- ・肺癌、胸部悪性疾患
- ・肺炎、呼吸器感染症
- ・気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）
- ・間質性肺炎、びまん性肺疾患

呼吸器診療は主に上記の疾患の治療を行っております。肺癌の予後は依然として満足いくものではありませんが、近年の治療進歩は著しく、トピックとしては免疫チェックポイント阻害剤が挙げられます。2016年以降、本邦で使用可能となり、二次治療だけでなく一次治療でも有効性が確認され、また細胞障害性抗癌剤に免疫チェックポイント阻害剤上乗せの高い有効性も示されています。但し、決して全ての肺癌に効果のある夢の新薬でなく、効果が高いとされる患者の選定と適正に使用することが重要です。また、抗癌剤とは異なる免疫関連の特殊な有害事象への対応も重要で、各科との密な連携が必要となります。

当院は放射線治療も可能な病院です。手術不能の3期局所進行肺癌に対して化学療法と放射線照射併用治療（化学放射線療法）後に免疫チェックポイント阻害剤の維持療法を行うことで無増悪生存期間を大きく改善し治癒を目指すことも不可能ではなくなったことが報告されました。当院でも積極的に行っております。

当科における免疫チェックポイント阻害薬（ICI）の治療回数を年次毎で示します。毎年増多傾向にあります。



2017年度、肺炎は日本人の死因第5位となりました。前年度第3位からランクダウンしたものの、高齢化もあり、肺炎に罹患する患者数は今後増加すると思われます。高齢者の肺炎に関しては予防も重要であり、当科では積極的に肺炎球菌ワクチンの投与を行っております。しかし繰り返す嚥下性肺炎等、人生の終末期における治らない肺炎があるという認識は必要だと思います。

### 【入院診療】

入院患者疾患内訳は、表に示す通りです。肺癌患者が年々増加していましたが、2017年以降入院患者数は減少しました。肺癌化学療法については繰り返し入院での治療を行わず、可能な限り外来化学療法を行うよう努めた結果です。その代わりに、特発性間質性肺炎を中心としたびまん性肺疾患が増多しました。間質性肺炎は先の細菌性肺炎とは全く異なり、肺が固くなることで呼吸状態が悪化し、様々な呼吸管理や治療が必要になります。他科では治療や診断も困難なため、当科が治療に当たるべきだと考えています。

### 【入院患者疾患内訳】

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
肺癌・胸部悪性疾患	337	369	200	314	295	262
肺炎	51	44	54	70	65	70
びまん性肺疾患	28	24	78	62	34	47
気管支喘息	5	4	18	16	19	7
慢性閉塞性肺疾患	9	11	12	18	11	9
肺結核	13	4	5	4	2	17
その他	49	71	174	166	186	177
合計	492	527	566	650	612	599

### 【気管支鏡検査】

気管支鏡については2017年度から120-170件施行しています。2019年度から超音波気管支（EBUS-GSによる生検診断、EBUS-TBNAによる縦隔リンパ節診断など）を導入しより安全に、正確に診断が可能となるように努力しております。

### 【気管支鏡数（呼吸器外科・内科合算）】

	件数
2015年	105
2016年	101
2017年	170
2018年	166
2019年	173
2020年	123

### 【外来患者数】

外来患者数は新患者数、外来の延べ人数は減少傾向ですが、紹介患者数は増多傾向にあります。以前の昭和会クリニックで紹介状なし初診で受診された患者さまがいました。現在は紹介状なし受診の方は算定療養費がかかるようになり、完全な紹介型になったため減少しているようです。全体の外来数減少は軽症、安定期の状態の方は逆紹介を行い地域で診て頂くようにした結果と考えております。場合によっては当科と並診とさせていただきます、画像、生理検査などは当科で定期的に行うこともしております。

### 【外来患者数】

	延べ患者数	新患者数
2015年	5,548	553
2016年	6,049	618
2017年	5,306	665
2018年	5,316	620
2019年	4,535	552
2020年	4,526	351

### 【コロナ禍における呼吸器疾患】

一般に慢性閉塞性肺疾患をはじめ呼吸器疾患がある患者さまがCOVID-19感染を起こすと重篤化する危険があるとされています。当科への受診で密になる可能性があり受診を忌避される患者さまもおられます。電話再診なども可能でありご希望の方は担当医にご相談ください。



# 脳神経内科

部長 吉村 道由

当院脳神経内科は、鹿児島大学脳神経内科・老年病学講座を母体とした医局で、2020年1月の時点では同科の出身の在籍中の医師4名（丸山医師、林医師、臼元医師、吉村）と、鳥取大学脳神経内科出身の甲斐医師を合わせた5名が当科の常勤医師で、それに加え鹿児島大学などから5名の非常勤医師にも応援をいただいて、頭痛・めまい・しびれ等の症状や脳卒中・パーキンソン病・アルツハイマー病等の一般神経内科外来、急性期神経疾患の救命救急医療・急性期リハビリテーションまでの神経内科診療をこなしていました。

2020年4月は人事異動があり、3月末で、臼元医師が異動となりました。4月からは、武井（藍）医師が赴任しました。臼元医師は4月からは在宅診療部に非常勤で勤務されています。また丸山医師は4月からは非常勤医師として週2回の外来を担当していただいております。これにより4名の常勤医師、4名の神経内科専門医を抱える神経内科となっております。

鹿児島大学の脳神経内科・老年病学講座は日本においても最も規模が大きく且つ歴史のある脳神経内科教室のひとつであり、他県と比べ脳神経内科医が非常に多い県ですが、神経内科専門医5人を常勤として抱え神経救急を行っている私立病院は全国的にも多くはなく、鹿児島県における神経内科診療に多少なりとも貢献できているものと、私どもは自負しております。

2020年（令和2年）の診療実績は下記のとおりとなっております。

入院患者様ですが、360名（転科症例まで込み）が2020年1月1日～2020年12月31日までの1年間で入院されました。その中では脳血管障害、変性疾患（パーキンソン病・症候群）、感染症の3領域が大きな割合を占めています。その他の中には感染症も多く含まれ、半数近くは神経疾患に起因したものが多く、ADLの低下も強く、ケアにも労力を要する患者も多い状況です。さらに、脳神経内科という科の性質上、予定入院と比べると急患の緊急入院が多く、ほぼ毎日1～2人の入院患者を受け入れてくれている病棟スタッフの皆さんには本当に頭のさがる思いです。病棟は別館2階南病棟の42床で、脳神経内科と皮膚科の混合病棟となっております。皮膚科の久留先生・有村先生にはお忙しい合間に相談にもものっていただいて、大変感謝しております。病棟スタッフは稲森師長をはじめとして、看護師の皆さんが激務の中にも笑顔絶やさ

ず対応していただいております。脳神経内科は他科と比較しても、高齢、ADL低下の患者さんも多い中でもクオリティの高い看護・介護を実践していただいております。的確な患者情報のフィードバックもあり、非常に働きやすい環境の病棟です。また、リハビリスタッフのレベルも高く、患者様のリハビリテーションのみならず、患者評価のフィードバックと、患者さまの様々な機能回復、治療向上の面で非常に助かっております。

外来については、1年間に初診1444名、再診6994名の総数8438名でした。外来では、医療クラークの片山さんをはじめ、検査日程の調整や、各医師の予約患者の調整など、細かいところまで気配りしていただいております。多様なキャラクターの医師を上手に采配して、脳神経内科外来の全てを取り仕切っていただいております。

日常診療以外の業務としては、私が神経内科九州地方会の世話人や、臨床神経生理学会の神経筋診断セミナー講師（2020年度はコロナの影響で中止となってしまいましたが）、院内ではICT関連も行っています。林医師・甲斐医師は訪問診療も行っています。甲斐医師と私は久木田学園看護専門学校の講師も行っています。また、臨床研修医の指導は全員で対応しています。そのほか、医学部学生のシャドウイングなどにも対応しています。2020年7月～10月には武井医師がコロナ病棟の対応も行いました。

コロナ禍の大変な状況ですが、全員が患者対応以外にも雑多な用事を抱えながら、日々診療しております。

2021年1月には、新たに高麗町への移転となり、丸山医師、林医師が上町いまきいれ病院へ、吉村、甲斐医師、武井医師がいまきいれ総合病院へと、脳神経内科は2つへ分かれております。入院診療においては大きな柱のひとつであった林医師が抜けることは大変不安ではありますが、新規メンバーとして2021年1月より谷口医師を迎え、新たな体制で脳神経内科の急性期医療を担っていきたいと思います。

新病院では筋電図外来を新設して、電気生理分野についての検査・診断も強化していく予定です。以上、簡単ではありますが脳神経内科の紹介をさせていただきます。

【スタッフ】

吉村 道由 脳神経内科部長  
 医学博士、日本神経学会専門医・指導医  
 日本内科学会総合内科専門医、日本内科学会認定医  
 日本臨床神経生理学会専門医  
 (脳波分野、筋電図・神経伝導分野)  
 日本臨床神経生理学会指導医  
 鹿児島大学医学部卒

武井 藍  
 日本神経学会専門医、日本内科学会認定医  
 鹿児島大学医学部卒

丸山 芳一 顧問  
 医学博士、医学博士、日本神経学会専門医  
 日本神経学会指導医、日本内科学会認定医  
 日本神経学会評議員、愛媛大学医学部卒

林 茂昭 在宅医療部部长  
 日本神経学会専門医・指導医  
 日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医  
 鹿児島大学医学部卒

甲斐 太 在宅医療部部长  
 医学博士、日本神経学会専門医・指導医  
 日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医  
 日本脳卒中学会専門医、鳥取大学医学部卒

非常勤医師  
 丸山 征郎 (血管病)  
 有村 由美子 (電気生理検査)  
 橋口 照人 (脳神経内科、糖尿病)  
 荒田 仁 (脳神経内科)  
 橋口 良也 (頸部血管超音波検査)

【診療状況】(2020年1月1日～12月31日)

【外来患者】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
初診	123	122	124	101	101	146	140	125	141	125	92	109	1,444	120.3
再診	594	564	607	581	581	574	614	570	607	615	527	608	6,994	582.8
合計	717	686	731	682	682	720	754	695	748	740	619	717	8,438	703.2

【入院患者】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	平均
入院	22	26	32	19	21	35	29	33	35	28	31	20	331	27.6
退院	17	30	33	20	27	29	36	25	30	32	24	43	346	28.8
在院	788	953	840	839	804	718	714	769	821	774	807	910	9,737	811.4
平均病床数	25.4	32.8	27.0	27.9	25.9	23.9	23.0	24.8	27.3	24.9	26.9	29.3	319.1	26.6
平均在院日数	40.4	34.0	25.8	43.0	33.5	22.4	21.9	26.5	25.2	25.8	29.3	28.8	356.6	29.7

【入院患者内訳】(2020年1月1日～12月31日)

脳梗塞・TIA	87	認知症患者	13
脳出血・その他の血管障害	7	発作性・機能的疾患	67
感染症・炎症性疾患	29	自律神経疾患	3
中枢性脱髄疾患	9	脊髄・脊髄疾患	5
免疫性末梢神経疾患	14	腫瘍性疾患	5
免疫性筋疾患	2	代謝性疾患	12
末梢神経疾患	5	その他	50
筋疾患	6	total	358
変性疾患	44		

脳血管障害	アテローム血栓性	39
	心原性	15
	ラクナ	5
	TIA	14
	出血性	5
	小脳・脳幹	7
	その他	7
その他の血管障害		2
total		94

変性疾患/認知症	アルツハイマー型認知症	6
	パーキンソン病	28
	DLB	7
	PSP	3
	SCD	4
	ALS	6
	その他	3
total		57

**【検査件数】**

CT	452
MRI/MRA	236
SPECT	69
頸部血管エコー	39
脳波	141
NCS	232
nEMG	27
誘発筋電図	25
筋生検	1
神経生検	0



# 外科 (肝臓・消化器・乳線・内分泌・小児・肛門)

部長 小倉 芳 人

今年7月に大きく人員が変わりました。私小倉以外は全員交代となりました。2年間大腸・肛門を中心に活躍していただいた緒方俊二先生、7年間と長きに外科を支えてくださった野口智弘先生、手術が大好きで毎日頑張ってくくださった福田皓佑先生がそれぞれ異動となりました。代わりに、花園幸一先生・山崎洋一先生・磯部綾先生の3人の先生方が大学医局より来ていただきました。それぞれの個性を生かして活躍してくださると期待しております。

今年はコロナにて診療が大きく変化しました。入院してしまうと患者さまと御家族は完全に分断されてしまうため、今までの“一緒に手術を乗り切っていきましょう”という状況には程遠く、患者さまにも寂しい思いをさせているのではないかと感じずにはられません。忘れられない出来事として、3人の先生方が赴任して最初に手術した患者さまがコロナ陽性と判明したことでした。我々4人は濃厚接触者として2回のPCR検査の陰性が確認されるまでの約1週間いきなり隔離対象となりました。ちょうど“おだまり男爵”のクラスター判明の前後で、まだ鹿児島ではコロナ感染症を身近に感じていない時期でしたので戸惑ったことが思い出されます。私事になりますが、自分は家族がいるため病院の独身用宿舎で隔離生活を送りましたが、1週間弱とはいえ隔離は非常にきついものでした。早くコロナ感染症が終息し、従来の医療ができることを心待ちにしております。

診療に関して、外科は従来通り救急医療と腫瘍外科の二つを柱として取り組んでおります。一つの柱である救急医療としては、連携を伴った高度医療により救命率の向上させることや機能温存することを目指しております。当院は総合病院ですのでそのメリットを最大限に活用し、複数科にまたがる重症症例に関しても他科との連携体制をとって対応しております。特に、消化器疾患に関しては、消化器内科の協力のもと内科的治療と外科的治療を組み合わせ、過度の外科侵襲を抑えることを目指しています。このことは救命率を向上するだけでなく機能温存にも反映されていることと思います。次に二つ目の柱の腫瘍外科に関しては、診断から治療まで、時には緩和医療まで切れ目のない医療の提供や最先端の医療の提供を心がけております。外科が主に扱う治療は外科手術と薬物療法が挙げられます。外科手術に関しては多くの手術において腹腔鏡下手術を標準治療として取り入れ、患者さまの負担の少ない手術を指

指しております。また、肝胆膵領域といった少し専門性を要する手術に関しても安全に手術が行われるように努めており、最近2年間では少しずつですが肝胆膵の悪性腫瘍の手術が増えている状況です。また抗癌剤や分子標的薬による薬物療法に関しては、化学療法専門の看護師や薬剤師と連携して安全に安心して治療を受けていただけるように努めております。更に、終末期に関しては緩和医療科と連携して少しでも患者さまの疼痛や不安を軽減するように努めております。ガイドラインという基本的な治療の方向性は維持し、癌治療の進歩に遅れることなく最新の医療を提供し、患者さまの個性を生かしたオーダーメイドの治療を目指していきたいと思っております。

また働き方改革の一環として、2018年8月より外科では“緊急手術のうち可能な症例は待機手術へ”という取り組みを行っております。今給黎総合病院というと緊急手術というイメージが強いと思いますが、近年は医師の時間外労働による過重労働が問題となっております。結腸穿孔による腹膜炎や腸管壊死を来しているような一刻を争う緊急手術が必要な症例には従来通りいつでも対応できるように準備しております。その一方、手術を勤務時間内に終了させることや時間外の手術を減らす試みにも取り組んでいます。現在、虫垂炎や胆嚢炎に関しては、症例により抗生剤による保存的治療を施行した後に待機的に手術を行うことを導入しております。このように待機的な手術を行うことにより勤務時間内に手術を行うことが可能となり、充実したスタッフのもとより安全に手術を進めることができるようになりました。このことは、手術の環境からは有益と考えられる一方、患者さまにとっては2回の入院が必要になり少し負担が大きくなります。しかし、緊急手術の時に多く認められていた創部感染や手術後の発熱は明らかに減少しており、患者さまにとっても有益な方法と考えております。

現在、消化器に関しては毎週1回、消化器内科・外科・放射線科・病理診断科等が合同でカンファレンスを行っております。現在は手術症例を中心に検討しておりますが、診断や治療方針に難渋している症例も提示してもらい、各科が忌憚ない意見交換を行い適切な治療が選択できるようにしております。外科としては、手術症例の結果を速やかに報告し、診断や手術の問題点を提起し各科にフィードバックできるようにしております。時には呼吸器内科や呼吸器外科にも参加している

ただき、今給黎病院全体で治療できるようにしております。

当院での手術症例は、すべて全国手術症例登録システム(NCD)に登録しております。これは今後導入される専門医制度に連携したシステムで、すでに外科領域の種々の専門医制度には利用されています。NCDシステムは医師個人の資格取得や維持にも重要で、連携していただく先生方や当院にて研修される先生方のお役に立てるように進めていきたいと思っております。また、本システムは個人情報の管理に関しても厳重に対応しておりますので患者さまは安心してご協力いただければと思います。

2021年1月1日に新病院へ移転します。建物も新しくなり、地理的にも鹿児島市の中心部に近くなります。診療に関して患者さまに満足していただけることはもちろん、若い医師の教育にも力を入れていきたいと考えており、多くの外科を目指す先生方にとって魅力ある病院作りをしていきたいと思っております。

### 【人事】

勤務者

<医師>

(転出)

緒方 俊二：平成30年7月～令和2年6月

野口 智弘：平成25年7月～令和2年7月

福田 皓佑：令和2年1月～令和2年6月

(継続)

小倉 芳人

(転入)

花園 幸一：令和2年7月～

山崎 洋一：令和2年7月～

磯部 彩：令和2年7月～

<看護師>

福重美佐子、中村唯子、村崎まこと、西迫ルミ子、平田聖子、有迫瑠美、堀之内嘉代子、是枝恵里香

<診療クラーク>

永田恵子、向井和希

### 【診療状況】

<外来患者状況>

令和1年の外来受診者総数(延べ)は4025名であった。

その内訳は、初診患者：353名、再診患者：3672名。

<入院患者>

603名/年

### 【手術症例内訳】

全身麻酔症例 262例

硬膜外麻酔症例 1例

脊椎麻酔症例 26例

局所麻酔症例 35例

#### 全身麻酔症例

疾患部位	例数	悪性	良性	鏡視下
甲状腺	1	1		
乳腺	4	4		
胃	18	18		10
小腸	13	2	11	3
結腸・直腸	55	55	17	38
虫垂	35		35	35
肝臓	4	4		
胆嚢・胆管	47	6	41	34
脾臓	4	3	1	1
ヘルニア	59		59	14
その他	22	3	19	5

#### 硬膜外麻酔症例

疾患部位	例数
虫垂炎	1

#### 脊椎麻酔症例

疾患部位	例数
痔核・痔瘻	20
直腸脱	3
直腸腫瘍	1
肛門周囲腫瘍	1
ヘルニア	1

#### 局所麻酔症例

疾患部位	例数
ポート挿入	30
腫瘍生検	4
痔瘻	1



# 呼吸器外科

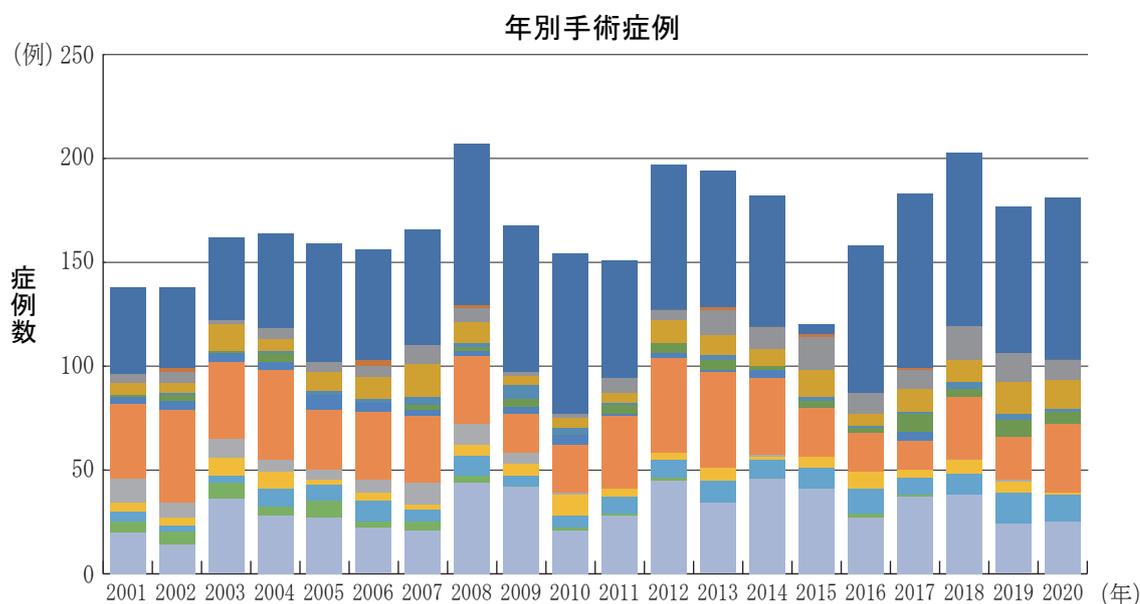
部長 米田 敏

日本呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設

日本呼吸器内視鏡学会関連施設

今年度の年間手術症例は181例で、その内訳は肺癌78例、転移性肺腫瘍10例、縦隔腫瘍14例、胸膜中皮腫1例、胸壁腫瘍6例、肺気腫・自然気胸33例、膿胸1例、良性肺腫瘍13例、その他25例であった(表1)。

(表1)



■原発性肺癌	42	39	40	46	57	53	56	78	71	77	57	70	66	63	55	71	84	84	71	78
■気管・気管支腫瘍	0	2	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
■転移性肺腫瘍	4	5	2	5	5	5	9	7	2	2	7	5	12	11	16	10	9	16	14	10
■縦隔腫瘍	6	5	13	6	9	11	16	10	4	5	5	11	10	8	13	6	11	11	15	14
■胸膜中皮腫	0	1	0	1	2	2	4	2	7	3	1	0	2	0	2	1	1	3	3	1
■胸壁腫瘍	1	3	1	4	0	0	2	2	4	0	4	5	5	2	3	2	9	4	8	6
■肺気腫	3	4	4	4	7	4	3	2	3	5	1	2	1	4	0	0	4	0	0	0
■自然気胸・血気胸	36	45	37	43	29	33	32	33	19	23	35	46	46	37	24	19	14	30	21	33
■局所性多汗症	12	7	9	6	5	6	11	10	5	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
■膿胸	4	4	9	8	2	4	2	5	6	10	4	3	6	1	5	8	4	7	5	1
■良性肺腫瘍	5	3	3	9	8	10	6	10	5	6	8	9	11	9	10	12	8	10	15	13
■気道狭窄	5	6	8	4	8	3	4	3	0	1	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0
■その他	20	14	36	28	27	22	21	44	42	21	28	45	34	46	41	27	37	38	24	25

### 原発性肺癌手術症例の年次推移

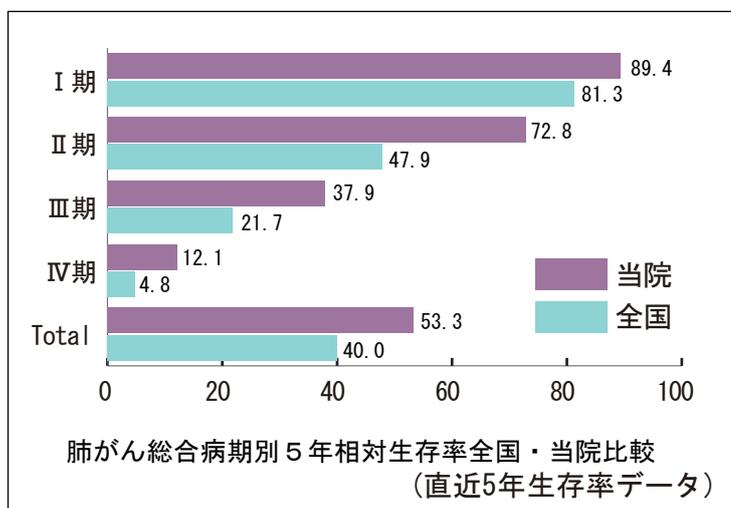


2020年度の当院呼吸器外科手術症例です。昨年からのコロナ禍と、7月からの1名減にもかかわらず、例年と変わらず症例蓄積できたのはMEや手術部スタッフ、外来スタッフ、病棟スタッフ等の協力と呼吸器カンファグループの団結のおかげです。ただ学会発表などは、やはりコロナで出席できず、報告数の減少は否めない状況でした。

今年度の記憶に残る症例は、化学放射線治療後のExtended double sleeve Bilobectomy+S6 segmentectomyで肺全摘を回避できた一例そして、葉間、肺門の染込みリンパ節で出血部位を圧迫しながら片手で心嚢内処理を行い右肺上葉切除を完遂した一例などです。2021年1月より新病院移転し、まだまだ問題山積みですが、一丸となり切り抜けていこうと思っております。

#### 【肺癌治療成績】

鹿児島県の肺癌治療成績は全国平均を下回っているが、当院の治療成績はいずれのStageも上回っている。



呼吸器外科部長・診療統括部長・副院長  
米田 敏

- 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- 日本呼吸器外科学会指導医
- 日本呼吸器外科専門医認定機構専門医
- 日本胸部外科学会認定医・正会員
- 日本呼吸器外科学会評議員
- 九州外科学会評議員
- 日本胸部外科学会九州地方会評議員
- 日本肺癌学会九州支部会評議員
- 鹿児島大学医学部臨床教授

呼吸器外科科長・副理事長  
今給黎 尚幸

- 日本外科学会認定医・専門医・指導医
- 日本呼吸器外科専門医認定機構専門医
- 日本胸部外科学会認定医
- 日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医
- 日本がん治療認定医機構専門医
- 日本呼吸器外科学会評議員
- 日本胸部外科学会九州地方会評議員
- 日本肺癌学会九州支部会評議員

※学会関連は[研究実績]に掲載



# 血管外科

部長 牛 島 孝

2020年4月に鹿児島市立病院心臓血管外科部長から異動しています。着任に際し血管外科を標榜して診療を開始しています。主として下肢静脈瘤:LV、閉塞性動脈硬化症:ASO、リンパ浮腫、静脈血栓症、慢性静脈機能不全などの疾患や難治性創傷の血流評価等の診療を行っています。入院では閉塞性動脈硬化症に対する血管内治療:EVT、下肢静脈瘤に対する下肢静脈瘤血管内焼灼術を主に行ってきました。EVTでは循環器内科(稲津真穂人医師)、放射線科(鉾立博文医師)と一緒に、ディスカッションを行いながら治療を進めてきました。また、下肢静脈瘤手術は稲津真穂人医師に手伝っていただき、年度終わりには全行程を経験してもらいました。研修医とも治療、手術を行いました。血管外科疾患の診療の他、縫合や血管の扱い、血管エコー、足壊疽の対応などを経験できました。

## 【スタッフ紹介】

部長 牛島 孝

資格

日本外科学会外科専門医

日本脈管学会脈管専門医、研修指導医

日本血管外科学会認定血管内治療医

浅大腿動脈ステントグラフト実施医

バージャー病指定医

下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実

施基準による実施医、指導医

麻酔科標榜医、医学博士(鹿児島大学)

日本静脈学会評議委員

所属学会

日本外科学会、日本血管外科学会

日本静脈学会、日本脈管学会

日本心臓血管外科学会、日本胸部外科学会

日本臨床外科学会

科長 平林 葉子 (2021年4月入職)

資格

日本外科学会外科専門医

日本脈管学会脈管専門医

日本静脈学会評議員

下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準に

よる指導医、指導医

弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター

医学博士(川崎医科大学)

所属学会

日本外科学会、日本血管外科学会、日本静脈学会

日本脈管学会、日本臨床外科学会

日本フットケア・足病医学会

日本臨床栄養代謝学会、日本癌治療学会

## 【診療状況】(2020年4月～12月)

外来診療 405人(初診 112人 再診 293人)

入院診療 80人

手術症例、治療成績(2020年7月～12月)

下肢静脈瘤血管内焼灼術 20例

血管内治療(下肢閉塞性動脈硬化症) 12例

## 【活動】

症例検討会:毎週

血管外科、放射線科、循環器内科、放射線技師、看護師スタッフ

院内勉強会:8回

病棟、外来、超音波検査技師、血管造影室スタッフ

## 【2021年の計画】

2021年1月新病院へ移転に際し、脈管治療センターのスタート。血管外科、循環器内科、形成外科、皮膚科、整形外科、糖尿病内科などとの連携を強めた診療体系の準備を行っています。4月には平林葉子医師が入職して、特に下肢静脈瘤の治療、日帰り手術を予定しています。さらにスタッフ増加に伴い、血行再建手術や急患対応と幅を広げる計画です。



# 整形外科・リハビリテーション科

部長 宮口文宏

当院では令和3年1月から新病院となり、救急中心の病院となっております。

当院では最近増加しつつある変形性脊椎側弯・後弯症に対して積極的に取り組んでいます。側腹部から5cmの皮切で脊椎前方固定術を3椎間固定可能です。脊椎前方固定術後、歩行させて、ほとんどの症例で神経除圧効果が出ているので、2期的な脊椎後方固定術は背中中の筋肉をはがずに、経皮的に後方固定術を施行しています。外傷に関しては交通外傷、転落等のHigh energy 症例が多く、脊髄損傷・多発外傷の治療を行ってきました。骨盤骨折に関しても前方からでも後方からでもありとあらゆる方向から固定可能です。骨盤輪骨折に対して後方からの経皮的な新しい固定術を発表・雑誌掲載しました。関節では定期的な人工股関節・人工膝関節を中心に早期離床・短期入院のためにクリティカルパスを多用しました。

先天性股関節脱臼の人工股関節再々置換術や、人工股関節・人工膝関節術後感染に関しても再置換術まで徹底して加療しております。手の外科では手関節の関節鏡を主に、新たに形成外科と連携して手指関節に対して肋軟骨移植による関節再建術を施行してきました。

新病院から画期的なナビゲーションシステムを取り入れ、術中のCT撮影が可能となり、さらに脊椎疾患・関節疾患・骨折らに関してスクリューの刺入方向を被曝せず、ナビゲーション下挿入可能となりました。このシステムの導入にあたって、さらに治療困難な症例にも対処可能となりました。

## 【スタッフ紹介】(2020年1～12月)

宮口 文宏 (主任部長)  
 梶 泰隆 (部長) 4月～  
 石田 育男 (部長) ～3月  
 川畑 直也 (科長)  
 堀川 良治 (科長)  
 中條 正英 (医長) ～3月  
 香川 陽一 (医長) 10月～  
 山川 智之 (医員)  
 三重 岳 (医員) 10月～  
 岡村 祐太郎 (医員) 10月～  
 眞田 雅人 (医員) 4月～9月  
 朴 淳志 (医員) 4月～9月  
 川内 健寛 (医員) 4月～9月  
 菱澤 亨 (医員) 10月～3月  
 今給黎 尚典 (会長)

## 【症例検討会】

レ線カンファレンス 毎日  
 鹿児島脊椎症例検討会 1回/月

## 【診療実績】(2020年1～12月)

### 昭和会クリニック

外来総数 23,405名 初診患者数 2,865名  
 1日平均 88.5名

### 今給黎総合病院計

外来総数 943名 初診患者数 507名  
 1日平均 3.6名  
 入院総数 1,118名

手術総件数 1,237件

【手術内訳】(2020年1月1日～12月31日)

脊椎 (364件)

体外式脊椎固定術	3
頰椎骨折	1
脊椎前方固定術	2
脊椎後方固定術	20
頰椎椎弓形成術・切除術	33
胸腰仙椎骨折(椎体形成術含む)	11
胸腰椎椎間板ヘルニア摘出術	75
胸腰椎前方固定術	46
胸腰椎後方固定術	124
胸腰椎椎弓形成術・切除術	36
胸腰椎椎間板摘出術(ヘルニア以外)	11
脊椎腫瘍手術	1
脊髄腫瘍手術	1

骨関節骨折・脱臼 (342件)

鎖骨・肩鎖関節手術	17
肩関節手術(上腕骨近位部含む)	15
上腕手術(骨幹部)	11
肘関節手術(上腕骨遠位・肘頭・橈骨頭含む)	12
前腕骨骨折	64
手関節手術(前腕骨近位含む)	13
手根管・手指骨手術	41
骨盤・寛骨臼手術	1
大腿骨近位部手術	106
大腿骨手術(骨幹部)	1
膝関節手術(大腿骨遠位・脛骨近位・膝蓋骨)	14
下腿骨骨折(骨幹部)	8
足関節骨折(脛腓骨遠位部含む)	35
足根骨・足趾骨手術	4

抜釘 (111件)

腫瘍手術 (4件)

骨軟部良性腫瘍手術	2
骨腫瘍切除術	2

切断術 (8件)

上肢切断術	1
下肢切断術	6
指切断術	1

関節手術 (191件)

手・手指関節授動手術	3
手根管手術	29
股関節手術(THA)	18
股関節手術(人工骨頭)	91
股関節手術(人工関節抜去)	1
膝関節手術(TKA)	15
膝関節手術(骨切り術)	2
膝関節手術(半月手術)	3
膝関節手術(その他)	4
足・足趾関節手術(外反母趾)	2
関節手術 其他の手術	23

腱・神経手術 (64件)

腱縫合術(上肢)	12
腱縫合術(下肢)	8
腱剥離術	3
腱鞘切開術	25
腱移植術	4
神経剥離術	8
神経移行術	1
縫合・移植術(神経)	3

感染症手術 (2件)

化膿性関節炎手術	1
その他	1

その他 (151件)

創傷処理・デブリードマン	33
複合組織移植術	2
その他	116



# 形成外科

科長 外 菌 寿 典

## 【当科の歴史】

1983年(昭和58年)、当院に鹿児島県で初めて形成外科が設立され、初代部長に宇田川晃一先生が赴任されました。以来、昭和大学形成外科の関連施設として、鹿児島県の医療に携わってまいりました。現在常勤医4名(形成外科専門医1名)と非常勤医3名にて診療を行っております。

## 【診療内容】

形成外科とは

先天性および後天性の身体外表の醜形(形、色の異常)を対象とし、これを外科手技により機能はもとより形態(美容)解剖学的に正常(美形)にすることを手技とし、その目的は個人を社会に適応させるものである(鬼塚,1964)。

と定義されています。

形成外科は、体表を治す外科であり、他の外科には無い特徴があります。そして、日常生活に復帰(整容的、機能的)できることを最大の目的としております。

当科の主な仕事内容は、

1. Hand and Microsurgery  
(手外科とマイクロサージャリー)
2. Oculoplastic Surger(眼形成)
3. Brest Sugery(乳房再建)
4. Vascular anormalies(血管腫・血管奇形)
5. Cleft Lip and Palate(口唇口蓋裂)
6. Maxillofacial Surgery(顎顔面外科)
7. OncoplasticSkin Surgery(皮膚腫瘍外科)
8. Decubitus, intractable ulcer  
(褥瘡・難治性潰瘍)
9. Burn injury(熱傷)
10. Lymphedema surgery  
(リンパ浮腫に対する外科手術)

- 1: 日本手外科学会認定基幹病院で、整形外科の手外科専門医とともにチームで手術・週1回にハンドセラピストとともにカンファレンスを行っています。
- 2: 眼瞼下垂、眼窩骨折、内外反症、眼瞼悪性腫瘍・良性腫瘍、霰粒腫等を行っております。
- 3: 主に自家組織、インプラントによる乳房再建、乳輪乳頭再建を患者さんのニーズに合わせて行っております。
- 4: 放射線科と協力し血管造影下に硬化療法、塞栓

療法、外科的治療、内服療法、レーザー療法を組みあわせて行っております。

- 5: 術前顎矯正、口唇鼻形成術、口蓋形成術、顎裂部骨移植、骨切り術、言語療法等総合的な治療を行っております。
- 6: 先天異常から顎変形症に対する骨切り・骨延長から小耳症、顔面裂、顔面骨骨折を主に行っております。
- 7: 良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍、悪性軟部腫瘍まで幅広く行っております。
- 8: WOC ナース(皮膚・排泄ケア認定看護師)とのチーム医療のもとで、主にデブリドマンと皮弁形成による創部閉鎖を行っております。
- 9: デブリドマンと全層・分層による植皮と術後のリハビリを含め、整容面と機能的改善を目標に行っております。
- 10: リンパ管静脈吻合により、リンパ浮腫の改善を行っております。

形成外科は、Aesthetic and Functional Surgery(整容機能外科)として1つの疾患に対して様々なアプローチができる科です。遊離皮弁等顕微鏡下での再建の手術もありますが、基本的には、シンプルで低侵襲かつ効果的な手術方法から選択して個々の患者さまに接したいと考えています。

## 【スタッフ紹介】

外菌 寿典(ほかぞの としのり)

信州大学医学部卒業  
千葉大学形成・美容外科学教室入局  
聖マリア病院勤務  
2019年4月～今給黎総合病院勤務  
形成外科専門医  
日本創傷外科専門医  
日本形成外科学会皮膚腫瘍外科分野指導医

所属学会

日本形成外科学会 日本手外科学会  
日本マイクロサージャリー学会  
日本オンコプラステックサージャリー学会  
日本創傷外科学会 日本顎顔面外科学会  
日本褥瘡学会 日本美容外科学会

濱田 泰志(はまだ たいし)

福岡大学医学部卒業  
昭和大学形成外科所属  
群馬県立小児医療センター

前橋赤十字病院  
2019年10月～今給黎総合病院勤務

所属学会  
日本形成外科学会 日本熱傷学会  
日本創傷外科学会 日本口蓋裂学会

玉川 慶一(たまがわ けいいち)  
熊本大学医学部卒業  
昭和大学形成外科所属  
聖マリア病院  
毛山病院  
2019年10月～今給黎総合病院勤務  
所属学会  
日本形成外科学会

非常勤医師

門松 香一(かどまつ こういち)  
昭和大学形成外科 主任教授  
高木 信介(たかぎ しんすけ)  
昭和大学形成外科 講師 診療科長補佐  
春山 勝紀(はるやま かつのり)  
春山クリニック院長

【講義】

原田学園言語聴覚療法科 形成外科 外菌寿典

【診療状況 (2020年1月～12月)】

外来診療 外来患者数 5,896名 (病院・クリニック)

入院診療 入院患者数 405名

手術件数 (病院・クリニック)  
入院手術件数 574件

手術内容区分	全身麻酔	脊椎麻酔	伝達麻酔	硬膜外麻酔	局所麻酔	総計
<b>皮膚・皮下組織</b>	174	9	21	2	137	343
デブリードマン	42	3	10	1	27	83
皮膚、皮下腫瘍摘出術	29	2			32	63
皮弁作成・移動・切断・遷延皮弁術	21	1	4		12	38
分層植皮術	17	2	2		14	35
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	21				14	35
全層植皮術	10		2		9	21
瘻痕拘縮形成手術	7				5	12
創傷処理	1		3	1	7	12
皮膚悪性腫瘍切除術	3				5	8
遊離皮弁術	7					7
筋(皮)弁術	4	1			1	6
腋臭症手術	1				4	5
皮膚・皮下・粘膜炎下血管腫摘出術	2				2	4
皮膚皮下粘膜炎下血管腫摘出	2				1	3
組織拡張器による再建手術	3					3
筋肉内異物摘出術	1				1	2
四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術	1				1	2
手掌異物摘出術					1	1
自家遊離複合組織移植術	1					1
皮膚切開術					1	1
複合組織移植術	1					1
<b>筋骨格系・四肢・体幹</b>	48	2	16		17	83
眼窩骨折観血的手術	11					11
腱縫合術	5		4			9
ガングリオン摘出術	1				7	8
頬骨骨折観血の整復術	8					8
四肢切断術	1	1	1		1	4
断端形成術		1	1		2	4
指瘻痕拘縮手術	2				1	3
観血の関節固定術3.指	1		1		1	3
骨内異物(挿入物)除去術	3					3
骨搔爬術	2				1	3
骨折経皮的鋼線刺入固定術3.手	1		1			2
腐骨摘出術			1		1	2
多指症手術	2					2
骨折経皮的鋼線刺入固定術(指)			2			2
骨折観血の手術3.指	1		1			2
腱鞘切開術					1	1

骨腫瘍切除術3. その他	1				1
骨移植術(移植用骨採取のみ)	1				1
滑液膜摘出術2. 手			1		1
腱移行術			1		1
顎・口蓋裂形成術	1				1
顎内固定(線副子)	1				1
観血的関節授動術3. 指			1		1
骨移植術(軟骨移植術を含む)	1				1
関節脱臼非観血的整復術3. 指[刻み	1				1
骨腫瘍切除術3. 指			1		1
顎骨内異物除去	1				1
腱延長術				1	1
合指症手術1. 軟部形成のもの	1				1
骨腫瘍切除術3. 足				1	1
上顎骨骨折観血の手術	1				1
切断四肢再接合術	1				1
<b>眼</b>	1				54
眼瞼下垂症手術					41
眼瞼内反症手術					7
眼瞼外反症手術					4
霰粒腫摘出術	1				1
兎眼矯正術					1
<b>耳鼻咽喉</b>	36				1
鼻骨骨折整復固定術	14				1
先天性耳瘻管摘出術	3				3
鼻骨骨折観血の手術	3				3
副耳(介)切除術	3				3
副耳摘出耳	2				2
耳下腺腫瘍摘出術1. 耳下腺浅葉摘出	2				2
鼓膜チューブ挿入術(両)	1				1
下顎骨折非観血的整復術	1				1
喉頭腫瘍摘出術2. 直達鏡によるもの	1				1
下顎骨折観血手術(片側)	1				1
顔面多発骨折観血の手術	1				1
耳介腫瘍摘出術	1				1
涙嚢鼻腔吻合術	1				1
耳下腺良性腫瘍切除術	1				1
耳介形成手術	1				1
<b>心・脈管</b>	19	1	3		7
動脈(皮)弁術	7	1	1		9
動脈形成術、吻合術	4		1		1
血管塞栓術	3				2
リンパ管腫局所注入	1				1
血管縫合術	1				1
血管腫摘出術(露出部)					1
リンパ管腫摘出術	1				1
血管結紮術			1		1
リンパ管吻合術	1				1
下肢静脈瘤-硬化療法					1
四肢血管吻合術	1				1
<b>神経系・頭蓋</b>	9		2		1
神経縫合術	4		2		1
顔面神経麻痺形成手術	2				2
神経腫切除	2				2
神経移行術	1				1
<b>胸部</b>	9				9
漏斗胸手術	5				5
自家肋骨助軟骨関節全置換術	2				2
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建	1				1
胸骨切除術	1				1
<b>腹部</b>	4				4
ヘルニア手術	3				3
毛嚢洞手術	1				1
<b>尿路系・副腎</b>	1				1
尿管摘出術	1				1
<b>総計</b>	301	12	42	2	217
					574



# 脳神経外科

部長 宮之原 修

## 【特色】

脳神経外科は当院の総合病院化に伴って平成元年に開設されました。平成から令和へと30年を越える歴史を刻み、微力ながら脳血管障害の外科的治療・頭部外傷治療を中心に地域医療に貢献してきました。平成31年4月から三代目部長として宮之原が赴任しております。

当院は年間3000台以上の救急車を受け入れる救急病院でありその中で外傷系疾患、特に複数の領域に亘る高エネルギー外傷や多発外傷などの重症の患者さんが多いのも特徴です。多発外傷は複数科による迅速なチーム医療が必要で整形外科、形成外科、呼吸器外科、麻酔科などと良好な関係のもと治療に当たっています。

手術症例数はこれまで100件を越えていたのですが、入院患者の減少に伴い手術件数も減っております。

脳血管内治療に関しましては専門医不在となりましたので、鹿児島大学脳神経外科の脳血管内治療チームを招聘して、引き続き行っております。急性期の脳血管障害に関しては減少傾向ですが、今後は脳梗塞に対する血栓回収療法の体制作りも行っていく予定です。

また医学教育の面からは初期研修医の受け入れのみならず鹿児島大学の医学生の実習受け入れも行っています。大学からは吉本教授による研修医対象の脳神経外科にまつわる座学が月1回開かれており、脳神経外科への興味引かれる充実した話が聞けます。また脳神経カンファレンスを行い、脳神経外科のみならず脳神経全般の画像診断を中心にレベルアップを図る努力を行っています。

近年は市立病院・米盛病院のドクターヘリ、ドクターカーにより集中治療を要する多発外傷の重症例の当院搬送が減少しています。一方、高齢者の転倒による軽微な頭部外傷と慢性硬膜下血腫だけが増加している印象です。

当院は地域がん診療連携拠点病院の指定も受けており癌の脳転移への対応を依頼されることも多く摘出手術、生検術、定位的放射線治療などで協力しています。脳神経内科からは脳腫瘍、脳血管狭窄のみならず脳や脊髄の生検術の依頼があり、形成外科とは協同で頭蓋骨や頭皮の形成術などもあり積極的に対応していく方針です。

## 【人事・スタッフ】

平成29年4月から非常勤で外来診察をお願いしていた平原一穂先生は本年5月で退職されました。お疲れ様でした。

常勤は部長宮之原と科長松邨の二人体制です。松邨先生は、毎週月曜日に救急外来当番も行っており、研修医指導や救急部助っ人としても多忙で大変貴重な逸材です。

## 【スタッフ紹介】

### 〈常勤医〉

#### 【脳神経外科 部長】

宮之原 修 (平成 31 年 4 月～)

1988 年 鹿児島大学医学部卒業

〈取得資格〉

日本脳神経外科学会指導医  
高気圧医学専門医、医学博士  
在宅褥瘡管理者

〈所属学会〉

日本脳神経外科学会 日本脳神経外科コンGRESS  
日本小児神経外科学会  
日本高気圧環境・潜水医学会  
日本臨床栄養代謝学会

#### 【脳神経外科 科長】

松邨 宏之 (平成 31 年 4 月～)

1997 年 東京医科大学卒業

〈取得資格〉

日本脳神経外科学会専門医  
医学博士

〈所属学会〉

日本脳神経外科学会  
脳神経外科コンGRESS 脳卒中の外科学会

### 〈非常勤医師〉

西澤 輝彦 元今給黎総合病院脳神経外科

平原 一穂 霧島記念病院院長

寺田 耕作 元いちき串木野市医師会立脳神経外科センター

【診療実績】入院患者疾患別分類（2020年1～12月）

脳腫瘍	神経膠腫	1
	髄膜腫	3
	転移性脳腫瘍	6
	小計	10

血管病変	クモ膜下出血（破裂脳動脈瘤）	8
	未破裂脳動脈瘤	8
	動静脈奇形	1
	高血圧性脳内出血	20
	脳梗塞・一過性脳虚血発作（非モヤモヤ病）	22
	上記以外の動脈狭窄・閉塞	6
	その他	2
小計	67	

頭部外傷	脳挫傷	6
	急性硬膜下血腫	15
	慢性硬膜下血腫	32
	その他	46
	小計	99

機能的 脳神経外科	脳挫傷	6
	急性硬膜下血腫	15
	慢性硬膜下血腫	32
	その他	46
	小計	99

機能的 脳神経外科	てんかん	10
	頭痛	2
	その他	1
	小計	13

感染症	膿瘍	2
	髄膜炎	1
	その他	2
	小計	5

その他	上記の分類すべてに当てはまらない	51
-----	------------------	----

総合計 245人

【手術件数】（2020年1～12月）

脳腫瘍	摘出術	7
	脳腫瘍 小計	7

血管障害直達術 (脊椎・脊髄は除く)	破裂動脈瘤	7
	未破裂動脈瘤	2
	脳動静脈奇形	1
	高血圧性脳内出血(開頭術)	2
	その他	2
	血管障害直達術 小計	14

血管内治療	動脈瘤(未破裂動脈瘤)	2
	急性期血行再建術	2
	慢性期血行再建術	3
	血管内治療 小計	7

外傷	急性硬膜下血腫	3
	慢性硬膜下血腫	37
	その他	1
	外傷 小計	41

感染	膿瘍除去術	1
	その他	1
	感染 小計	2

形成・修復	骨形成術	3
	形成・修復 小計	3

その他	上記の分類すべてに当てはまらない	1
-----	------------------	---

合計 76件



# 産婦人科

部長 加藤明彦

## 【診療内容・特色】

当院の産婦人科は、産科・婦人科一般診療を行っています。

産科領域では、一般の産科外来に加え、当院に新生児内科があることから地域周産期母子医療センターとして合併症を伴う妊娠や切迫早産、妊娠高血圧症候群など妊娠中のトラブルを抱えた妊婦さんの妊娠・分娩管理、一次施設からの母体搬送の受け入れを行っています。

婦人科領域では、子宮癌検診や月経困難症・更年期障害などの一般外来診療、良悪性の婦人科腫瘍の治療（薬物療法・手術療法）を行っており、女性の下腹部痛など婦人科救急疾患の対応も行っています。

## 【人事・スタッフ紹介】

2020年1月から11月まで専攻医研修を行っていた齊藤大祐医師が鹿児島市立病院へ戻り、12月以降常勤医師4名、非常勤医師1名の計5名で診療を行っています。

## 【診療状況】（2020年1月1日～12月31日）

### 産科

入院総数 163件  
 分娩件数 117件  
 （うち帝王切開64件、その他産科手術2件）  
 母体搬送 85件（非緊急を含む）

### 婦人科

入院総数 176件  
 手術件数 90件  
 （開腹35件、腹腔鏡27件、腔式28件）

卵巣腫瘍摘出術	11件
付属器切除術	30件
円錐切除術	9件
筋腫核手術	9件
腔式子宮全摘術	3件
腹式子宮全摘術	37件
腹腔鏡下子宮全摘術	5件
その他	18件

（1手術で複数臓器摘出があるため重複あり）

## 【院外教育活動】

加藤明彦

久木田学園看護専門学校 看護科  
 母性看護学・女性生殖器 40時間

## 【2021年の計画】

2021年1月より新病院での診療が開始となりました。

今まで産婦人科として一カ所で行っていた外来を婦人科と産科で別の場所に設け、特に産科は産科病棟と同じ4階に外来を設置しNICU・フォローアップ外来を含め地域周産期母子医療センターとして新たなスタートをきりました。救急外来や手術室から直通のエレベーターも病棟横に設置し、急患の対応も考慮した配置となっております。

婦人科は2階に外来を設け、検診事業にも対応できるよう配置に工夫をしております。

新体制で慣れない点多々ありますが、救急、周産期またがん診療において地域貢献できるよう努めて参ります。



# 新生児内科

部長 徳久琢也

## 【診療内容】

当院のNICU・GCUは、NICU9床、GCU10床の合計19床です。県内では、鹿児島市立病院NICUに次ぐ規模の新生児医療施設です。2021年の新病院では、NICU9床、GCU12床の合計21床へ増床予定です。当院で出生した低出生体重児の急性期管理に加え、鹿児島市立病院や鹿児島大学病院で出生した重症新生児の急性期管理後のGrowing Care、Family Careも提供しています。

新生児フォローアップ外来は、NICUを退院した時の発育発達をフォローしていく外来です。出生週数32週未満、出生体重1500g未満の児は、小学校3年生までフォローしています。キーエイジでの発達・知能テストを行い、発達支援の要否について家族と話し合う場となっています。

## 【診療の担当】

医師4名（含育休1名）、看護師39名、助産師5名、保健師2名、作業療法士1名、理学療法士2名、メディカルクラーク1名、ナースアシスタント1名で日々の業務を行っています。

NICU・GCU及びフォローアップ外来業務は、新生児内科部長の丸山有子、徳久琢也、佐藤恭子の3人体制で行っています。フォローアップ外来は、島田療育センターの井之上寿美医師による診療も行っております。また発達支援が必要な児には、北九州市立総合医療センターの奈須康子医師による特別外来（療育指導外来）も月1回行っています。

ハイリスク児の発達知能検査（新版K式発達検査、WISK-IV）は吉永明美臨床心理士、東茅野臨床心理士により行われています。

毎月1回、鹿児島大学小児科河野嘉文先生にNICU・GCUの回診をお願いしています。

## 【入院状況】（グラフと表を参照）

総入院数と体重別入院数の経年推移をグラフ・表1に、入院経路別入院数を表2に、人工呼吸管理数を表3に示しました。

## 【外来状況】

### ➤ フォローアップ外来・シナジス外来

平成19年より開始した新生児内科の外来業務ですが、フォローアップ外来・シナジス外来の総受診者数は増加しておりましたが、平成24年からはほぼ安定してきました（表4）。

### ➤ 発達検査

2020年は212名が受けました。

### ➤ 療育相談外来

月1～2人ずつ行い、2020年は5人が受けました。

### ➤ PIPC（早産児の両親学級）

例年は月2回、年間24回開催し、200人前後の方が参加されますが、2020年はCOVID-19の影響で5回の開催、50人の方が聴講してくださいました。

## 【退院支援】

### ➤ 地域保健師と家族の面談をsetting

NICU入院中から地域保健師と家族の面談を企画し、退院後の良好な関係作りを図っています。2020年は71件の面談が当センターで行われました。

### ➤ ハイリスク新生児が退院する家庭へのNICUからの退院前訪問

2020年は4件でした。

### ➤ ハイリスク児の家庭生活を支援するためのケース会議

複雑な事情をもつ家庭が増えています。そのような家庭へハイリスク児が退院する際には、地方自治体福祉課や保健所、保健センター、児童相談所、訪問看護師、民生委員、子育て支援NPOの方などと会議を開催し相互の情報交換を図っています。

## 【教育活動】

### ➤ 看護学生の実習受け入れ

例年、多くの看護学生実習を受け入れていますが（2019年119名）、2020年はCOVID-19の影響で受け入れを中止せざるを得ませんでした。2021年からは再度受け入れ予定です。

### ➤ スタッフのための勉強会

週レクチャー：2020年は40回開催しました。

### ➤ 茨 聡医師（鹿児島市立病院新生児内科部長）のレクチャー

新生児医療の最先端の知識を講義していただいています。2020年は5回開催しました。

## 【鹿児島県委託事業】

### ➤ 小児在宅療養ナビ「そよかぜ」への情報提供

### ➤ 母子健康手帳「すくすく」フォローアップ手帳の作成、見直し

【入院児総数】

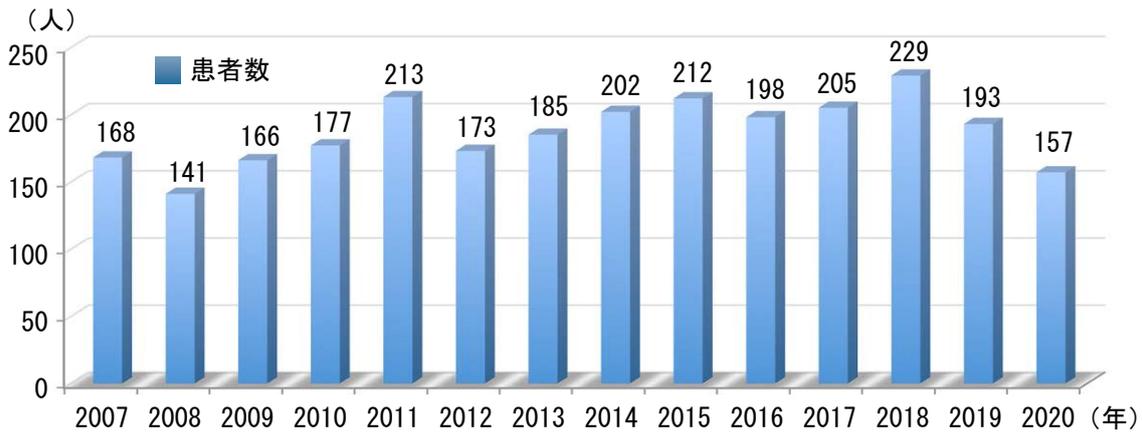


表 1 : 【出生体重別患者数内訳】

年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
～999g	1	3	3	2	8	19	20	13	9	6	12	16	13	9
1000g～1499g	32	35	26	40	34	43	35	42	41	35	42	42	42	40
1500g～1999g	61	43	46	49	68	53	64	72	85	76	62	80	63	42
2000g～2499g	31	35	52	46	59	42	35	47	47	51	53	54	51	40
2500g～	43	25	37	40	44	15	31	28	30	29	36	37	24	26

表 2 : 【入院経路別患者数および院内出生率】

年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
当院外来管理後の院内出生	26	9	29	28	36	17	22	32	42	41	38	50	56	33
母体搬送後の院内出生	51	42	39	47	43	20	48	49	38	51	61	33	26	36
市立病院より新生児搬送	75	66	66	80	105	118	100	109	123	91	90	119	118	76
大学よりgrowing care入院	3	3	6	1	9	9	10	0	0	6	8	12	2	2
他院よりの新生児搬送	13	23	24	21	20	9	5	12	9	8	8	15	1	11
院内出生率 (%)	45.8	36.2	41.4	42.3	37	10	37	40	38	47	48	36.2	42.4	43.6

表 3 : 【人工呼吸管理施行患者数】

年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
人工呼吸管理施行数(nasal CPAP)	15	19	12	44	33	49	46	55	55	66	51	64	20	29
人工呼吸管理施行数(挿管症例)	21	19	13	13	11	4	16	15	15	11	19	14	5	14
人工呼吸管理施行数	36	38	25	57	44	53	62	70	70	77	70	78	25	43

表 4 : 【フォローアップ外来＋シナジス外来のべ受診者数】

年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
のべ人数(人)	307	684	770	890	1219	1641	1365	1651	1316	1613	1541	1520	1473	1615

※2011年までは年度で表示



# 小児科

部長 島子 敦史

## 【診療内容・特徴】

堀之内兼一、堀之内泉、玉田泉、徳永美菜子、上野さやか（非常勤）、島子敦史で診療しています。

### 1. 外来

専門外来を中心に一般外来も開設しています。当科の特徴である小児内分泌疾患は玉田が担当し、負荷試験を例年 20～30 件ほど実施したり、在宅自己注射管理に対する療養指導を看護師が担ってくれたり等、成長ホルモンや I 型糖尿病治療をチーム医療として取り組んでいます。

その他、堀之内兼一は小児腎疾患を、島子は小児循環器疾患を担当しています。また、市県からの委託による乳幼児健診、予防接種業務も行っており、新生児マスキング、学校健診・学校検尿や生活習慣病予防健診での精密受診や精密検査後のフォローを行っています。

### 2. 入院

DPC（包括評価）対象病院の小児科として全国と同様の在院日数で診療を完了できています。新入院・延べ人数については、本年度は新型コロナ禍で他医療機関と同様に 7 割程度に減少しました。

専門別では、糖尿病コントロール目的、ほか内分泌疾患の精査入院、急性糸球体腎炎やネフローゼ症候群など腎疾患に加え、川崎病も受け入れています。当院の特長を生かし、鹿児島県での役割を果たし、より良い医療環境を提供します。

職員の子供さん対象の病児保育室も設置後 10 年以上経過し、年間のべ 500 超名の子どもさんを受け入れています。子育て世代の職員のバックアップ・離職防止のためにも、今後も貢献します。

## 【スタッフ紹介・講義 / 院外活動】

島子 敦史：小児科専門医、医学博士  
小児循環器専門医  
医師臨床研修指導医養成講習修了医  
鹿児島市医師会学校心臓健診 委員

堀之内 兼一：小児科専門医、医学博士  
医師臨床研修指導医養成講習修了医  
日本補完代替医療学会学識医 学会理事  
鹿児島市医師会学校腎臓病健診 委員  
久木田看護専門学校 非常勤講師

堀之内 泉：医学博士

玉田 泉：小児科専門医、医学博士  
日本糖尿病協会療養指導医  
鹿児島大学小児科 非常勤講師

## 【診療状況】

外来診療 外来患者数延べ 7,162 人  
入院診療 入院患者数延べ 758 人  
(平均在院日数 5.4 日)  
救急・時間が合い 21 人

## 【診療実績】

外来	内分泌系	1,837 名	
	循環器系	140 件	
	予防接種	1,572 件	
入院（実数）計	140 人	紹介率	35.7%
	上気道炎・急性気管支炎・肺炎 （喘息増悪含む）		65 人
	内分泌疾患 （成長ホルモン検査・糖尿病を含む）		11 人
	急性胃腸炎（ノロ腸炎他）		26 人
	腎・尿路疾患（IgA 血管炎含む）		7 人
	川崎病		2 人
	その他（リンパ節炎他）		29 人

## 【院外活動など】

### 島子 敦史

- ・ 鹿児島市医師会学校心臓検診

### 堀之内 兼一

- ・ 鹿児島市医師会学校腎臓病検診
- ・ 鹿児島小児腎疾患研究会委員

### 玉田 泉

- ・ 鹿児島市医師会学校糖尿病検診精査症例受け入れ
- ・ 鹿児島市小児生活習慣病予防検診精査症例受け入れ
- ・ 1型糖尿病家族会「さくらんぼの会昭和会支部」指導医、年に2回定例会
- ・ 1型糖尿病サマーキャンプ指導医として参加
- ・ ターナー症候群家族会「MIRAIの会」、年に2回定例会参加
- ・ 鹿児島県小児慢性特定疾患対策協議会委員、年12回審査会、年1回委員

※学会関連は[研究実績]に掲載



# 泌尿器科

部長 立和田 得志

2020年は、常勤医4名（中目、立和田、黒島、福元）及び非常勤医（西山：前鹿児島大学泌尿器科准教授）にて診療を行いました。

診療する領域は、副腎、尿路（腎、尿管、膀胱、尿道）及び男性生殖器（前立腺、陰茎、精巣）の悪性腫瘍を中心に、良性疾患である前立腺肥大症や尿路感染症、尿路結石、女性の骨盤臓器脱（膀胱脱、子宮脱など）まで、内科的治療、外科的治療、放射線治療などを単独もしくは組み合わせて治療しています。

（急性腎不全、慢性腎不全に対する血液透析は入院患者さまのみに行っており、外来維持透析は行っていません）。

当院ではCT検査まですぐに行える体制ですので、可能な限りその日のうちに診断、治療計画をたてるようにしています。

手術は腹腔鏡手術に力をいれており、腹腔鏡技術認定医が3名在籍しています。3D内視鏡システムを導入しており、精度の高い手術が可能となり、早期腎癌に対する腎部分切除や筋層浸潤性膀胱癌に対する膀胱全摘術もほぼすべて腹腔鏡下に行っています。

前立腺癌に対しては、腹腔鏡手術から密封小線源治療（ブラキセラピー）を含む放射線治療まで行っており、個々の患者さまにあった治療の選択が可能です。

## 【スタッフ紹介】

部長 中目 康彦

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医  
日本透析医学会 認定医、緩和ケア研修修了医

福元 渉

緩和ケア研修修了医

部長 立和田 得志

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医  
緩和ケア研修修了医、医学博士（鹿児島大学）

非常勤医師 西山 賢龍

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医  
前鹿児島大学医学部泌尿器科准教授  
医学博士（鹿児島大学）

医長 黒島 和樹

日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医  
日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医

## 【2020年主な主要手術】

分類	手術	例数
前立腺	腹腔鏡下前立腺全摘術	35
	経尿道的前立腺切除術	32
腎 副腎 尿管	腹腔鏡下腎摘出術	12
	腹腔鏡下腎部分切除術	13
	腹腔鏡下腎尿管全摘術	18

分類	手術	例数
膀胱	腹腔鏡下膀胱全摘術+代用膀胱造設術	1
	腹腔鏡下膀胱全摘術+回腸導管造設術	3
	腹腔鏡下膀胱全摘術+尿管皮膚瘻造設術	1
	経尿道的膀胱腫瘍切除術	80
骨盤臓器脱	腹腔鏡下仙骨膿固定術	9



# 眼科

医長 友寄英士

当科では、白内障・網膜硝子体疾患・緑内障など、眼に関する様々な疾患に対し、最新の医療機器やシステムを用いた高度かつ安全治療の提供を使命としています。

当院が総合病院である特色を活かし、全身状態に不安のある場合や高度な技術を要する難症例手術、また、緊急を要する眼疾患にも、入院での治療が可能です。

当科では毎日手術を実施しているため、お急ぎの方はご相談ください。また、遠隔地からも負担のないように施設間で連携し、初診日当日に入院や手術の対応ができるように体制を整えています。

紹介状をお持ちでない方でも診察が可能であり、気になる症状があれば気軽に受診できるような環境作りに努めています。

## 【職員紹介】

友寄 英士（ともより えいじ）

2009年昭和大学医学部卒業

〈取得資格〉

日本眼科学会認定眼科専門医

日本眼科学会CTR(水晶体囊拡張リング)認定医

ボツリヌストキシン療法認定医

身体障害者福祉法視覚障害者指定医

医学博士

〈所属学会〉

日本眼科学会

日本白内障屈折矯正手術学会

摺木 友美（するき ともみ）

2014年 聖マリアンナ医科大学医学部卒業

〈取得資格〉

日本眼科学会認定眼科専門医

日本眼科学会CTR(水晶体囊拡張リング)認定医

ボツリヌストキシン療法認定医

〈所属学会〉

日本眼科学会

日本産業・労働・交通眼科学会

日本眼科手術学会

(以下、期間内に配属された職員を掲示)

[外来]

看護師：青山・有村・笠置・川崎・窪田・中原・  
中村・丸山

[検査]

視能訓練士：川畑(真)・川畑(直)・今吉・並松・  
堀江

眼科検査員：秋山

[事務]

受付：赤塚・木下・大重・榮村

秘書：内山・泊・日高・永吉・北原

## 【診療状況】(2020年1月1日～12月31日)

外来新患者数	747人
外来再診数	8,072人
入院患者数	801人

## 【手術件数】(2020年1月1日～12月31日)

白内障手術	894件
硝子体手術	94件
緑内障手術	12件
硝子体注射	116件
その他手術	189件
計	1,305件

## 【講義】

久木田学園看護専門学校

病態学Ⅳ 眼科系 2020年10月 毎週金曜日

摺木 友美



# 気管食道・耳鼻いんこう科

部長 積山 幸祐

令和2年は常勤医4名（積山、鎌田、花牟禮、福田）非常勤医2名（昇、今村）にて耳鼻咽喉科・頭頸部外科診療を行いました。

診療する領域は平衡障害、聴覚障害、中耳疾患、顔面神経障害などの耳科領域、副鼻腔の炎症や腫瘍、アレルギー、顔面外傷などを担う鼻科領域、舌・口腔・咽頭疾患や睡眠時無呼吸を扱う咽頭領域、音声や嚥下に関係する喉頭領域、そして頸部の良性・悪性腫瘍、甲状腺腫瘍や唾液腺腫瘍を扱う頭頸部腫瘍領域など、多岐に富んでいます。

手術は顕微鏡や内視鏡などを用いた機能保存や機能再建手術が多く、生活のQOL向上に直結しています。

## 【スタッフ】

部長 積山 幸祐

日本耳鼻咽喉科学会専門医、指導医  
日本アレルギー学会専門医  
日本気管食道科学会専門医  
日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医  
補聴器適合判定医師研修会修了  
難病指定医（耳鼻咽喉科）、麻酔科標榜医  
鹿児島大学医学部臨床教授  
医学博士（鹿児島大学）、鹿児島大学医学部卒

医長 鎌田 知子

日本耳鼻咽喉科学会専門医  
日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医  
信州大学医学部卒

顧問 花牟禮 豊

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、指導医、  
日本頭頸部外科学会頭頸部がん専門医、指導医  
日本気管食道科学会認定気管食道科専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
補聴器適合判定医師研修会修了  
日本嚥下医学会認定嚥下相談医  
難病指定医（耳鼻咽喉科）  
医学博士（鹿児島大学）、鹿児島大学医学部卒

福田 勝則 医師

日本耳鼻咽喉科学会専門医  
医学博士（鹿児島大学）、鹿児島大学医学部卒

非常勤医師：

昇 卓夫医師、今村洋子医師

## 【入院患者内訳（非手術例）】

（2020年1月1日～12月31日）

突発性難聴 69例  
（治療効果判定）  
治癒 7例 10.1% 著明回復 13例 18.8%  
回復 14例 20.3% 不変 35例 50.7%  
；1984年厚生省特定疾患突発性難聴研究班による判定

めまい（メニエル等） 12例  
その他疾患 20例

扁桃周囲膿瘍（炎） 18例  
急性咽喉頭炎、扁桃炎等 6例  
急性喉頭蓋炎 18例  
その他疾患 13例

鼻出血 2例  
その他疾患 1例

頭頸部癌 放射線治療・化学療法等 9例

非手術例の入院総症例数 168例

## 【手術実績】（2020年1月1日～12月31日）

手術総件数 727件

1) 耳科領域 100件

鼓膜チューブ留置術 31件  
先天性耳瘻孔手術 5件  
鼓膜形成術 1件  
鼓室形成術 6件  
鼓膜切開術 50件  
乳突切開術 3件  
顔面神経減荷術 3件  
その他 1件

2) 鼻科領域 409件

鼻内副鼻腔手術 139件  
下鼻甲介切除術 161件  
鼻中隔矯正術 64件  
その他 45件

3) 口腔・上中咽頭領域 115件

口蓋扁桃摘出術（アデノイド切除術を含む） 80件  
扁桃周囲膿瘍切開術 6件  
舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術 13件  
その他の口腔咽喉頭手術 16件

4) 喉頭・気管・下咽頭・食道領域	29 件
声帯ポリープ・結節切除術	9件
喉頭腫瘍切除術	5件
気管切開	2件
咽喉頭食道異物摘出術	9件
喉頭蓋嚢胞摘出術	3件
その他	1件
5) 頭頸部手術	50件
頸部郭清術	5件
顎下腺良性腫瘍摘出術	2件
耳下腺良性腫瘍摘出術	10件
甲状腺良性腫瘍摘出術	4件
甲状腺悪性腫瘍摘出術	3件
鼻副鼻腔良性腫瘍摘出術	2件
鼻副鼻腔悪性腫瘍摘出術	4件
喉頭悪性腫瘍摘出術	1件
頸部リンパ節生検	5件
頸部嚢胞摘出術	5件
顎下腺摘出術	1件
その他の頭頸部腫瘍摘出術	4件
その他の頭頸部手術	4件
異物摘出術（外耳・鼻腔・咽頭）	24件

※学会関連は[研究実績]に掲載



# 皮膚科

医長 有村 亜希子

2020年1～3月は久留光博が常勤医として担当しておりました。2020年4～現在は有村亜希子が常勤医として担当しております。

## 【診療内容・特徴】

入院施設を有する総合病院皮膚科として、水疱性類天疱瘡・膠原病などの自己免疫疾患、帯状疱疹・蜂窩織炎などの感染症、ざ瘡・蕁麻疹・白癬、などの common disease、その他薬疹、アトピー性皮膚炎などクリニックから専門的な疾患まで診療しております。

総合病院の皮膚科であるメリットを生かして院内他科紹介(特に形成外科、血管外科、糖尿病内科、総合診療科など)、周囲の医療機関(開業皮膚科、鹿児島大学病院、鹿児島医療センター、今村総合病院など)との連携もスムーズに行っており、よりよい医療の提供に努めております。

## 【スタッフ紹介】

医長 有村 亜希子 (2020年4月～現在)  
日本皮膚科学会皮膚科専門医  
緩和ケア研修修了医

非常勤医師 瀬戸山 充  
日本皮膚科学会皮膚科専門医、指導医  
宮崎大学医学部名誉教授  
医学博士

医長 久留 光博 (2019年4月～2020年3月)  
医学博士

## 【診療状況】(2020年1月1日～12月31日)

### 【外来患者数】(病院・クリニック)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
初診	131	122	121	141	181	167	155	163	204	158	107	85	1,735
再診	496	536	585	490	455	613	539	581	563	591	522	582	6,553
合計	627	658	706	631	636	780	694	744	767	749	629	667	8,288

### 【入院患者数】

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
新入院	7	11	12	6	6	5	3	7	5	7	3	4	76
延入院	160	144	133	79	62	107	86	129	120	117	48	41	1,226
合計	167	155	145	85	68	112	89	136	125	124	51	45	1,302

### 【手術件数】(外来・入院) 総計 139 件

月別・術式 内訳	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	総計
皮膚切開術(長径10センチメートル未満)	4	5	7	2	5	10	5	1	3	7	6	2	57
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2センチメートル未満)	3	1	3	2	4	7	4		1	1	1	1	28
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3センチメートル未満)	3	1	1	2	3	5	3	1	1	1	1	5	27
陥入爪手術(簡単なもの)	1	1	4	1				2	1				10
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部以外)(長径3センチメートル以上6センチメートル未満)	1	3	1					1					6
皮膚悪性腫瘍切除術(単純切除)	1	1	1		1								4
皮膚、皮下腫瘍摘出術(露出部)(長径2センチメートル以上4センチメートル未満)			3		1								4
全層植皮術(25平方センチメートル以上100平方センチメートル未満)		1											1
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術(露出部)(長径3センチメートル未満)			1										1
全層植皮術(25平方センチメートル未満)	1												1
総計	14	13	21	7	14	22	12	5	6	9	8	8	139



# 麻酔科

部長 山下 順正

2019年度後半は各科の手術依頼件数が増加し、土曜日の手術室稼働の話も議題に上がった当院麻酔科でした。麻酔科依頼を断らないのは理想ですが、必然的に働き方改革に逆行するようなあり方に疑問を感じたものです。このようにして迎えた2020年度ですが、年明けからCOVID-19の拡散と共に、日本全国で手術制限を余儀なくされる事態となりました。マスクの入手困難が叫ばれ、人の移動も制限され、非常事態宣言も発令されました。手術も思うように組めない状況など前年には考えられないことでした。有名芸能人の悲報などが盛んに報道され、感染対策の目的の下、当院麻酔科でもN-95マスクやゴーグル・ガウンを着用しての挿管・抜管が当たり前の風景となりました。正にwith coronaで過ぎ去った2020年度であったような気がします。

2020年度の手術の麻酔科依頼件数を示します。総数2465例で、前年に比べて158件減少しました。コロナの影響で手術数が思うように伸びなかった診療科が多かった中で、耳鼻咽喉科と脳外科及び呼吸器外科の手術数が前年度より増加しました。また、全体の麻酔件数は減少したとはいえ、麻酔法別で全身麻酔症例が前年度に比べて41例増加しました。これは泌尿器科の経尿道的な手術や下肢の骨折などの手術を全身麻酔（+伝達麻酔）で行うことが多くなったためです。人事では常勤医の入れ替わりはありませんでした。山下・尾野本・西村(絵実)・今給黎(南香)・上川路の麻酔科常勤医5人だけでなく、救急科の西山先生と緩和医療科の大瀬先生と原口先生にも前年度に引き続き麻酔をお願いしました。全員が麻酔指導医ないしは専門医です。研修医の先生にも随分と頑張ってもらいました。勿論、手術室看護師・臨床工学技師・放射線技師の方の働きがあったればこそだと感謝しています。特にコロナによって入手困難となった物品の手配や他県からの業者の立ち合いの制限・監視など本来私自身がしなければならなかったことなど細かい所まで助けてくれた手術室看護師の方には感謝しています。最後に6月の整形外科大腿骨転子下骨折の手術中に心停止が起きましたが、無事リカバリーして他院に転院となりました。HCUで主治医となって治療に当たってくださった循環器内科の志岐先生にこの場を借りてお礼を申し上げますと共に、迅速な転科を目の当たりにして当院の底力を印象づけられたことが記憶に残っています。

## 【診療科別麻酔科依頼手術件数】

診療科	件数	割合(%)	緊急手術(件)
整形外科	933	38	78
外科	290	12	25
泌尿器科	271	11	7
耳鼻咽喉科	246	10	8
形成外科	216	9	17
呼吸器外科	164	7	5
産婦人科	149	6	65
歯科口腔外科	148	6	0
脳神経外科	33	1	12
眼科	15	1	0
総計	2,465	100	217

## 【麻酔法別内訳】

全麻	1,691
全麻+伝麻	282
全麻+硬麻	227
全麻+脊麻+伝麻	1
全麻+脊麻	1
総全麻症例	2,202
脊麻	182
硬麻+脊麻	34
硬麻	18
伝麻	13
その他	16
総計	2,465

## 【人事】

山下 順正	平成23年7月～
尾野本 真徳	平成31年8月～
西村 絵実	平成31年4月～
今給黎 南香	平成28年9月～
上川路 智美	平成30年3月～



# 放射線診断科

部長 鉾立博文

## 【診療内容・特色】

当院では画像診断機器として CT (320 列:1 機、62 列:2 機)・MRI (3T:1 機、1.5T:1 機)、RI・血管造影装置 (Cone-beam CT)・透視装置 2 機・乳房 X 線装置などを備えています。令和 3 年 1 月に新築移転と同時に CT・MRI 装置を更新し、より精度の高い画像診断体制を構築し、救急患者に対する緊急 CT などの読影も夜間休日 on call 対応しています。また、院内で定期的に行われる整形外科・呼吸器・消化器・循環器系のカンファレンスに積極的に参加して画像診断・日常診療の質の向上に務めています。更に検診業務においては関係各科と協力のもと、肺癌低線量 CT や乳癌マンモグラフィ検査のダブルチェック読影を行っています。

画像診断情報を元にして低侵襲的な治療法を行う IVR (Interventional radiology: 画像下治療) の手技を必要に応じて実施しています。主に原発性肝癌や転移性肝癌に対する肝動脈 (化学) 塞栓療法 TA(C)E や膀胱癌などへの動注化学療法、外傷に伴う肝臓・脾臓・腎臓などの臓器損傷や咯血・血胸・腫瘍性病変からの出血に対するカテーテルを用いた動脈塞栓術、US/CT ガイド下生検・膿瘍ドレナージや経皮経肝的胆管・胆嚢ドレナージ (PTCD / PTGBD) などに取り組んでいます。その他、各診療科と協力して IVC フィルター留置・消化管ステント留置・四肢などの閉塞性動脈硬化症や血管奇形に対する血管内治療なども行っています。

## 【人事・スタッフ紹介】

部長 鉾立 博文

〈資格〉 日本医学放射線学会 放射線診断専門医  
 日本 IVR 学会 専門医・代議員  
 日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
 検診マンモグラフィ読影認定医  
 緩和ケア研修会修了医  
 医師臨床研修指導医養成講習修了医  
 医学博士 (鹿児島大学)

医師 篠原 哲也 (平成 31 年 4 月～令和 3 年 3 月)

日本医学放射線学会 放射線診断専門医

菊野秀彦 (令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月)

日高誠也 (令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月)

非常勤医師

大久保 幸一 (今給黎総合病院 顧問)

中村 信哉 (鹿児島大学)

## 【検査件数】(2020 年 1 月～12 月)

	件数
一般撮影	42,533
X線CT	15,766
MRI	5,495
RI	320
DSA/AG	172
骨塩定量	525
透視・造影撮影	1,137

## 【2020 年 放射線科入院患者】

転移性骨腫瘍	8
肝細胞癌	4
胆管癌	4
膵臓癌	4
食道癌	3
転移性脳腫瘍	3
肺癌	2
乳癌	2
前立腺癌	2
虚血性腸炎	2
縦隔リンパ節転移	1
各部位リンパ節転移	1
転移性肺腫瘍	1
悪性リンパ腫	1
脱水症	1
新生物疾患による神経圧迫	1
神経調節性失神の疑い	1
細菌性肺炎	1
頭部打撲	1
急性硬膜外血腫の疑い	1
腰椎圧迫骨折	1
腰椎骨挫傷	1
腓骨近位端骨折	1
統計	47

【悪性新生物原発巣別患者数】

肝細胞癌	7
肺癌	7
胆管癌	5
膵臓癌	5
食道癌	3
前立腺癌	3
乳癌	3
胃癌	2
腎癌	1
悪性リンパ腫	1
総計	37

【IVR 症例内訳】

CT/USガイド生検	9
CT/USガイドドレナージ	18
胆道 (PTCD, PTGBD, ステントなど)	9
動注化学療法 (肝臓癌・膀胱癌)	6
消化管 (ステント, PTEG)	0
IVCフィルター留置・抜去	2
CVポート留置・CV挿入	14
その他	26
緊急止血術 (TAE)	5
総計	89

【2021 年の計画】

令和元年～2年度は、業務内容を従来通りの入院病棟管理をやりながらの画像診断・IVR の体制整備をしてきました。全国的には画像診断機器の発達で読影業務の増加により bed free の施設が主流となっていますが、当院での診療スタイルを継承しながら日々努力しているところです。令和3年1月の新築移転と同時にCT・MRI計5台が更新され、ますます精度の高い画像診断が可能となりました。同時に各症例の読影枚数も格段に増加してきており、各々の症例に対する読影時間も長くなりつつあります。レポートシステムも更新され、昨今問題となっている画像報告書未確認に対する risk management の一環として依頼科主治医の読影報告書確認アラート機能も稼働開始されております。最近では初期研修医の増加で当科へのローテート希望者も多く、基本症例のティーチングファイルなどの体制整備を引き続き進めていく予定です。画像診断に関する業務においてはあいかわらず非常勤医師の応援を頂きながらの報告書作成となっておりますが、令和2年度から若手常勤医増員により専門医修練施設としての体制整備も進みつつあります。平成29年度より日本専門医機構の新たなる施設認定も始まり更なる読影体制の整備・IVR 症例の増加が必須となります。引き続き関係各科との協力体制を強化しながら放射線診断学・IVR の魅力を発信していきたいと考えております。

※学会関連は[研究実績]に掲載



# 放射線治療科

部長 中禮久彦

当院の長年の懸案であった新築移転が本年1月に高麗町の交通局跡地 キラメキテラスで「いまきいれ総合病院」として実現しました。旧病院で15年近く稼働し、近年他院に比べて遅れをとっていた当院リニアックのハードウェアがエレクタ「インフィニティ」の新規導入で時流に合わせてアップデートされました。

これまでと比較して SRT (Stereotactic Radiation Therapy; 定位放射線治療) が IGRT (Image-Guide Radiation Therapy; 画像誘導放射線治療) 適用によってより正確にかつ多くのがん患者さまに施行可能となりました。DCAT (Dynamic Conformal Arc Therapy; 動態原体回転照射) の応用で癌組織により理想的な線量分布も与えられるようになりました。

正常組織の放射線有害反応をさらに低減すべく、今後は VMAT (Volumetric Modulated Arc Therapy; 容積変調回転照射) による IMRT (Intensity Modulated Radiation Therapy; 強度変調放射線治療) 施行の方向で取り組んでおります。

昨年度の鹿児島県がん診療連携拠点病院の許認可更新に加えて、今年度はおかげさまで日本放射線腫瘍学会 (JASTRO) 認定施設の以後3年間の更新が叶いました。ご尽力いただきました関係皆様方にはこの場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

犠牲者が世界大戦に匹敵するほどの数にのぼりながら未だ収束の兆しがみえない新型コロナウイルスのパンデミックで、がん医療を取り巻く状況も改変を余儀なくされつつあります。変化に柔軟に対応しながら深いご理解のある先生方に支えられながら誠実に診療に当たりたいと考えております。

## 【スタッフ紹介】

放射線治療科 部長 中禮久彦

〈経歴・資格〉

- 平成元年 宮崎医科大学卒業  
鹿児島大学医学部放射線科入局 研修医
- 同3年 国立がんセンター中央病院  
放射線治療部レジデント (国内留学)
- 同6年 一誠会 三宅病院
- 同7年 今給黎総合病院放射線科
- 同8年 鹿児島大学医学部放射線科 医員
- 同9年 同上 助手
- 同17年 同上 講師
- 同18年 同上 退局  
今給黎総合病院放射線科 治療部長
- 平成9年 日本医学放射線学会 専門医 (第2999号)
- 同12年 博士学位 (鹿児島大学 医論第1267号)
- 同13年 日本放射線腫瘍学会 認定医 (第336号)
- 同25年 研修指導者認定  
(日本医学放射線学会 第R07590R0号)

## 【診療実績】 (2020年1月~12月)

### ○主な原発巣別

#### リニアック照射新患者数 (全: 185名) 内訳

呼吸器系(肺・気管・縦隔)	65名 (内 肺: 65名)
消化管系(食道・胃・腸)	26名 (内 食道: 10名)
肝・胆・膵系	26名
泌尿器系	24名 (内 前立腺: 17名)
造血リンパ系	15名
頭頸部系(咽頭・喉頭)	11名

### ○リニアック照射新患及び再患者数 主な転移 内訳

骨	46名
脳	12名

### ○定位集光照射新患者数 内訳

肺: 14名 肝: 7名 脳: 4名 膵: 1名
--------------------------

### ○緊急照射新患者数 内訳

脊髄圧迫症候群: 3名
-------------

### ○非小細胞肺癌 化学療法同時併用 根治照射数

9名
----

### ○前立腺シード

1名
----

※学会関連は[研究実績]に掲載



# 緩和医療科

部長 大瀬 克広、小玉 哲史

当院の緩和ケアチームが身体担当2名、精神担当1名の3名体制になり2年目を迎えました。2年目になり、地域との連携や一般市民に対する啓発活動などを広げていこうと計画していたのですが、結果的には新型コロナウイルスの流行で、大幅な活動見直しを迫られることになった1年でした。特に緩和ケア診療以外に、一般市民向けに企画した講演会や、地域の公民館で開催予定の出前講座などを全て中止せざるを得ない状況になってしまったことは非常に残念でした。その一方で、スタッフの協力により、院内の研修医や医師を対象に例年通り緩和ケア研修会を開催できたことで最低限の責務を果たせたと思います。またがん以外の終末期患者の疼痛緩和や神経難病の患者の意思決定支援など、緩和ケアチームとして新たな取り組みが徐々に増えてきたことは、次年度以降への明るい材料となりました。新型コロナウイルスの流行終息が見通せない中で、今後どのように活動していけば、がん診療連携拠点病院の緩和医療科、緩和ケアチームの役割が果たせるのかを問い続けながら新年度も活動していきたいと考えています。

## 【身体症状担当：大瀬克広、原口哲子】

大瀬 克広

### 《講義》

鹿児島県消防学校第25期救急科

2020年2月3日 呼吸障害

鹿児島大学医学部4年生概説講義 緩和ケア

2020年5月12日

今給黎総合病院緩和ケア研修会

2020年7月12日 緩和ケア概論、企画責任者

鹿屋医療センター緩和ケア研修会

2020年10月4日 地域連携

原口 哲子

今給黎総合病院緩和ケア研修会

2020年7月12日 地域連携

鹿児島大学病院緩和ケア研修会

2020年9月26日 地域連携

鹿屋医療センター緩和ケア研修会

2020年10月4日 企画責任者

## 【精神腫瘍担当：小玉 哲史】

### 《講義》

鹿児島医療センター緩和ケア研修会

2020年1月13日 コミュニケーション

鹿児島医療センター緩和ケア研修会

2020年1月12日 コミュニケーション

県立大島病院緩和ケア研修会

2020年2月9日 コミュニケーション

今給黎総合病院緩和ケア研修会

2020年7月12日 企画責任者

鹿児島大学病院緩和ケア研修会

2020年9月26日 コミュニケーション

鹿屋医療センター緩和ケア研修会

2020年10月4日 コミュニケーション

## 【精神科リエゾン診療】

2020年1月～12月 コンサルト総数148件

紹介元診療科上位

整形外科	38件	総合内科	19件
------	-----	------	-----

消化器内科	18件	救急科	12件
-------	-----	-----	-----

精神疾患診療体制加算	27件
------------	-----

## 【緩和ケアチーム依頼内容】(2020年1月～12月)

	がん	がん以外	計
入院	326	20	346
外来	50	2	52
	376	22	398

全体依頼件数は73件増加

(がん：70件、がん以外：3件)

	院内	院外	計
入院	338	8	346
外来	50	2	52
	388	10	398

増加件数 院内紹介：72件 院外：1件

(入院依頼は昨年度より+5件)

【診療科別依頼件数（入院）】

	外科	呼内	呼外	消内	放科	泌尿器	婦人科	血内	形成	内科	整形	脳内	他施設	皮膚	循内	耳鼻	脳外	合計
がん	70	89	30	45	13	15	32	13		2	4	1	7		3	1	1	326
がん以外		1	2	2					4		4	1	1	3	2			20

消化器内科・婦人科からの依頼が昨年より増えている。特に婦人科は7件→32件。その他の診療科は特に大きな変化は無し。

【診療科別依頼件数（外来）】

	外科	呼内	呼外	消内	放科	泌尿器	婦人科	血内	形成	内科	整形	救外	脳内	その他	他施設	合計
がん	8	6	6	6	2	12	2	1	1	1	1	1	0	1	2	50
がん以外		1	1													2

呼内、消内、泌尿器が増加。特に泌尿器4件→12件。

【介入時期（がんの方のみ）】

	1: 診断から 初期治療前	2: がん治療中	3: 積極的がん 治療終了後	合計
入院	21	257	48	326
外来	5	23	22	50

【依頼内容（重複依頼あり）入院】

	1) がん疼痛	2) 疼痛以外の 身体症状	3) 精神症状	4) 家族ケア	5) 倫理的問題	6) 地域連携 ・退院支援	7) その他
がん	95	73	254	35	2	57	0
がん以外	10	6	3	1	1	0	1

【依頼内容（重複依頼あり）外来】

	1) がん疼痛	2) 疼痛以外の 身体症状	3) 精神症状	4) 家族ケア	5) 倫理的問題	6) 地域連携 ・退院支援	7) その他
がん	28	22	15	2	0	10	0
がん以外	1	1	0	0	0	0	0



# 病理診断科

部長 白 濱 浩

病理診断科は常勤病理医 1 名（非常勤医師 5 名）、臨床検査技師 4 名（細胞検査士 4 名）、医療クラーク 1 名にて組織検査、術中迅速診断検査、細胞診検査、病理解剖を行っていますが、4 月より増員（谷口技師）を行いました。本年は新型コロナウイルス感染症のため 3 月から 9 月まで病理解剖を停止しました。新病院への移転に向けて、新病院の設計・機器更新の選定・移転に向けた検体の整理など、多忙な期間を過ごしました。

当院の病理部門は以前より免疫染色や遺伝子検査を行っており、近隣病院病理部門や検査センター等からの受託検査も行っております。昨年に引き続き自動免疫染色装置1台を更新することとなり、今後も診断の標準化に向けて特に免疫染色の充実を図って参ります。遺伝子診断に関してはその重要性が増し、また多様化しています。NGSの日常診療での活用など今後の変化への対応が必要です。当院では組織標本における遺伝子診断は病理部門で一元管理しておりますが、各科と連携して迅速かつ正確な結果報告ができるよう対応して参ります。

## 【病理部スタッフ】

### 常勤医師

白 濱 浩

日本病理学会病理専門医

日本臨床細胞学会細胞診専門医

日本病理学会病理専門医研修指導医

鹿児島大学医学部臨床教授

非常勤医師 5名

### 技師長

肥後 真（臨床検査技師、国際細胞検査士）

### 副技師長

森永 尚子（臨床検査技師、国際細胞検査士、  
認定病理検査技師、鹿児島県臨床細胞学会理事）

### 技師

有村 郷司（臨床検査技師、細胞検査士）

瀬川 千春（臨床検査技師、細胞検査士）

谷口 千奈（臨床検査技師）

### 医療クラーク

西村 ゆかり

## 【施設認定】

- 1) 日本病理学会研修登録施設
- 2) 日本臨床細胞学会教育研修施設

## 組織診および細胞診検体数

	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
組織件数	2,787	3,034	2,927	3,360	3,086
細胞診件数	2,521	2,744	2,669	2,651	2,287
術中迅速	139	164	166	134	136
院外からの受託（免疫染色等）	1,587	1,710	1,735	1,983	1,671

組織診断統計(2020年1月1日～12月31日)

	生検		内視鏡切除など		切除		合計
	全件	悪性	全件	悪性	全件	悪性	
心・血管	0	0	0	0	1	0	1
血液・骨髄・脾	64	21	0	0	0	0	64
リンパ節	28	20	0	0	168	60	196
鼻・副鼻・咽喉頭	155	16	0	0	70	6	225
肺	83	40	0	0	126	86	209
胸膜・縦隔・腹膜	7	5	0	0	41	20	48
口腔・唾液腺	15	1	0	0	54	6	69
食道	44	8	8	7	0	0	52
胃・十二指腸	275	43	37	24	23	15	335
小腸	21	2	2	0	24	5	47
大腸・肛門	206	45	454	30	113	45	773
肝・胆・膵	30	12	0	0	66	14	96
腎・尿路・男性器	98	58	134	79	194	104	426
女性器	43	12	11	0	140	20	194
乳腺	14	12	0	0	4	4	18
内分泌	0	0	0	0	10	5	10
中枢・末梢神経	0	0	0	0	7	3	7
耳・眼	4	1	0	0	7	0	11
皮膚	198	18	0	0	514	25	712
骨・関節	10	3	0	0	28	3	38
軟部	1	1	0	0	43	3	44
その他	14	7	0	0	72	0	86
合計	1,310	325	646	140	1,705	424	3,661

細胞診統計(2020年1月1日～12月31日)

	陰性	擬陽性	陽性	材料不適	合計	組織との対比
内 膜	105	7	5	0	117	17
呼 吸 器	153	22	129	11	315	180
消 化 器	80	25	36	0	141	83
尿	530	50	43	0	623	72
乳 腺	20	5	11	6	42	6
甲 状 腺	16	7	3	11	37	4
体 腔 液	192	22	65	0	279	173
リ ン パ 節	7	3	13	0	23	13
そ の 他	33	5	8	1	47	11
合 計	1,136	146	313	29	1,624	559

婦人科(膣頸部)

材料不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL
0	657	27	8	31	23
AGC	SCC	Adenocarcinoma	Other Malignancy	組織との対比	合計
3	4	1	2	69	756



# 在宅診療科

部長 林 茂 昭

## 【診療科紹介】

令和2年12月現在、在宅診療科には常勤医師は2名在籍しており、通院が困難で自宅療養を希望されている方を対象に訪問診療を行っています。訪問診療には当科2名の医師が中心となり、他科医師の協力もいただき、また理学・作業療法士及び在宅医療部の保健師・看護師と連携を図りつつ訪問診療を行っています。基本的に、臨時往診は行わず、2回/月の定期訪問診療を行っています。

当科以外に、脳神経内科、総合内科、循環器内科の先生方にご協力をいただき、日々の診療を行っています。令和2年11月より、令和3年1月からの病院体制の変更に備えて、訪問診療は林医師と白元医師の2名で診療にあたるように変更となっております。

## 【スタッフ紹介】

### 在宅診療科医師

林 茂昭 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会専門医  
甲斐 太 日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会専門医、  
日本脳卒中学会専門医

### 訪問診療医師

甲斐医師、林医師、二木医師(総合内科)、下舞医師(循環器内科)、久保医師(総合内科)、  
白元医師(脳神経内科)

## 【診療状況】

令和2年12月31日において当院在宅診療課の訪問診療を受けられた総数は23名となっております。

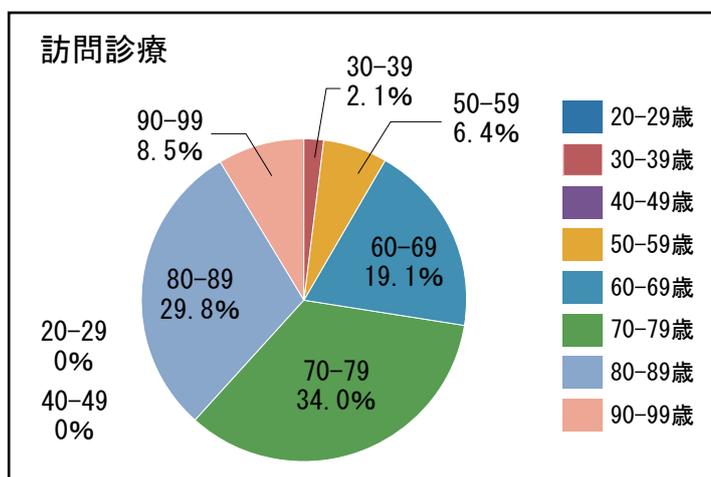
全身状態が悪化した場合は、在宅でそのまま対応する場合もあれば、入院での治療も行っております。高齢の方が多く、入院回数が多くなるとともにご本人の介護度が高くなり、介護者の負担が増大し自宅での介護が困難となり、療養型病院に入院または入院施設入所となる方、あるいは亡くなられた方もおられます。令和2年の診療実績は下記のような状況です。

## 【年間訪問診療患者数】

年間訪問診療・訪問看護患者総数 47名 (男性 27名 女性20名)  
(訪問診療：23名 男性 11名 女性 12名)

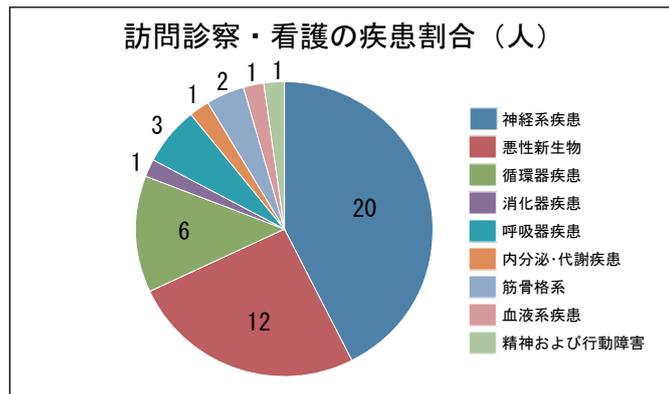
### 【患者年齢】

年代	人数	(訪問診療)
20-29	0	0
30-39	1	0
40-49	0	0
50-59	3	0
60-69	9	6
70-79	16	8
80-89	14	6
90-99	4	3
合計	47	23



【令和2年 主疾患名（訪問診察、訪問看護）54名】

疾患名	(人)
神経系疾患	20
悪性新生物	12
循環器疾患	6
消化器疾患	1
呼吸器疾患	3
内分泌・代謝疾患	1
筋骨格系	2
血液系疾患	1
精神および行動障害	1



【令和2年 月別訪問診察人数（緩和医療科分は含めず）】（2020年1月1日～12月31日）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
人数	17	17	17	17	17	17	15	15	15	17	16	17
入院数	2	3	3	5	4	4	1	0	4	4	2	3
終了：死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了：その他	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0

【令和2年 月別訪問看護・診察件数】（2020年1月1日～12月31日）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 (件)
訪問診察	33	32	32	32	32	31	33	33	30	31	34	34	387
訪問看護	120	105	127	134	126	138	145	139	134	147	142	156	1,613
訪問リハビリ	3	3	3	4	3	4	3	3	0	0	0	0	26
合計 (件)	156	140	162	170	161	173	181	175	164	178	176	190	2,026



# 歯科・歯科口腔外科

医長 古賀 喬 充

## 【診療内容】

歯科口腔外科は、歯科口腔外科と歯科を標榜して診療を行っています。口腔外科診療は常勤歯科医師2名が担当し、一般歯科診療は常勤歯科医師1名が担当しています。歯科衛生士4名、および受付1名の常勤スタッフが歯科口腔外科と歯科を兼務し、ご紹介いただいた患者さまや当院に入院中の患者さまの治療を行っています。

また、当科は多くの矯正歯科専門医と連携し、顎変形症治療に積極的かつ重点的に取り組み、南九州における有数の顎変形症治療施設となっています。

## 【歯科口腔外科の主な対象疾患】

- (1) 埋伏智歯や過剰歯の抜歯手術、嚢胞摘出術などの小手術
- (2) 顎変形症治療（専門外来：顎変形症センター）
- (3) 口腔腫瘍に対する治療
- (4) 歯の外傷や顎骨骨折、口腔粘膜損傷などの外傷治療
- (5) 顎関節症、はぎしり治療
- (6) 歯性感染症を原因とする急性化膿性炎症の治療
- (7) スポーツ用マウスガード（マウスピース）の作製などを行うスポーツ歯科
- (8) デンタルインプラント治療
- (9) 睡眠時無呼吸症候群に対するオーラルアプライアンスの作製
- (10) 舌痛症、口腔乾燥症、粘膜疾患などの頭頸部領域の難治性疾患
- (11) 骨吸収抑制薬関連顎骨壊死に対する治療
- (12) 有病者の歯科治療

## 【歯科の主な対象疾患】

- (1) 入院加療中の患者さまの口腔機能管理
- (2) がん治療を受けている患者さまの口腔機能管理
- (3) 周術期口腔機能管理

## 【スタッフ紹介】

歯科口腔外科 吉田雅司

専門分野：歯科口腔外科、スポーツ歯科

資格等：歯学博士

日本口腔外科学会 口腔外科指導医・専門医、日本顎顔面インプラント学会 指導医、日本スポーツ歯科医学会 理事・評議員、日本スポーツ協会公認 スポーツデンティスト、鹿児島県体育協会 評議員、鹿児島県トライアスロン協会 理事、長崎大学非常勤講師

歯科口腔外科 医長 古賀喬充

専門分野：歯科口腔外科、顎変形症

資格等：歯学博士

日本口腔外科学会 口腔外科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医（歯科口腔外科）、歯科医師臨床研修指導歯科医、長崎大学非常勤講師、緩和ケア研修修了医

歯科口腔外科 杉原考輝

専門分野：歯科口腔外科、周術期口腔機能管理

資格等：日本口腔外科学会会員、日本口腔ケア学会会員、緩和ケア研修修了医

歯科口腔外科 歯科衛生士 瀬戸山智香 日本口腔ケア学会 3級認定

歯科口腔外科 歯科衛生士 満尾裕子 日本口腔ケア学会 3級認定

歯科口腔外科 歯科衛生士 宮路貴子 日本口腔ケア学会 3級認定

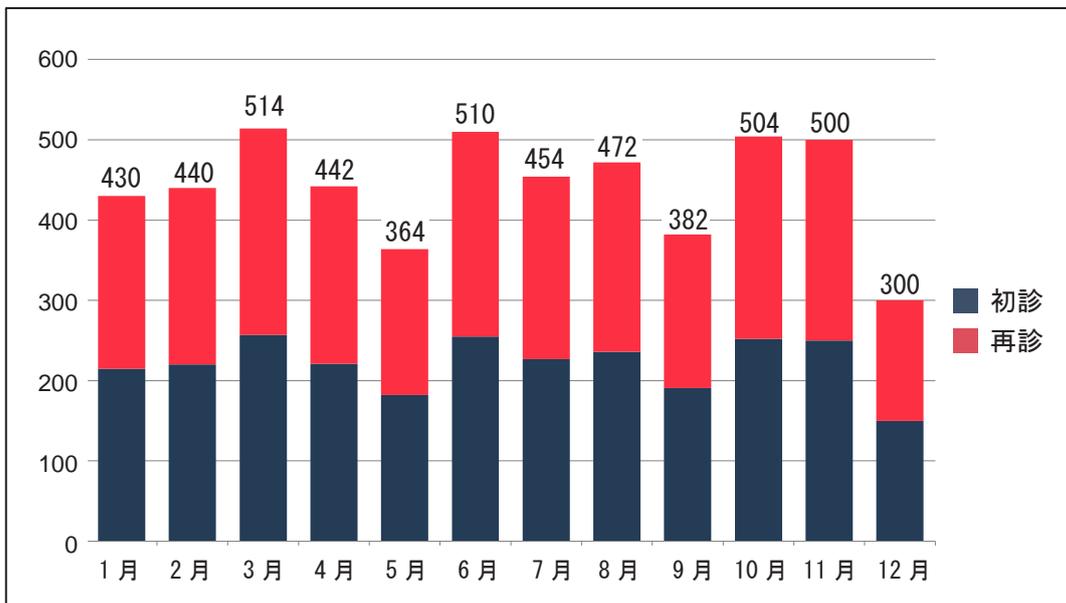
歯科口腔外科 歯科衛生士 原口篤子

※学会関連は[研究実績]に掲載

【2019年統計】(2020年1月1日～12月31日)

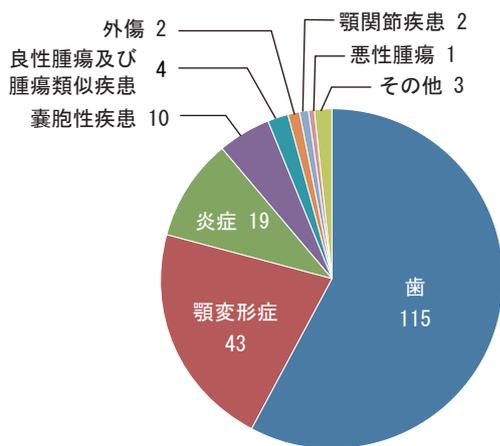
- ・ 外来患者数 5,312人 (新患2,656人) (歯科・歯科口腔科 / 病院・クリニックの合計)
- ・ 入院患者 799人

【月別外来患者数】



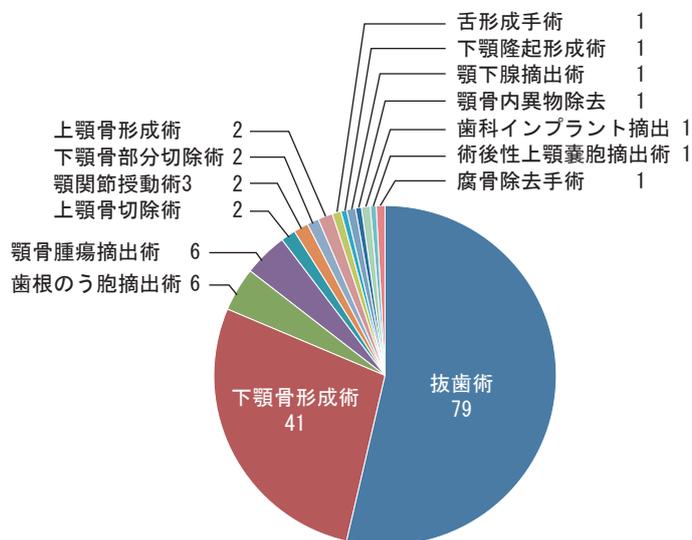
【症例別 入院患者 199人】

病名	症例数
歯 (Pre, Perico, 埋伏歯など)	115
顎変形症	43
炎症 (膿瘍、蜂窩織炎、顎骨炎など)	19
嚢胞性疾患	10
良性腫瘍および腫瘍類似疾患	4
外傷 (骨折、歯の外傷など)	2
顎関節疾患	2
悪性腫瘍	1
その他	3
計	199



【手術症例(全身麻酔)147件】\*

手術名	症例数
抜歯術	79
下顎骨形成術	41
顎骨腫瘍摘出術	6
歯根のう胞摘出術	6
上顎骨形成術	2
下顎骨部分切除術	2
顎関節授動術3	2
上顎骨切除術	2
舌形成手術	1
下顎隆起形成術	1
顎下腺摘出術	1
顎骨内異物除去	1
歯科インプラント摘出	1
術後性上顎嚢胞摘出術	1
腐骨除去手術	1
計	147



\* 手術台帳 術式1のみ集計



# 救急科

部長 西山 淳

## 【スタッフ紹介】

部長 西山 淳

日本専門医機構救急科専門医、日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科指導医  
日本救急医学会九州地方会評議員、鹿児島集中治療研究会世話人、鹿児島救急・集中治療研究会世話人  
薩摩地域救急業務高度化協議会作業部会指導医、鹿児島県ドクターヘリ医療作業部会検証医  
ICLSディレクター、エマルゴトレインシステムシニアインストラクター  
日本DMAT隊員、鹿児島県DMAT隊員、AMAT隊員、医師臨床研修指導医養成講習修了医  
医学博士（鹿児島大学大学院）

部長待遇 坂元 健一

日本脳神経外科学会専門医、指導医  
鹿児島集中治療医学会世話人、鹿児島県災害医療コーディネーター、JPTECインストラクター  
MCLSプレインストラクター、鹿児島県ドクターヘリフライトドクター、日本DMAT隊員  
医学博士（山口大学大学院）

## 【診療実績】(2020年)

症例区分	症例数
心停止	38
ショック	6
内因性救急疾患	3,661
外因性救急疾患	2,363
小児および特殊救急	455
救急車（ドクターカー、ヘリ含む）	3,261
救急入院患者数	1,769
重症救急患者	155

## 【業績・活動】(2020年)

1月12日	第50回桜島火山爆発総合防災訓練（鹿児島市主催）	参加	西山、橋口、熊迫、御供田、越間
1月31日	鹿児島県消防学校救急科	講義	西山
11月14日	第51回桜島火山爆発総合防災訓練	参加	西山、橋口、熊迫、御供田
12月11日	第3回 薩摩地域救急業務高度化協議会作業部会	指導医	西山

## 【研修・実習受け入れ】(2020年)

1月22～29日	鹿児島市消防局 3名	救急救命九州研修所病院実習
2月20日	鹿児島市消防局救急科教育に係る学生 2名	病院実習
2月21日	鹿児島市消防局救急科教育に係る学生 2名	病院実習

※学会関連は[研究実績]に掲載。診療実績に関しては病院統計をご参照ください。

# 研究実績 IV

## ■ 各診療科・各部署別 研究実績

- 論文・誌上発表
- 学会発表 他

## ■ その他

- メディア掲載

## 【診療部】2020年1月～12月

### 血液内科

#### 【論文・誌上发表】

1. Kosuke Obama, Tomohisa Tabuchi, Hirosaka Inoue  
Prognostic impact of red cell distribution width in adult T-cell leukemia/lymphoma  
Leuk Res. 2020 Dec;99:106474

#### 【学会発表】

1. Kosuke Obama, Tomohisa Tabuchi, Hirosaka Inoue  
Prognostic impact of red cell distribution width in adult T-cell leukemia/lymphoma  
第82回日本血液学会総会 2020年10月 京都

### 糖尿病内科

#### 【学会発表】

1. 山元聖明、西尾善彦  
SGLT-2阻害薬服用患者へのデュラグルチド追加効果の検討  
第63回日本糖尿病学会年次学術集会（Web開催） 2020年10月5日～16日 滋賀県

### 脳神経内科

#### 【論文・誌上发表】

1. 尾山 琴海、吉村 道由  
脳梗塞との鑑別を要した脊髄硬膜外血腫の1例  
鹿児島市医報 第59巻第11号 2020

### 呼吸器外科

#### 【学会発表】

1. 今給黎尚幸、緑川健介、米田敏  
難治性有癭性膿胸に対して EWS が有効であった 1 例  
第 43 回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2020年6月26-27日 旭川市
2. 今給黎尚幸、緑川健介、米田敏  
修復に難渋した右上葉切除肺動脈損傷の1例  
第37回日本呼吸器外科学会総会 2020年9月29日-10月12日 埼玉/Web開催
3. 緑川健介、今給黎尚幸、米田敏  
多発肺癌に対する胸腔鏡下区域切除術  
七隈癌治療フォーラム 2020年1月17日 福岡
4. 緑川健介、今給黎尚幸、米田敏  
低肺機能、多発肺癌患者に対して、左S3, 4, 5区域切除+S8部分切除術を施行した1例  
第37回日本呼吸器外科学会総会 2020年9月29日-10月12日 埼玉/Web開催

### 脳神経外科

#### 【学会発表】

1. 松村宏之  
当院における外科的脳血管疾患治療について  
脳血管疾患を考える会 2020年2月14日

#### 【座長】

- 宮之原修 脳梗塞急性期治療の変化とこれからの地域医療連携 脳血管疾患を考える会 2020年2月14日  
演者：国立病院機構九州医療センター副院長 岡田靖先生

## 小児科

### 【学会発表】

1. 徳永美菜子、柿本令奈、関祐子、玉田泉、森田智、溝田美智代  
SGA性低身長症を合併した低ホスファターゼ症の1例  
第3回日本小児内分泌学会九州・沖縄地方会 2020年2月23日 鹿児島
2. 徳永美菜子、柿本令奈、関祐子、森田智、佐藤秀夫、溝田美智代  
乳歯早期脱落を契機に診断した低ホスファターゼ症の1例  
第174回日本小児科学会鹿児島地方会 2020年10月18日 鹿児島

## 気管食道・耳鼻いんこう科

### 【論文・誌上発表】

1. 花牟禮豊  
学校におけるがん教育「頭頸部がん」  
鹿児島県医師会報 2020年5月 第827号 p15-17
2. 松田悠佑、奥田匠、上江愛、平原信哉、高木実、我那覇章、花牟禮豊、東野哲也  
人工内耳装用例における語音聴取評価検査語表の成績比較 CI2004単音節リストと57S語表の比較  
Otology Japan 30巻4号 Page227-231(2020. 12)

### 【学会発表】

1. 積山幸祐、花牟禮豊、昇卓夫  
口腔底嚢胞の2例  
第82回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会 2020年12月25日 京都/ライブ配信

### 【表彰】

- 花牟禮豊 厚生労働大臣表彰（2020年11月25日受賞）  
積山幸祐 鹿児島市医師会表彰（学校医）2020年8月17日

## 放射線診断科

### 【学会発表】

1. 中野翼、篠原哲也、銚立博文、中禮久彦、大久保幸一、奈良博文（消化器内科）、白濱浩（病理診断科）  
胃癌との鑑別に苦慮した緩和型胃アニサキス症の1例  
第190回日本医学放射線学会九州地方会 2020年2月8日 佐賀県立生涯学習センター

## 放射線治療科

### 【学会発表】

1. 中禮久彦、岩川純（呼吸器内科）、銚立博文、篠原哲也、菊野秀彦、日高誠也（放射線診断科）、松下芳正、田川伸夫、小屋俊彰、川畑朋之（中央放射線課）、芝こずえ（看護部）  
当院にて根治的放射線療法を施行した肺癌症例の検討（照射技法を中心に）  
鹿児島肺癌放射線治療Conference 2020年9月 鹿児島市

## 歯科・歯科口腔外科

### 【論文・誌上発表】

1. Koga Takamitsu, et al.  
Evaluation of Poly Lactic-co-Glycolic Acid-Coated  $\beta$ -Tricalcium Phosphate Bone Substitute as a Graft Material for Ridge Preservation after Tooth Extraction in Dog Mandible: A Comparative Study with Conventional  $\beta$ -Tricalcium Phosphate Granules.  
Materials 13.16 (2020): 3452. IF: 3.057

2. Ohba Seigo, Koga Takamitsu, et al.

Movement of the proximal segment after intraoral vertical ramus osteotomy versus short lingual osteotomy with physiological positioning strategy.

Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery 48.7 (2020): 638-644. IF: 1.766

【学会発表】

1. Masashi YOSHIDA

The future of sports mouthguard～Application of digital dentistry to sports dentistry～, 40th Myanmar Dental Conference 2020、2月8日、ヤンゴン市（ミャンマー）

2. 古賀喬充、他

凍結乾燥保存多血小板血漿（FD-PRP）による組織再生治療技術を用いた歯槽骨再生療法の検討（パイロット試験） 第65回日本口腔外科学会総会・学術大会 2020年11月13日-15日 名古屋

3. 大場誠悟、古賀喬充、他

下顎後方移動における下顎骨形成術法による近位骨片へ及ぼす影響の比較検討

第65回日本口腔外科学会総会・学術大会 2020年11月 名古屋 優秀ポスター発表賞受賞

【講演(院外)】

吉田雅司 スポーツ歯科と歯科口腔外科 鹿児島大学歯学部スポーツ歯科講義 2020年5月22日 鹿児島市

吉田雅司 スポーツ歯科と歯科口腔外科 長崎大学歯学部スポーツ歯科講義 2020年9月29日 長崎市

吉田雅司 学校歯科保健における今日的課題、令和2年度学校保健・安全・歯科保健講習会 2020年11月11日 始良市

【メディア出演】

吉田雅司 スポーツ選手のパフォーマンスとお口の中の状態 MBCラジオ「MBCスポーツ」

2020年8月20日 鹿児島市

救急科

【学会発表】

1. 織方良介（初期臨床研修医）、西山淳、玉川慶一（形成外科）

高電圧による電撃傷の1例 第24回日本救急医学会九州地方会 2020年12月20日 長崎市（Web開催）

【各部門】 2020年4月～2021年3月

リハビリテーション課

【学会発表】

1. 永田明日翔、木原智美、内田有理香、谷吉彩乃、木村望

CO2ナルコーシスを呈した肺結核後遺症患者に対する呼吸リハビリテーションを行った1例

第30回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 2021年3月19日～20日 京都

【講演(院外)】

徳永弘樹 聴覚障害の基礎知識 ①聴覚障害の特徴について ②障害等級と聞こえの程度

鹿児島市聴覚者協会

2020年4月7日 かがしま市民福祉プラザ、2020年4月15日 鹿児島市勤労青少年ホーム

渡辺貴子 こどもの発達・障害の評価について知ろう

一般社団法人鹿児島県作業療法士協会 2021年3月21日 鹿児島大学医学部保健学科よりWEB開催

【世話人】

前迫 篤 鹿児島促通反復療法研究会 役員（世話人） 主催：鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科

## 【メディア掲載】

### 誌面掲載

執筆 今給黎和幸

“つなぐヒューマンライフライン”を目指す コンパクトシティ計画の中での新しい病院づくり  
月刊新医療2021年1月号 No. 553 p. 34-37

わがまちの医療 急性期病院と回復期2病院による多世代で支え合うまちづくり  
最新医療経営PHASE3 2021年4月号 vol1440

ヘルスケアと防災を核にまちづくりの一翼を担う  
2021年3月20日 九州医事新報

2020年7月3日	交通局跡整備進む「2病院来年初め開業 ホテル棟は来春着工」	南日本新聞
2020年12月20日	キラメキテラス1月部分開業 交通局跡地、シェラトンホテルも着工 キラメキテラスPRラッピング電車	南日本新聞
2021年1月1日	ウイズコロナ かごしま オンライン変わる日常	南日本新聞
2021年1月17日	がん患者応援 自販機設置	朝日新聞
2021年2月20日	Close Up NICU入退院支援専従看護師 有村こずえ	南日本新聞 フェリア
2021年3月20日	病院薬剤師の仕事は？ 薬剤課 薬剤師 高橋真理	南日本新聞 こども新聞オセモコ

### テレビ放送

2020年7月20日	かごニュー 鹿児島市交通局跡地 建設中の建物から生中継キラメキテラスの紹介	鹿児島テレビ
2020年7月22日	どーんと鹿児島 潜入！令和にオープン 気になるあのスポット キラメキテラス	南日本放送
2020年8月13日	ニューズナウ 鹿児島市再開発の今① 交通局跡地キラメキテラス	南日本放送
2020年12月19日	キラメキテラスオープンを市電でPR ほか	各放送局
2020年12月	かごニュー チャリティ自販機設置	鹿児島テレビ
2020年12月25日	ニューズナウ シリーズ「この人に聞く」今給黎和幸	南日本放送
2021年3月18日	Jチャンプラス 「連携型」医療機関でワクチン接種	鹿児島放送



2020年10月9日『いまきいれ総合病院』竣工 引渡し



2020年12月19日『キラメキテラス号出発式』

南国殖産株式会社、医療法人玉昌会、公益社団法人昭和会 三社共同の再開発事業「キラメキテラス」。3社のロゴとパース図、キラメキテラスのロゴをあしらったラッピング電車「キラメキテラス号」の出発式が執り行いました。南国殖産 永山社長、医療法人玉昌会高田理事長、森鹿児島市長、鹿児島市交通局長、今給黎理事長をはじめ関係者が参列しました。



2020年12月19日『内覧会』

コロナ禍の中、規模を縮小し、関係者のみで内覧会を執り行いました。



2021年1月1日 いまきいれ総合病院 開院。旧病院（下竜尾町）から新病院へ入院患者さまを搬送。  
 2021年1月4日 診療開始



2021年1月4日  
 いまきいれ総合病院ではじめてのご出産



2021年1月7日  
 開院記念 トートバッグ贈呈式



2021年2月1日 アトリウム開通式

2月1日に開院したキラメキテラスヘルスケアホスピタルといまきいれ総合病院をつなぐ通路（アトリウム）が開通し、2月2日に開通式が行われました。異なる医療機関が通路でつながるのは全国では新しい試みとなります。

公益社団法人昭和会  
**昭 和 会 誌 (第26号)**

---

発行日 2021年10月

発 行 公益社団法人昭和会

**いまきいれ総合病院**

〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号

電 話 099-252-1090(代表)

FAX 099-203-9119

URL <http://imakiire.jp>

E-mail [info@imakiire.or.jp](mailto:info@imakiire.or.jp)

公益社団法人昭和会

**上町いまきいれ病院**

〒892-0854 鹿児島市長田町5番24号

電 話 099-226-2212(代表)

FAX 099-226-3366

URL <http://imakiire.jp/kanmachi/>

---